

NT110

Operation Manual (JP)

第 3 版

2D-53-0002600B

このマニュアルについて

このマニュアルは、製品の品質向上の為、予告なく変更する場合があります。あらかじめご承知おきください。

著作権について

このマニュアルの著作権は株式会社タムラ製作所が有しています。許可なく複製、転写、改変、配布することを禁じます。

商標について

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Table of contents

Table of contents	1
1. Part names and functions	1
1-1 Overview.....	2
1-2 Touch Panel.....	3
1-3 Preset Program.....	3
1-4 DSP/On Air	3
1-5 Bus Master	4
1-6 OSC	4
1-7 Monitor	5
1-8 Talk Back.....	7
1-9 Mixer Control	8
1-10 Bank/Layer.....	8
1-11 Select Encoder	9
1-12 Fader.....	9
1-13 Head Phone Panel	10
2. Display Select	11
2-1 画面構成	12
2-2 Touch Panel 画面表示の切り替え	13
2-2-1 各画面の概要.....	13
2-2-2 画面の切り替え操作	14
3. Channel Control	16
3-1 チャンネルの作成.....	17
3-1-1 操作方法	17
3-2 チャンネルレイアウト機能	19
3-2-1 Clear	19
3-2-2 Delete	19
3-2-3 Move.....	20
3-2-4 Cut.....	21
3-2-5 Swap.....	22
3-2-6 Duplicate.....	23
3-2-7 Unlink.....	23

3-2-8	Insert Blank	24
3-3	チャンネル名称(Fader Name)の設定.....	25
3-3-1	操作方法	25
3-4	チャンネルパラメータ操作	26
3-4-1	Fader/Cut/APFL 操作	26
3-4-2	HA Gain/Trim 操作.....	26
3-4-3	REM 操作	26
3-4-4	Channel Setting オペレーション	27
3-4-5	エンコーダ操作を伴うパラメータ.....	28
3-4-6	設定ウィンドウで操作するパラメータ	29
3-5	音声処理の順序(Audio Path 設定)	30
3-5-1	Overview.....	30
3-5-2	Audio Path 設定の変更.....	31
3-6	チャンネルパラメータの編集	32
3-6-1	パラメータ設定の Clear	32
3-6-2	パラメータ設定の Copy.....	33
3-6-3	Fader Level の基準レベル設定	34
3-7	Bank と Layer	35
3-7-1	操作方法	35
3-8	チャンネルのグルーピング	36
3-8-1	Fader Group タイプの設定	36
3-8-2	Fader Group Master チャンネルの設定	37
3-8-3	Fader Group Slave チャンネルの設定	39
3-8-4	Visual Group.....	41
3-8-5	Link Func.....	43
4.	Mixer Status 画面	45
4-1	Overview.....	46
4-2	M1/M2 Meter	46
4-3	Status.....	46
4-4	Program.....	47
4-5	Monitor Level	47
4-6	Display Select	47
5.	Meter 画面	48
5-1	Overview.....	49
5-2	メータの構成	50
5-2-1	レベルメータ	51

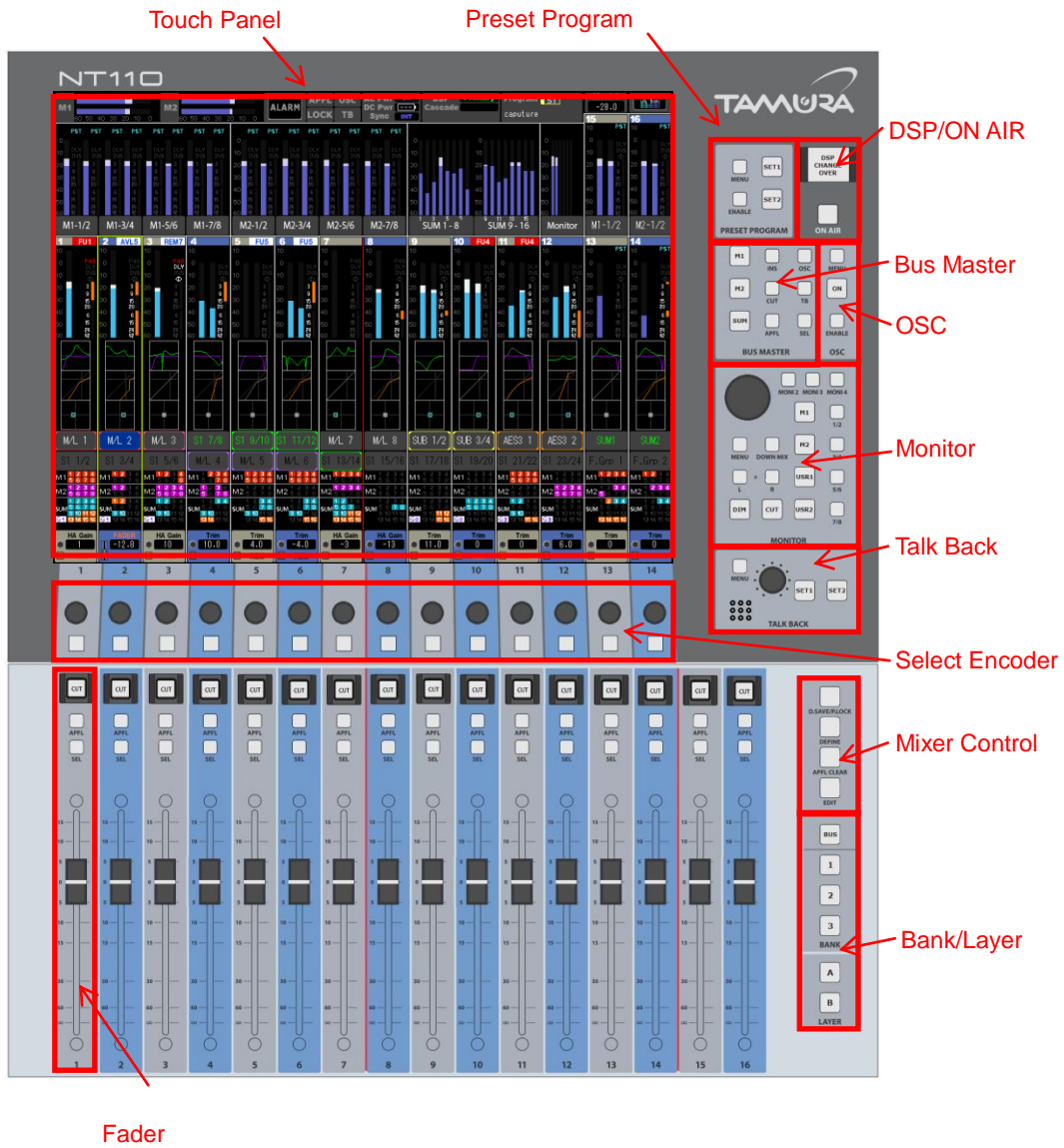
5-2-2	設定インジケータ.....	52
5-2-3	ゲインリダクションメータ.....	53
5-3	Output Meter	54
5-4	Channel Meter.....	55
5-5	Assign Status.....	57
5-6	Select Encoder Guide.....	57
6.	Channel Setting 画面	58
6-1	Overview.....	59
6-2	Bus アサインエリア	61
6-3	Insert Source エリア	62
6-4	Main Pan エリア	63
6-5	SUM エリア	64
6-6	Audio Path エリア	64
6-7	チャンネルメータエリア	66
6-8	Input エリア	66
6-9	EQ /FIL エリア.....	67
6-10	Dynamics エリア.....	68
6-11	Channel 情報エリア.....	69
7.	Menu 画面	70
7-1	Overview.....	71
7-2	Overview メニュー	73
7-2-1	通常画面	73
7-2-2	Input マトリクス設定ウインドウ.....	76
7-2-3	Fader Group / Link Function Select 設定ウインドウ.....	78
7-3	Monitor メニュー	80
7-3-1	メニューTop	80
7-3-2	Monitor 1/2/3/4	81
7-3-3	Monitor Parameter.....	82
7-4	Group メニュー	83
7-4-1	メニューTop	83
7-4-2	Fader Group Type	83

7-4-3	Group1 - 16	84
7-5	Meter メニュー.....	85
7-5-1	メニューTop	85
7-5-2	Peak Hold Time	85
7-5-3	Hold Reset.....	85
7-5-4	Release Time	85
7-5-5	Dual Ch Meter	85
7-5-6	Caution Bar Color.....	85
7-6	OSC/TB メニュー.....	86
7-6-1	メニューTop	86
7-6-2	OSC/TB Parameter	86
7-6-3	OSC Dest Select	87
7-6-4	OSC Preset	87
7-6-5	Frequency 1 – 6	87
7-6-6	TB Preset1	87
7-6-7	TB Preset2	87
7-7	Preset Prg メニュー	88
7-7-1	メニューTop	88
7-8	Status メニュー	90
7-8-1	メニューTop	90
7-8-2	Alarm/Status Log	91
7-9	System.....	92
7-9-1	Console Mode	92
7-9-2	Bus Format M1/M2/Sum	92
7-9-3	Sync Source	93
7-9-4	SUB IN 1/2/3/4 Reference Level.....	93
7-9-5	LINE OUT Reference Level.....	93
7-9-6	AES3 IN 1/2 Sample Rate Converter	93
7-9-7	Downmix Level	94
7-9-8	Delay	94
7-9-9	Luminance.....	94
7-9-10	DC Input Voltage	95
7-9-11	AC Power Alarm	95
7-9-12	DC Power Alarm.....	95
7-10	Output Mtx	95
7-10-1	Output マトリクス設定ウィンドウ	97
7-11	GPIO Slot1/GPIO Slot2	98
7-11-1	メニューTop.....	98
7-11-2	GPIO Card 設定方法(例:FU ON)	99
7-12	Option.....	102
7-12-1	メニューTop	102
7-12-2	Cascade	102
7-12-3	Slot1/Slot2	103
7-12-4	Slot1/Slot2 各オプションカード設定	103

7-13	Config	105
7-13-1	CUT Switch Operation.....	105
7-13-2	Moni1/2/3/4 Int/Mix Source.....	105
7-13-3	Moni1/2/3/4 Auto Cut Source	105
7-13-4	Moni1/2/3/4 Auto Dim Source	105
7-13-5	ON AIR – OSC Inhibit.....	106
7-13-6	ON AIR – TB Inhibit	106
7-13-7	Sum Send – Pan Link.....	106
7-14	SETUP	107
7-14-1	Digital Reference Level	107
7-14-2	FS – Sampling Rate	107
7-14-3	DSP Auto Changeover	107
7-14-4	Password.....	107
7-14-5	TB Always On.....	108
7-14-6	Mono Mix Dimmer Level.....	108
7-14-7	PFL Source.....	108
7-14-8	Sum Pre Source	108
7-14-9	HA Headroom	108
7-14-10	BT Cut	108
7-15	その他の画面	109
7-15-1	キーボードウインドウ	109
8.	GPIO	111
8-1	制御機能	112
8-1-1	機能一覧	112
8-1-2	機能詳細	114
9.	Appendix	117
9-1	チャンネルパラメーター一覧	118
9-2	Select Encoder(Channel Setting)機能配置一覧	121
■	EQ.....	121
■	Dynamics	121
■	SUM Send.....	122
■	Input	123
■	Pan.....	125
9-3	Select Encoder(Menu)機能配置一覧	126
■	Monitor Menu	126
■	OSC/TB Menu.....	126
9-4	Select Encoder(Bus Master)機能配置一覧	127
■	M1/M2	127
■	Sum.....	127

1. Part names and functions

1-1 Overview

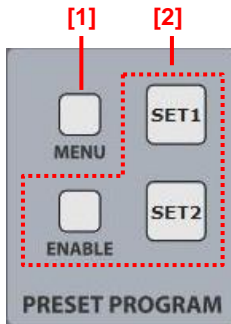


1-2 Touch Panel

音声メータ、チャンネル設定などを表示します。また、ミキサーの各種設定をタッチ操作により行います。

1-3 Preset Program

Preset Program (ミキサー設定を内蔵メモリに保存、呼び出す機能)の各種コントロールを行います。Preset Program メモリはミキサー設定を 99 個保存する容量があります。



[1] MENU

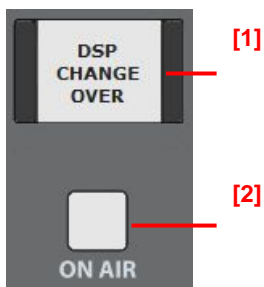
Touch Panel に Preset Program メニューを表示します。メニュー表示後、再度押すことで Meter 画面へ戻ります。

[2] SET1/SET2/ENABLE

Enable ボタンを押しながら Set1 ボタンを長押しすると Preset Program No.1 が呼び出されます。

Enable ボタンを押しながら Set2 ボタンを長押しすると Preset Program No.2 が呼び出されます。

1-4 DSP/On Air



[1] DSP CHANGE OVER

DSP Card が冗長構成の場合、本ボタンを押すことで Secondary DSP Slot へ実装されている DSP Card を Active(稼働)状態へ切り替えます。

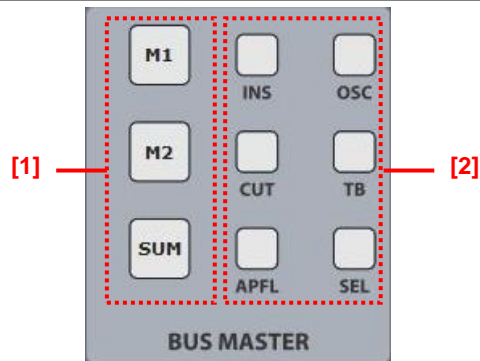
Setup メニューの DSP Auto Changeover が ENABLE に設定されている場合、DSP Card は自動で切り替わります。この場合、本ボタンは Secondary DSP Slot へ実装されている DSP Card の強制選択ボタンとして機能します。

[2] ON AIR

本ボタンを押すことでミキサーを ON AIR 状態にします。

ON AIR 状態である場合、Config メニューで設定された機能 (OSC 送出禁止、Talk Back 送出禁止 など) が働きます。

1-5 Bus Master



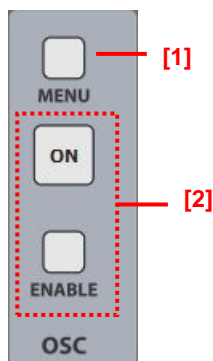
[1] M1/M2/SUM

Bus Master を Select Encoder へ呼び出します。
Select Encoder を操作して Bus Master の Fader Level 調整を行います。

[2] INS/CUT/APFL/OSC/TB/SEL

ボタンを押すと Select Encoder のボタン機能が切り替わります。

1-6 OSC



[1] MENU

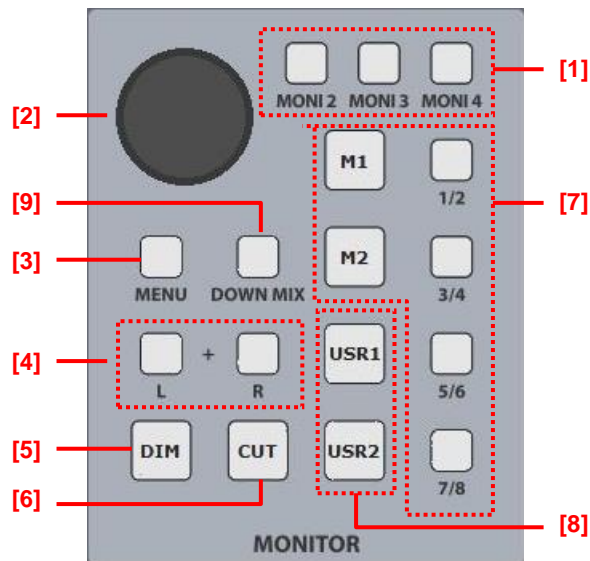
Touch Panel に OSC メニューを表示します。
メニュー表示後、再度押すことで Meter 画面へ戻ります。

[2] ON / ENABLE

Enable ボタンを押しながら On ボタンを押すと OSC Set(Preset)に設定された出力に OSC を割り込みます。
いずれかの出力に OSC が割り込んでいる間 On ボタンが点灯します。
点灯している On ボタンを押すことで全ての OSC 割り込みが解除します。

1-7 Monitor

Monitor1～Monitor4 の各種コントロールを行います。



- [1] **MONI2 / MONI3 / MONI4**
 コントロールする Monitor を選択します。択一選択ボタンで全てのボタンが Off の場合に Moni1 が選択されます。
- [2] **Monitor ボリューム(Encoder)**
 モニター音量を調整します。調整中の音量レベルは Touch Panel 最上部右端に数値表示されます。
 押しながら回すと微調整が行えます。
- [3] **MENU**
 Touch Panel に Monitor メニューを表示します。
 メニュー表示後、再度押すことで Meter 画面へ戻ります。
- [4] **L / R**
 L 分岐、R 分岐を行います。L/R 両方のボタン On で L+R 分岐します。
- [5] **DIM**
 Dimmer を On/Off します。音量が小さくなります。Dimmer Level の設定は Touch Panel - Monitor メニューで行います。
- [6] **CUT**
 Cut を On/Off します。Cut On 時ミュートします。

[7] M1 / M2、1/2、3/4、5/6、7/8

M1/M2 モニター素材を選択します。M1/M2 ボタンと 1/2,3/4,5/6,7/8 ボタンの組み合わせで素材が選択されます。

例. M1 ボタン On、1/2 ボタン On : Master1-1/2 素材を選択
※L/R ボタンと組み合わせることでモノラル素材選択が可能です。

本体パネルボタン(M1,M2,USR1,USR2 又は 1/2,3/4,5/6,7/8)の同時押し(一つ目のボタンを押しながら他のボタンを押す)をすることで Monitor Mix(Σ)機能が有効になります。

M1/M2 , 1/2 , 3/4 , 5/6 , 7/8 ボタン組合せによるモニター素材選択

ボタン選択		Console Mode			
		Stereo		5.1 Surr	
M1/M2	1- 8	RESOURCE	FORMAT	RESOURCE	FORMAT
M1	OFF	M1 1/2	ST	M1 1 - 6	5.1
	1/2	M1 1/2	ST	M1 1/2	ST
	3/4	M1 3/4	ST	M1 3/4	ST
	5/6	M1 5/6	ST	M1 5/6	ST
	7/8	M1 7/8	ST	M1 7/8	ST
M2	OFF	M2 1/2	ST	M2 1 - 6	5.1
	1/2	M2 1/2	ST	M2 1/2	ST
	3/4	M2 3/4	ST	M2 3/4	ST
	5/6	M2 5/6	ST	M2 5/6	ST
	7/8	M2 7/8	ST	M2 7/8	ST

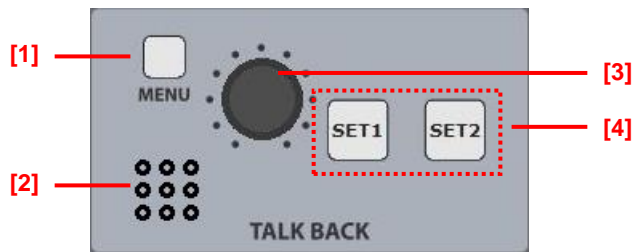
[8] USR1 / USR2

User Source 1 または 2 として設定されたモニター素材を選択します。
User Source は Touch Panel - Monitor メニューで設定します。

[9] DOWN MIX

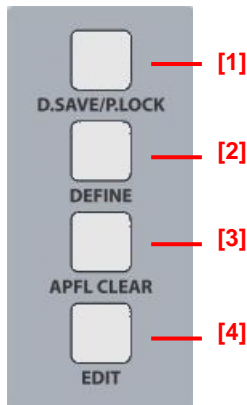
サラウンド素材をダウンミックスしてモニターする場合に On に設定します。

1-8 Talk Back



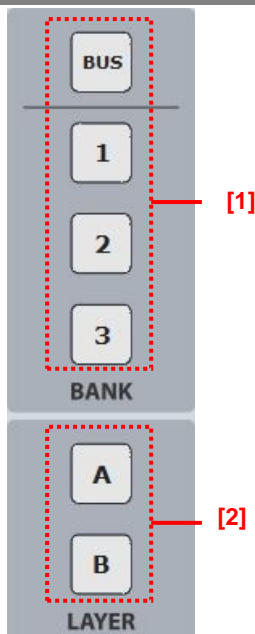
- [1] MENU**
Touch Panel に TB(Talk Back)メニューを表示します。
メニュー表示後、再度押すことで Meter 画面へ戻ります。
- [2] 内蔵マイク**
トークバック用マイクが内蔵されています。本マイク入力音声トークバック音声信号になります。
- [3] トークバックボリューム**
トークバック音量を調整します。
- [4] SET1/SET2**
Set1 ボタンを押すと TB Set1(Preset1)に設定された出力に TB を割り込みます。
Set2 ボタンを押すと TB Set2(Preset2)に設定された出力に TB を割り込みます。

1-9 Mixer Control



- [1] **D.SAVE/P.LOCK**
 本ボタンを押すと Display Save 状態になり Touch Panel が消灯します。再度ボタンを押すと解除します。
 本ボタンを長押しすると本ボタン以外のパネル操作をロックします。再度ボタンを押すと解除します。
- [2] **DEFINE**
 Select Encoder をユーザー指定の機能に割り当てることが出来ます。(Define)
 本ボタンを押すことで Select Encoder は割り当てられたチャンネルのみ Define 機能に切り替わります。
 Channel Setting 画面表示中、本ボタンを押しながら設定したい Select Encoder を Push することでそのチャンネルの Define 機能に定義されます。
- [3] **APFL CLEAR**
 いずれかの APFL ボタンが On の場合に点灯します。点灯中に本ボタンを押すことで全ての APFL が解除されます。
- [4] **EDIT**
 本ボタンを押すことで Touch Panel に Edit メニューを表示します。
 Edit メニューからチャンネルのパラメーターコピーやクリア等の操作を行います。
 詳細は「チャンネルパラメータの編集」を参照ください。

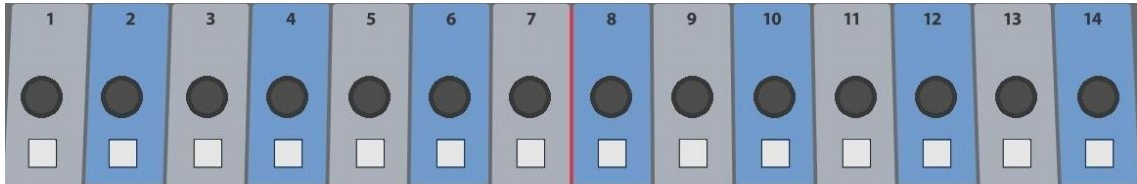
1-10 Bank/Layer



- [1] **BANK 1 / 2 / 3 / BUS**
 Fader 16ch の Bank を切り替えます。
 ユーザーが自由にレイアウトを設定出来る Bank は 3 つあります (Bank1 / Bank2 / Bank3)。各 Bank にはそれぞれ 2 つの Layer (A/B) があります。
 Bus を選択すると Fader 16ch の Bank は Bus へ切り替わります。Bus Bank の Layer は Layer A が M1、M2、Layer B が Sum に固定されています。
- [2] **LAYER A / B**
 Fader 16ch の Layer を切り替えます。
 本ボタンを押すと Fader 16ch の Layer が一斉に切り替わります。本ボタン押しながら Fader の Sel ボタンを押すとチャンネル個別に Layer が切り替わります。

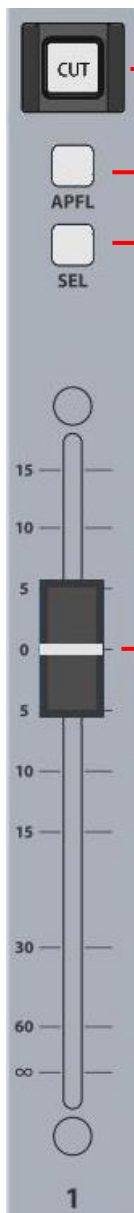
1-11 Select Encoder

各種用途に機能が切り替わるエンコーダとボタンです。
通常デフォルト状態では HA Gain/Trim エンコーダとして機能します。



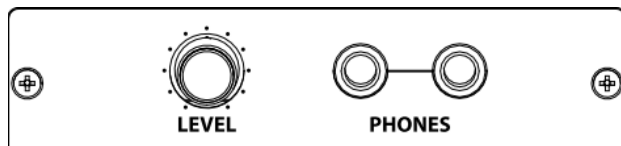
割り当てされた機能によってはエンコーダを押しながら回す事で微調整を行うことが可能です。
機能配置の詳細は「Appendix Select Encoder 機能配置一覧」を参照ください。

1-12 Fader



- [1] CUT**
Cut を On/Off します。Cut On 時チャンネルの信号をミュートします。
- [2] APFL**
APFL を On/Off します。On 時、チャンネルの信号は APFL Bus へ送られ、Config メニューに指定されている Monitor へ割り込みます。本ボタンは押すたびに On/Off トグルします。この場合 AFL 信号を APFL Bus へ送ります。
本ボタンを長押しした場合、押ししている間 PFL 信号を APFL Bus へ送ります。
- [3] SEL**
通常時、本ボタンを押すと Touch Panel に Channel Setting 画面を呼び出し、Select Encoder は Channel Setting の機能になります。Channel Setting はチャンネルの全パラメータを調整するモードです。Touch Panel に全パラメータが表示され Select Encoder で各種パラメータを調整します。
※Sel ボタンは上記以外の特殊モードにおいてチャンネルを指定する機能として動作します。
- [4] Fader**
100mm ストロークのモーターフェーダーです。チャンネルの主音量を調整します。

1-13 Head Phone Panel



ミキサーのフェーダー手前下部にヘッドフォンパネルがあります。

ヘッドフォンジャックは2つあり、それぞれヘッドフォンを接続する事が可能です。(2つのジャックは同じ音声を出力します)

ヘッドフォンの出力信号は Touch Panel – Out Mtx メニューで選択します。

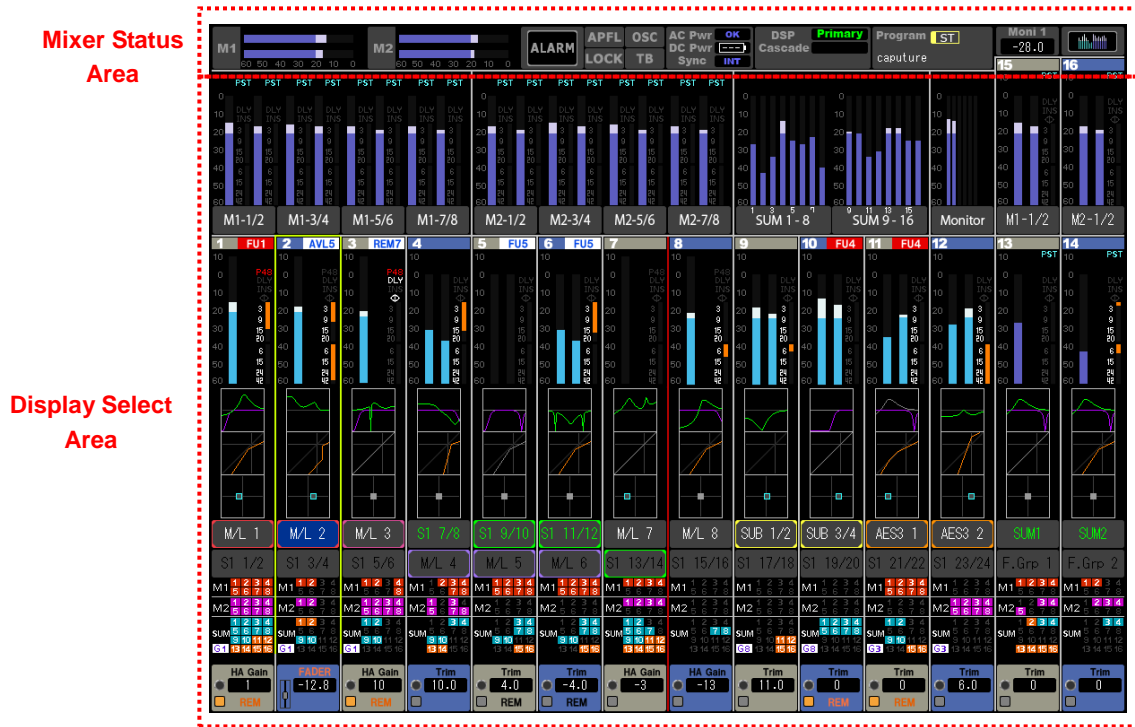
Out Mtx 機能でヘッドフォンへの出力信号に Monitor を設定すると、ヘッドフォンの音声を Monitor 素材選択に連動させることができます。

2. Display Select

2-1 画面構成

NT110 は Touch Panel の表示を各種画面へ切り替えながらオペレーションを行うことにより、コンパクトな操作スペースでありながら多くの情報表示と各種設定操作を可能としています。

Touch Panel の画面は、下図の様に 2 つの画面エリアによって構成されています。



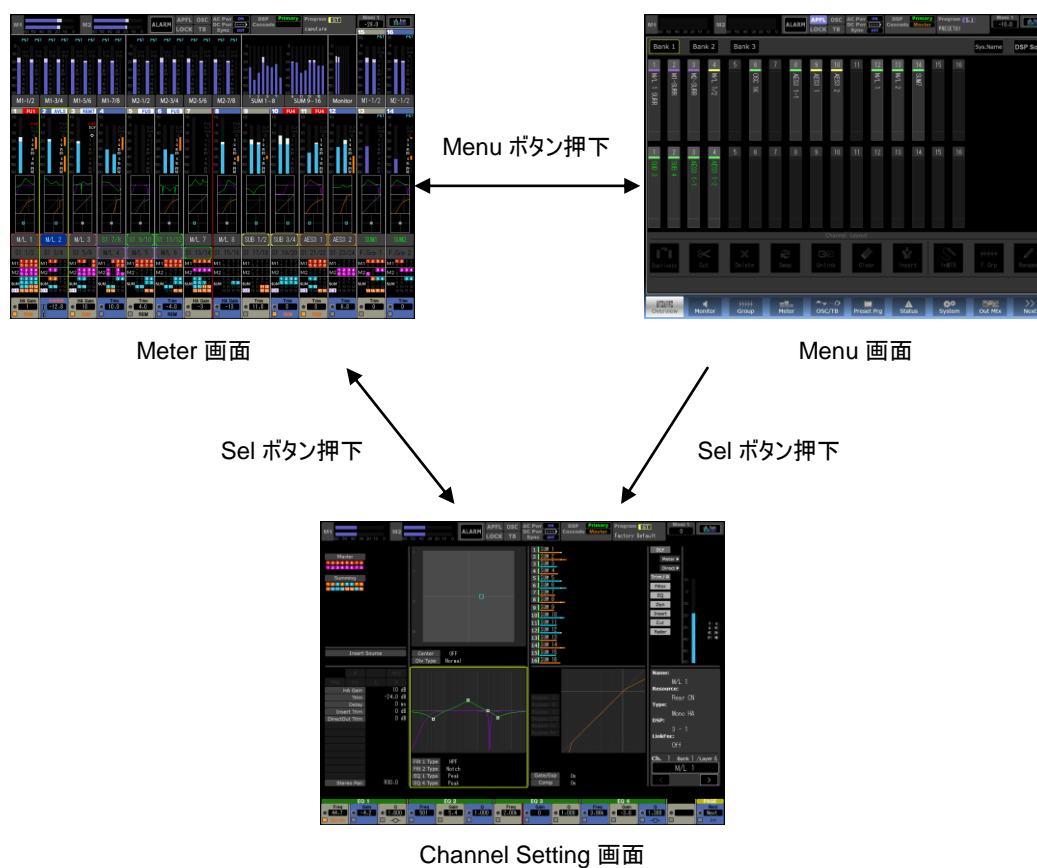
Mixer Status Area

Touch Panel の画面切り替えによらず常に表示されているエリアです。M1/M2 Meter や Alarm の発生、各種 Status 情報を常に表示します。

Display Select Area

Meter 画面、Menu 画面、Channel Setting 画面を切り替えながら表示します。

2-2 Touch Panel 画面表示の切り替え



2-2-1 各画面の概要

Meter 画面

出力 Bus 及び選択中 Bank 各チャンネルのパラメータ、代表パラメータ表示を行います。

Channel Setting 画面

選択チャンネルの全パラメータを表示します。Touch Panel のタッチ操作やエンコーダとボタンを使用してパラメータ設定や調整を行います。

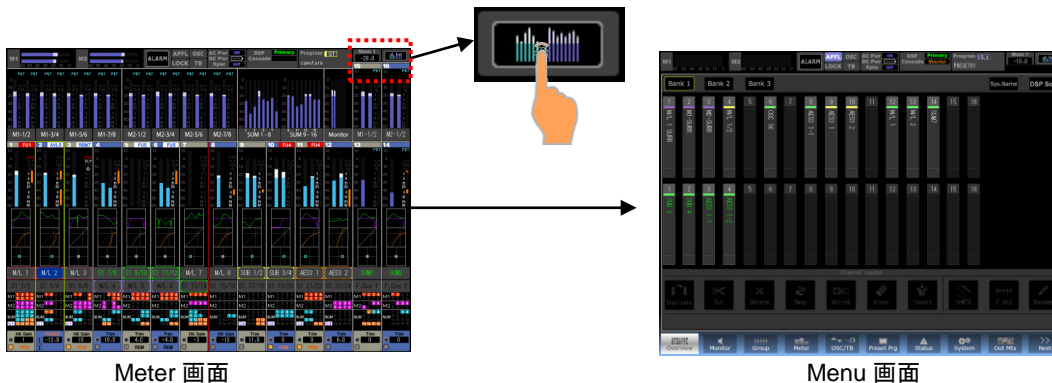
Menu 画面

チャンネルレイアウトなど、ミキサー全体の各種設定や Preset Program の呼び出し、保守情報の表示などを行います。

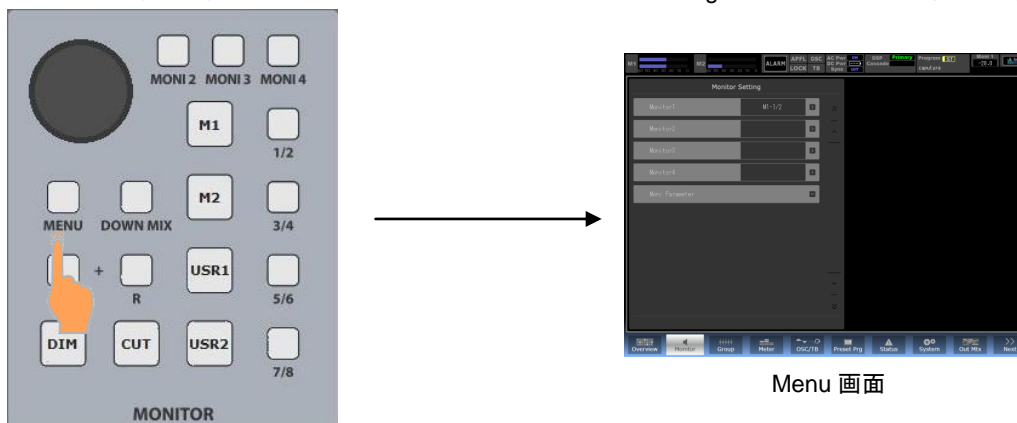
2-2-2 画面の切り替え操作

2-2-2-1 Menu 画面への切り替え

1). Meter 画面表示中、Meter 画面上部にある Menu ボタンを押します。

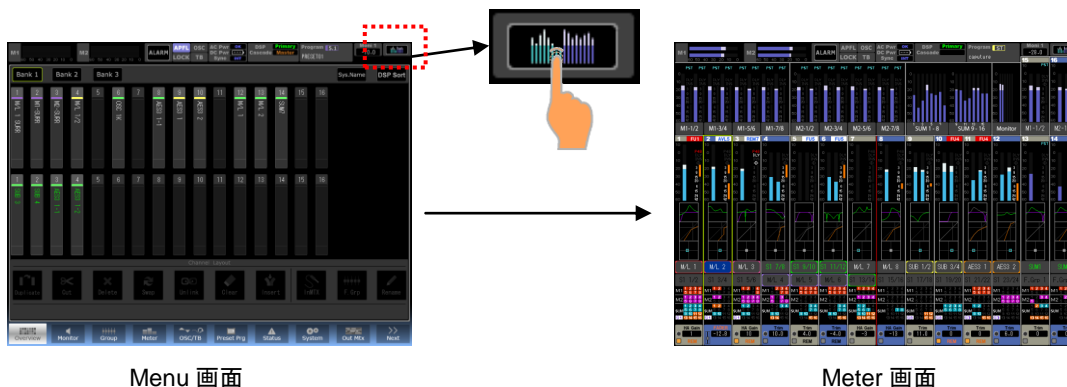


2). Touch Panel 右側に配置されている Talk Back//Monitor/OSC/Preset Program の Menu ボタンを押します。



2-2-2-2 Meter 画面への切り替え

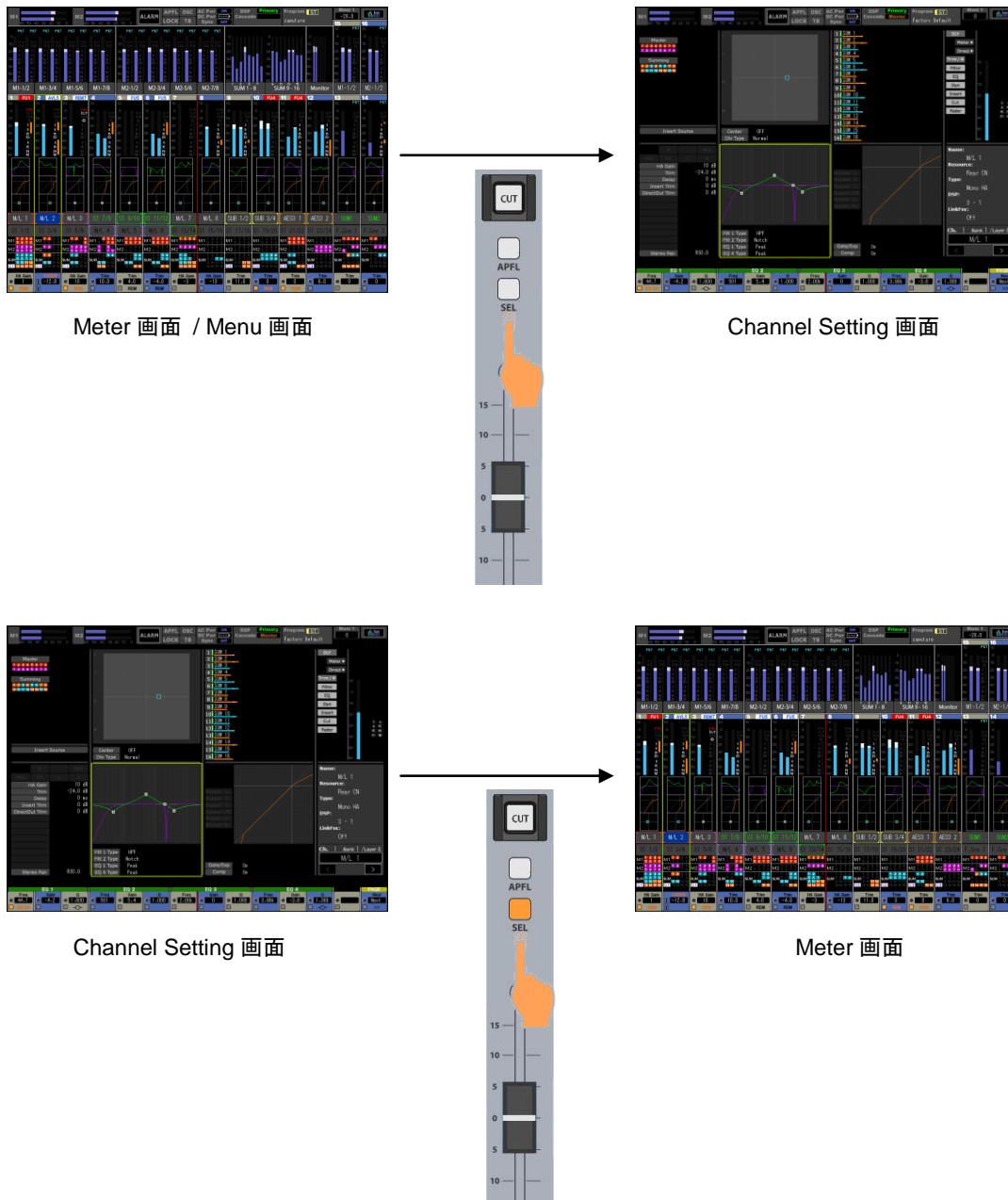
Menu 画面表示中、Menu 画面上部にある Meter ボタンを押します。



2-2-2-3 Channel Setting 画面への切り替え

Meter 画面もしくは Menu 画面表示中、Fader 上部の Sel ボタンを押すと Sel ボタンが点灯、Channel Setting 画面を表示します。

Channel Setting 画面表示中に点灯中の Sel ボタンを押すと Meter 画面を表示します。



3. Channel Control

3-1 チャンネルの作成

チャンネルストリップに、操作対象とする入力音声、出力 Bus、Fader Group マスターのいずれかを指定することでチャンネルが作成されます。

この指定することができる項目を、NT110 では Source と呼びます。特に、入力音声に相当する Source は Input Source と呼び、各カテゴリに分類されています。

これらの Source はリスト化されており、チャンネルの作成は、このリストから Source を選択することで実行されます。

Source には、チャンネルフォーマット(Mono/Stereo/5.1 のいずれか)があらかじめ設定されています。

Source を指定してチャンネルが作成される時、その設定をもとに、チャンネルフォーマットが自動的に設定されます。従って、オペレータはそれぞれのチャンネルストリップのチャンネルフォーマットを個別に設定する必要はありません。



Mono チャンネルを作成する場合は Mono の Source(例. M/L 1)を、Stereo チャンネルを作成する場合は Stereo の Source(例.M/L 1/2)を選択します。5.1Surround チャンネルを作成する場合は 5.1Surround の Source(例. M/L 1 SURR)を選択します。

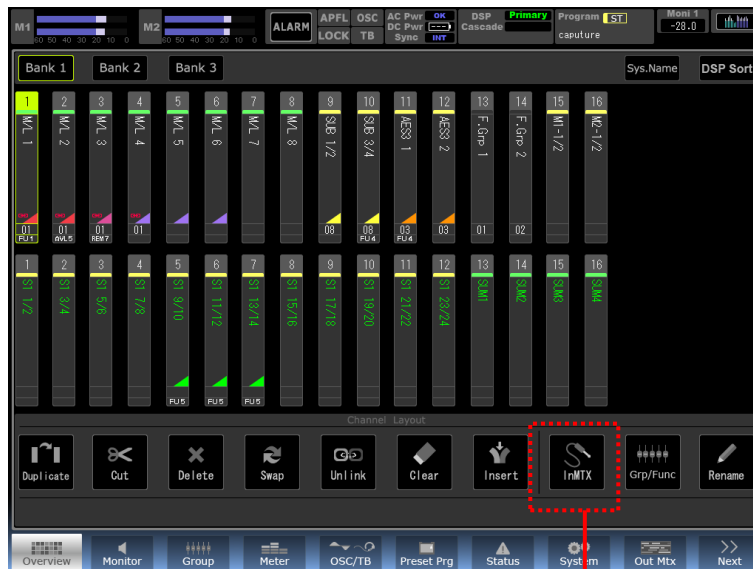
Stereo 設定の Sum などの出力 Bus の場合は、その左 Bus だけの Mono チャンネルを作成することはできません。出力 Bus チャンネルは、必ず、その Bus フォーマットに応じたチャンネルフォーマットで作成されます。

3-1-1 操作方法

Touch Panel の Menu 画面で操作します。本操作は即座にミキサーの設定に反映されます。

1 Overview 画面でチャンネルを選択する

編集メニューが選択可能な状態になります。



編集メニュー [InMTX]

2 編集メニューから[InMTX]ボタンを選択する

編集メニューの[InMTX]ボタンを押すと、Input Matrix 設定ウィンドウが表示されます。



3 カテゴリ選択ボタンで表示する Source を切り替え、Source 選択ボタンを押す

カテゴリ選択ボタンで、表示する Source を切り替えます。
Source 選択ボタンを押すと、ウィンドウが閉じ、チャンネルが作成されます。

複数の連続した Source を選択し、複数のチャンネルを一度に作成する場合は、先頭の Source 選択ボタンを押したまま、末尾のボタンを押します。



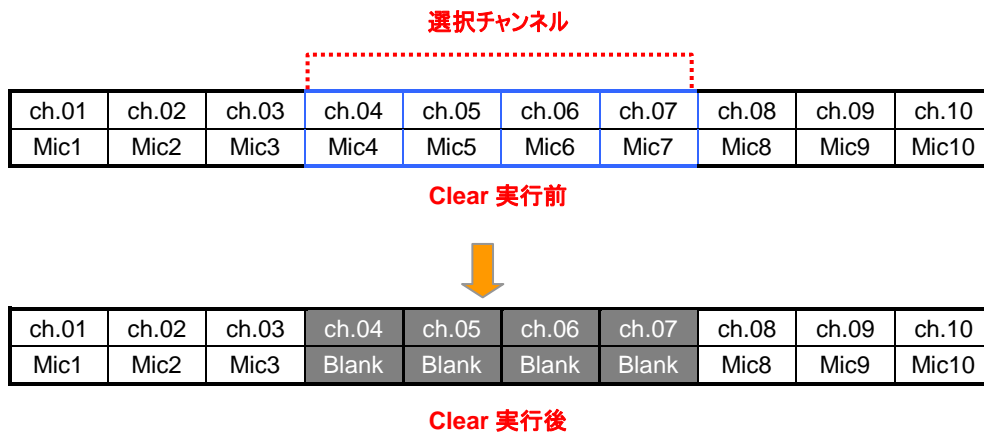
3-2 チャンネルレイアウト機能

Touch Panel の Overview 画面には、様々なチャンネルレイアウト機能が用意されています。これらの機能を使って、自由にチャンネル配置を編集することができます。

3-2-1 Clear

3-2-1-1 動作

選択したチャンネルストリップを、Blank チャンネル(Source 未割り当て状態)にします。



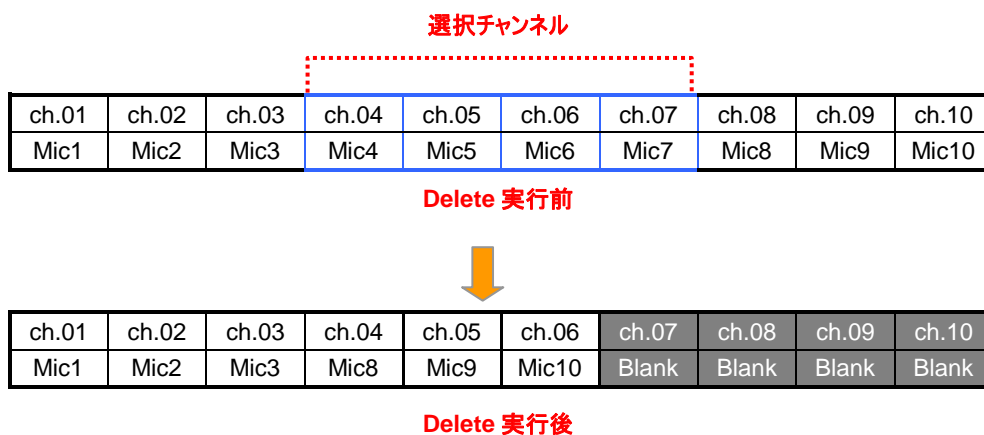
3-2-1-2 操作方法

Overview 画面でチャンネルを選択し、編集メニューから[CLEAR]ボタンを選択します。

3-2-2 Delete

3-2-2-1 動作

選択したチャンネルを削除し、それより右にあるチャンネルを、削除したチャンネル分左に移動させます。



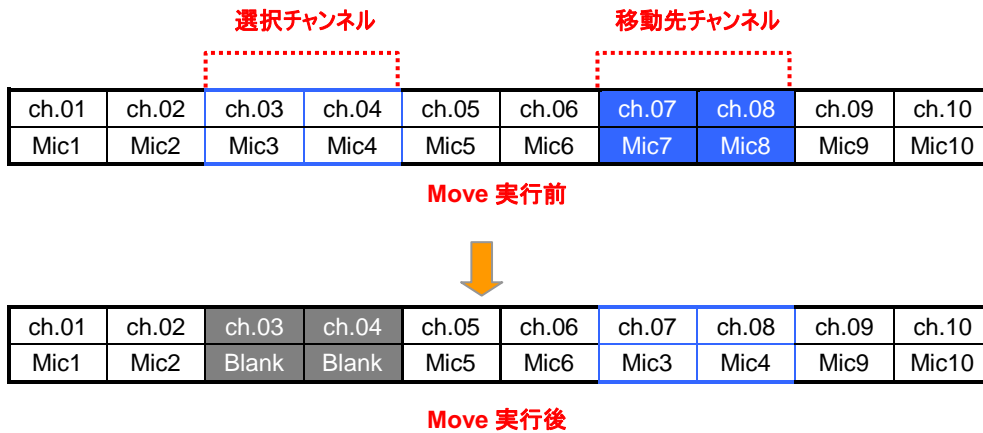
3-2-2-2 操作方法

Overview 画面でチャンネルを選択し、編集メニューから[DELETE]ボタンを選択します。

3-2-3 Move

3-2-3-1 動作

選択したチャンネルを、指定したチャンネルに移動し、元にあったチャンネルと置き換えます。
Move 元のチャンネルは Blank チャンネルになります。

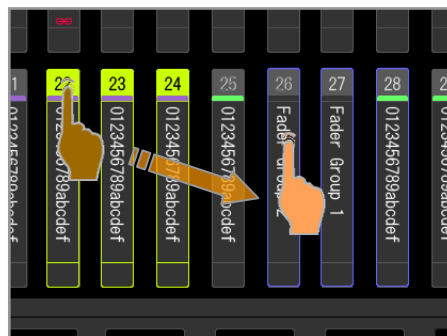


操作の手順が異なるだけで、得られる結果は Cut+Paste と同じです。

3-2-3-2 操作方法

1 Overview 画面でチャンネルを選択する

- 2 選択チャンネルのチャンネル番号表示部分をドラッグし、移動先チャンネルの名称表示部分にドロップする
選択チャンネルをドラッグし、移動先チャンネルの名称表示部分にもってくると、移動先表示になります。
ここでドロップすると、移動先チャンネルは、[1]で選択したチャンネルで置き換えられます。



3-2-4 Cut

3-2-4-1 動作

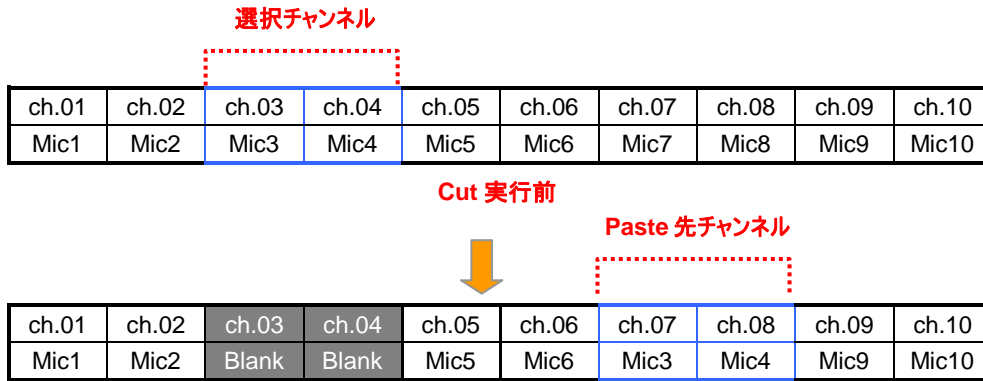
選択したチャンネルを、指定したチャンネルに移動します。

Cut 操作実行後、Paste か Insert を実行するまで操作は完了しません。

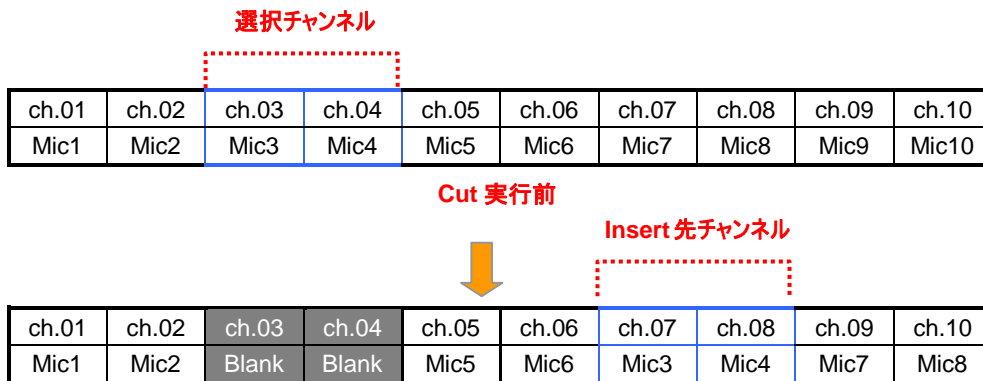
Paste を実行すると、移動先チャンネルを、Cut 元チャンネルで置き換えます。

Insert を実行すると、移動先チャンネルに、Cut チャンネルが挿入されます。

Cut 元のチャンネルは Blank になります。



Cut+Paste 実行後



Cut+Insert 実行後

3-2-4-2 操作方法

- 1 **Overview 画面でチャンネルを選択する**
- 2 **編集メニューから[CUT]ボタンを選択する**
[CUT]ボタンを選択すると、[CUT]ボタンは点灯状態となり、それ以外の編集メニューボタンが使用不可能な状態となります。
- 3 **移動先チャンネルを選択する**
移動先チャンネルを選択すると、移動先表示となります。また、編集メニューのうち、[INSERT]ボタンと[PASTE]ボタンが選択可能な状態となります。
- 4 **編集メニューから[PASTE] / [INSERT]を選択する**
[PASTE]を選択した場合は、Cut 元チャンネルで置き換え、[INSERT]を選択した場合は、Cut 元チャンネルを挿入します。

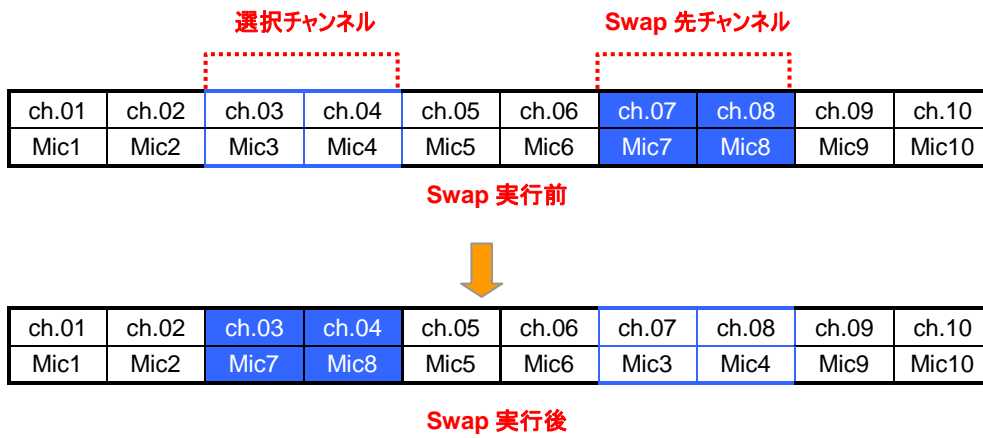


[CUT]ボタンを押した後で、CUT 操作をキャンセルする場合は、[CUT]ボタンを再度選択してください。

3-2-5 Swap

3-2-5-1 動作

選択したチャンネルを、指定したチャンネルと入れ替えます。



3-2-5-2 操作方法

- 1 **Overview 画面でチャンネルを選択する**
- 2 **編集メニューから[SWAP]ボタンを選択する**
 [SWAP]ボタンを選択すると、[SWAP]ボタンは点灯状態となり、それ以外の編集メニューボタンが使用不可能な状態となります。
- 3 **Swap 先チャンネルを選択する**
 Swap 先チャンネルを選択すると、[1]で選択したチャンネルと Swap 先チャンネルが入れ替わります。

3-2-6 Duplicate

3-2-6-1 動作

選択したチャンネルを複製します。

Duplicate 操作実行後、Paste か Insert を実行するまで操作は完了しません。

Paste を実行すると、Paste 先チャンネルを、複製されたチャンネルで置き換えます。

Insert を実行すると、Insert 先チャンネルに、複製されたチャンネルが挿入されます。



Duplicate 操作により、複製されたチャンネルと、その元になったチャンネルを Link チャンネルと呼びます。
Link チャンネルは、同じ DSP に対して操作を行う為、行った操作の全てについて、Link チャンネル間で連動します。

3-2-6-2 操作方法

1 Overview 画面でチャンネルを選択する

2 編集メニューから[DUPLICATE]ボタンを選択する

[DUPLICATE]ボタンを選択すると、[DUPLICATE]ボタンは点灯状態となり、それ以外の編集メニューボタンが使用不可能な状態となります。

3 複製先チャンネルを選択する

複製先チャンネルを選択すると、複製先表示となります。また、編集メニューのうち、[INSERT]ボタンと[PASTE]ボタンが選択可能な状態となります。

4 編集メニューから[PASTE] / [INSERT]を選択する

[PASTE]を選択した場合は、Link チャンネルで置き換え、[INSERT]を選択した場合は、Link チャンネルを挿入します。



[DUPLICATE]ボタンを押した後で、Duplicate 操作をキャンセルする場合は、[DUPLICATE]ボタンを再度選択してください。

3-2-7 Unlink

3-2-7-1 動作

選択した Link チャンネルに、新たに DSP リソースを割り当て、Link 状態を解除します。

Link チャンネルに対してのみ実行できます。

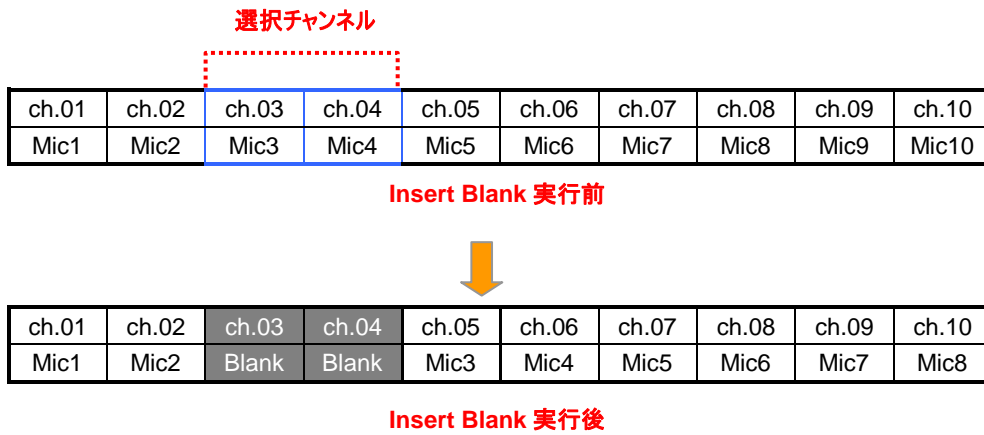
3-2-7-2 操作方法

Overview 画面で Link チャンネルを選択し、編集メニューから[UNLINK]ボタンを選択します。

3-2-8 Insert Blank

3-2-8-1 動作

選択したチャンネルストリップに Blank チャンネルを挿入します。



3-2-8-2 操作方法

Overview 画面でチャンネルを選択し、編集メニューから[INSERT]ボタンを選択します。

3-3 チャンネル名称(Fader Name)の設定

各々のチャンネルに個別の名称を設定することができます。

このチャンネル個別に設定する名称を Fader Name と呼びます。Fader Name は、半角 16 文字の範囲で設定することができます。

チャンネルに対して付す名称の為、同じ Source を割り当てたチャンネルであっても、それぞれ異なる名称にすることができます。

設定した Fader Name は、Meter 画面に表示されます。



Fader Name が設定されていない場合、Meter 画面などの名称表示領域には、Source の名称が表示されます。Source の名称は初期設定の名称で、これを System Name と呼びます。System Name は変更することができません。また、全ての Program File で共通で使用されます。

3-3-1 操作方法

Touch Panel で設定します。半角英数字のみの入力が可能です。

3-3-1-1 Overview 画面での操作

Overview 画面でチャンネルを選択し、編集メニューから[RENAME]ボタンを押します。[RENAME]ボタンを押すと、キーボードウィンドウが表示されます。文字列を入力し、エンターキーを押すと、入力した文字列が Fader Name として設定されます。

3-3-1-2 Channel Setting 画面での操作

名称を設定するチャンネルの[SEL]ボタンを押下します。

Touch Panel に、そのチャンネルの Channel Setting 画面が表示されます。この画面で Fader Name 設定ボタンを押すと、キーボードウィンドウが表示されます。文字列を入力し、エンターキーを押すと、入力した文字列が Fader Name として設定されます。

3-4 チャンネルパラメータ操作

Fader/Cut/APFL パラメータは各チャンネルそれぞれの操作部にて操作します。

HA Gain/REM/Trim パラメータは各チャンネルの Select Encoder 部のエンコーダとボタンを使い操作します。

その他パラメータは各チャンネルに配置された Sel ボタン押下により Channel Setting 画面を呼び出し Select Encoder 部のエンコーダとボタンを使い操作します。

3-4-1 Fader/Cut/APFL 操作

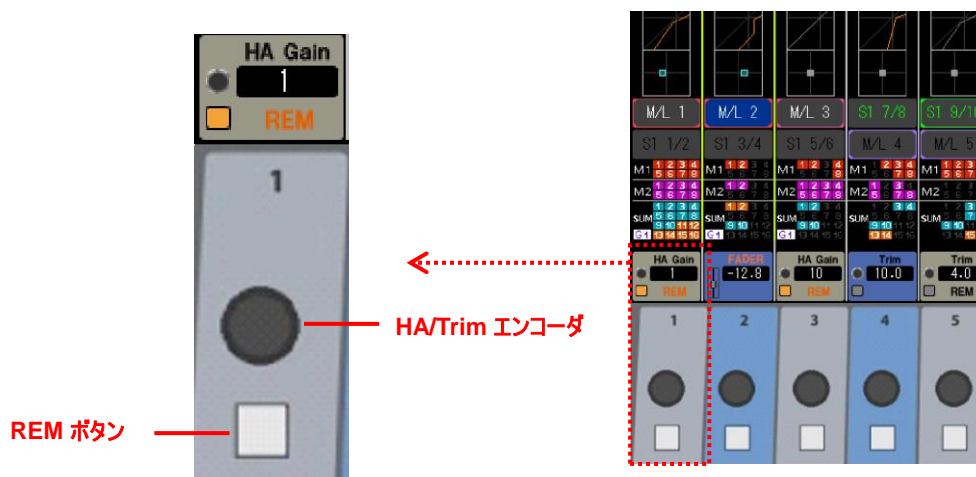
Fader/Cut/APFL は各チャンネルに専用の操作部があります。

3-4-2 HA Gain/Trim 操作

HA Gain と Trim の操作は、Select Encoder のエンコーダで行います。

チャンネルに入力されている Source が MIC/LINE 入力音声の場合、HA Gain と Trim の両方の操作を、このエンコーダで行います。エンコーダを押すと、HA Gain と Trim が切り替わります。

チャンネルに入力されている Source が MIC/LINE 入力音声以外 (SUB IN/AES3 IN など) の場合、このエンコーダの機能は Trim 専用になります。



3-4-3 REM 操作

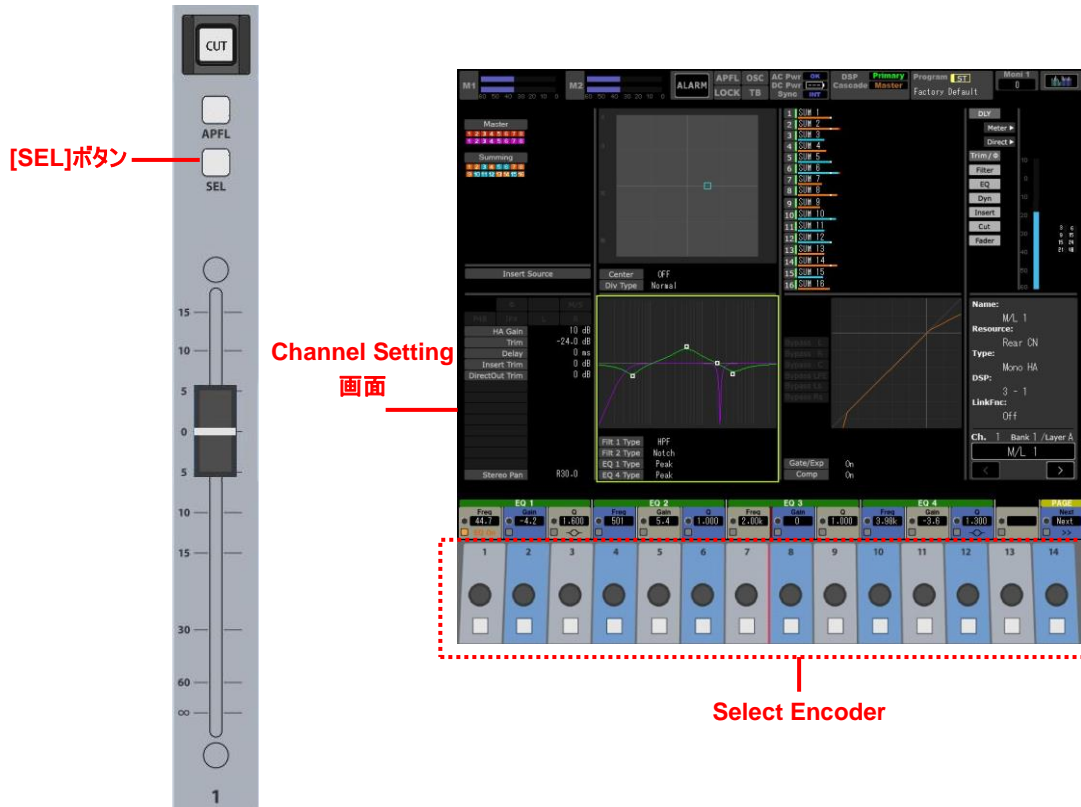
REM ボタンは、フェーダーへ Link Func が設定されている場合に表示され、Select Encoder のボタンで On/Off 操作を行います。

3-4-4 Channel Setting オペレーション

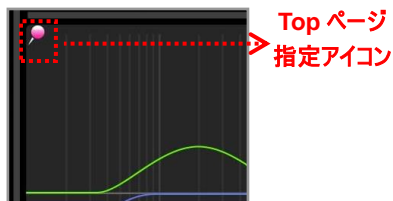
3-4-4-1 基本操作

パラメータを操作するチャンネルの[SEL]ボタンをおすと、Touch Panel に Channel Setting 画面の Top ページが表示されます。

Channel Setting 画面の各パラメータ設定領域をタッチすると、Select Encoder にパラメータ操作機能が呼び出されるか、Channel Setting 画面上に設定ウィンドウが開きます。



1 つの設定エリアを一定時間押し続けると、その設定パラメータが選択された状態が、Channel Setting 画面の Top ページになります。このとき、そのエリアの左上に、Top ページ指定アイコンが表示されます。

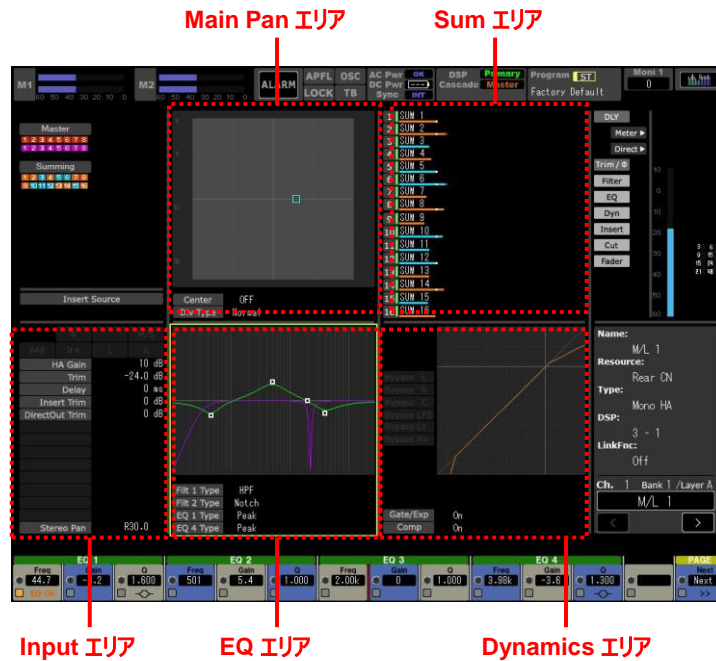


Top ページは、[SEL]ボタンを押したときに、最初に Touch Panel に表示されます。複数のチャンネルで、連続して同じパラメータを操作したい場合に、そのパラメータの画面を Top ページに指定しておきます。Top ページに指定されているエリアを一定時間押し続けると、Top ページ指定が解除されます。

3-4-5 エンコーダ操作を伴うパラメータ

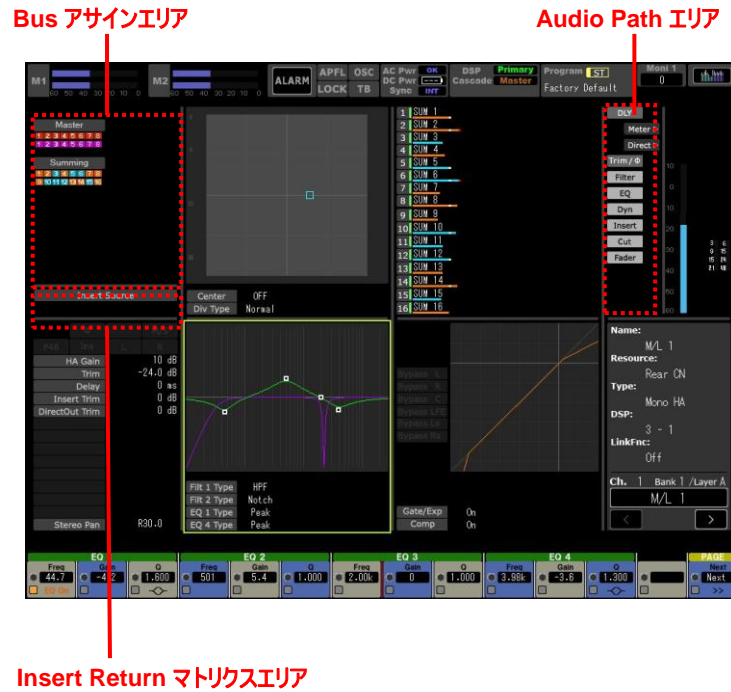
EQ、Dynamics、Sum、Surround Pan、Input は、各設定エリアをタッチすると、Select Encoder に機能が呼び出され、エンコーダ操作によってパラメータ設定を行います。

各機能の、エンコーダに割り当てられているパラメータとその動作については、[Appendix Select Encoder 機能配置一覧]を参照してください。

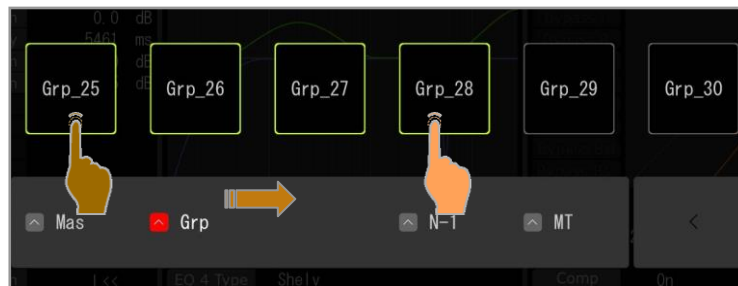


3-4-6 設定ウィンドウで操作するパラメータ

Bus アサイン、Audio Path 設定、Insert Source 選択は専用の設定ウィンドウが表示され、設定ウィンドウで操作を行います。



Bus アサイン設定ウィンドウで、複数の連続した Bus の設定を一度に変更する場合は、変更する先頭の Bus のアサインボタンを押下しながら、その末尾のボタンを押下します。



先頭の Bus をタッチしながら

末尾の Bus をタッチ

3-5 音声処理の順序 (Audio Path 設定)

3-5-1 Overview

チャンネルに音声が入力されて Bus などに出力されるまでの音声の流れを、NT110 では Audio Path と呼んでいます。この Audio Path 上には、EQ や Dynamics などの音声処理機能 (Effect) が配置されており、音声処理はその順序に従って実行されます。

また、メータや、チャンネルの Direct Out には、この Audio Path 上の何れかのポイントの音声を送られています。

これらの Effect の順序や、メータなどへの音声取得ポイントの位置は、各チャンネルに個別に変更することができます。

順序を変更できる Effect は、[EQ]、[Dynamics]、[Insert Send / Return]、[Cut+Fader]、[OSC/TB] です。

変更可能な順序は以下のパターンです。

Input channel

- ①. [EQ] [Dyna] [Ins] [Cut/Fdr] ※初期値
- ②. [Dyna] [EQ] [Ins] [Cut/Fdr]
- ③. [EQ] [Ins] [Cut/Fdr] [Dyna]
- ④. [Ins] [EQ] [Dyna] [Cut/Fdr]

Sum channel、Master channel

- ①. [EQ] [Dyna] [Ins] [OSC/TB] [Cut/Fdr] ※初期値
- ②. [Dyna] [EQ] [Ins] [OSC/TB] [Cut/Fdr]
- ③. [EQ] [Ins] [OSC/TB] [Cut/Fdr] [Dyna]
- ④. [Ins] [EQ] [Dyna] [OSC/TB] [Cut/Fdr]

メータ、Direct out で設定可能な音声取得ポイントは下表の通りです。

取得ポイント	説明	メータ		Direct Out	
		Input ch	Bus ch	Input ch	Sum ch
Input	Trim の直前の音声を取得します	*	*	*	
		Default		Default	
Pre Effect	Trim の直後、Effect の直前の音声を取得します。	*	*	*	
Pre Cut	Effect[Cut+Fader]の直前の音声を取得します。 [Cut+Fader]の設定位置に応じて、取得ポイントも変更されます。	*	*	*	
Post Effect	全ての Effect の後の音声を取得します。(メイン Pan 前の音声)	*	Default	*	Default

* : 設定可能 Bus ch : Sum ch、Master ch



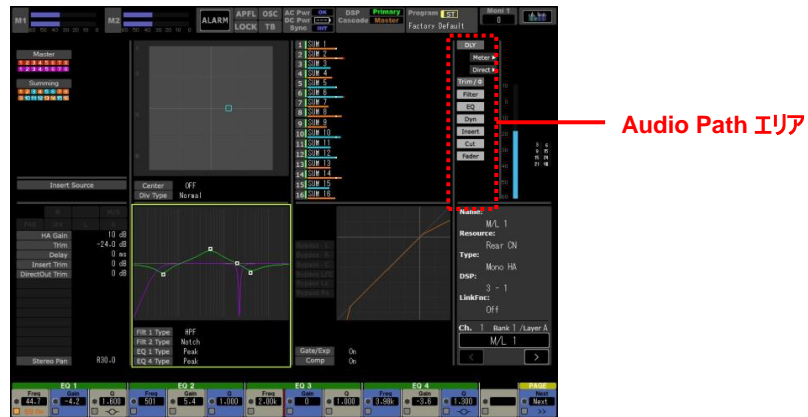
チャンネルを作成した時点の Audio Path 設定 (Default Path 設定) は上表の Default になります。Bus ch は Bus Format 変更により Default に初期化されます。

3-5-2 Audio Path 設定の変更

3-5-2-1 基本操作

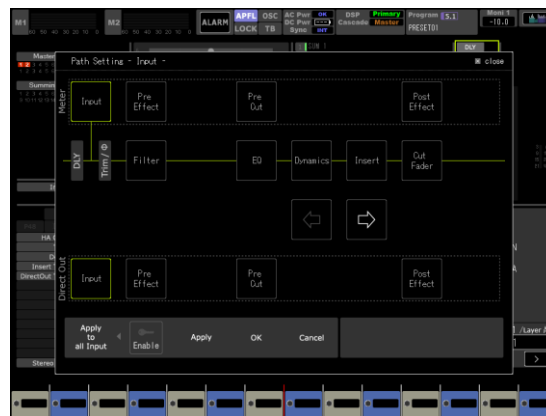
1 変更するチャンネルの[SEL]ボタンを押す

Touch Panel に Channel Setting 画面が表示されます。



2 Audio Path エリアをタッチする

Audio Path 設定ウィンドウが表示されます。



3 Audio Path 設定を変更する

- Effect の順序を変更する。
- Meter Out の音声取得ポイントを変更する。
- Direct Out の音声取得ポイントを変更する。

4 設定を適用する

- [Apply]ボタンを押すと、画面での変更が設定に適用されます。
- [OK]ボタンを押すと、変更が設定に適用され、ウィンドウを閉じます。
- [Enable]ボタンを押しながら、[Apply to All Input]ボタンを押すと、変更が全ての Input チャンネルに適用されます。

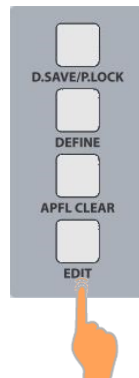
3-6 チャンネルパラメータの編集

3-6-1 パラメータ設定の Clear

パラメータの設定を初期化します。本操作により「Filter/EQ」「Dynamics」「Bus Assign」パラメータを初期化することが可能です。

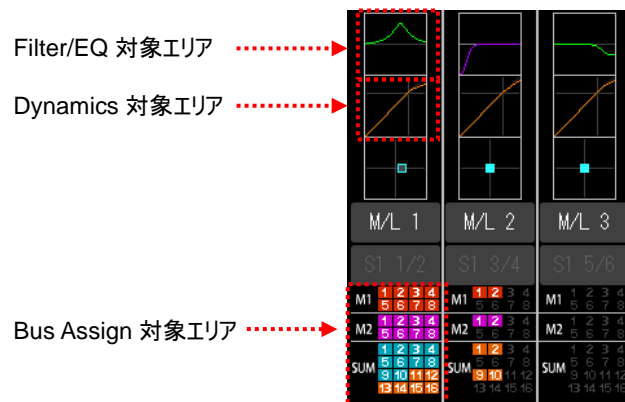
1 Meter 画面表示中に Mixer Control の Edit ボタンを押す

Edit ボタンが点滅し、Touch Panel の Meter 画面に Edit Mode 表示され Edit Mode 中であることを示します。Edit ボタンを再度押すと Edit Mode は終了します。



2 Meter 画面に表示されている初期化したいチャンネルの対象エリアを長押しする

対象エリアのパラメータが初期値に変更されます。



3 Mixer Control の Edit ボタンを押す

Edit Mode が終了します。

各対象エリアの初期化される範囲は下表の通りです。

対象エリア	初期化の範囲
[FIL/EQ]	EQ 設定、及び Filter1、2 設定
[Dynamics]	Comp 設定、GE 設定
[BUS Assign]	M1/M2/Sum Bus Assign 設定、Sum Send (PrePost/Level/Pan)設定

3-6-2 パラメータ設定の Copy

1 つのチャンネルのパラメータ設定を、他のチャンネルに Copy します。

Copy 先チャンネルは複数指定することができます。

本操作により「Filter/EQ」「Dynamics」「Bus Assign」パラメータを Copy することが可能です。

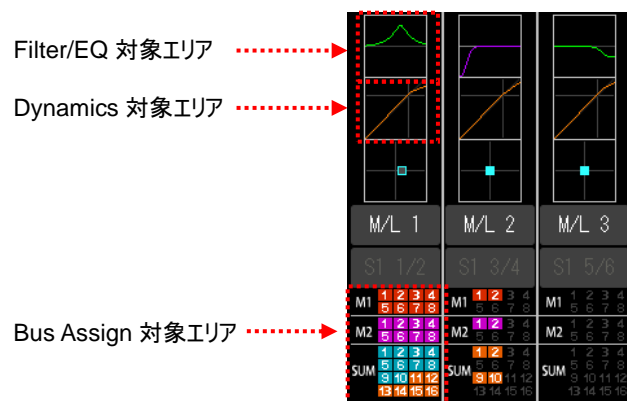
1 Meter 画面表示中に Mixer Control の Edit ボタンを押す

Edit ボタンが点滅し、Touch Panel の Meter 画面に Edit Mode 表示され Edit Mode 中であることを示します。Edit ボタンを再度押すと Edit Mode は終了します。

2 Meter 画面に表示されている Copy 元チャンネルの対象エリアを押す

対象エリアのパラメータが Copy 元としてハイライト表示します。

ハイライト表示している対象エリアを再び押すことで Copy 元指定をキャンセルすることが可能です。



3 Meter 画面に表示されている Copy 先チャンネルの対象エリアを押す

Copy 元チャンネルのパラメータが Copy 先チャンネルに Copy されます。

連続して他チャンネルの対象エリアを押すと別のチャンネルに Copy することが出来ます。

4 Mixer Control の Edit ボタンを押す

Edit Mode が終了します。

Copy 対象パラメータと、その Copy 範囲はパラメータ Clear 機能と同一です。

3-6-3 Fader Level の基準レベル設定

Fader Level を 0dB に設定します。

1 Meter 画面表示中に Mixer Control の Edit ボタンを押す

Edit ボタンが点滅し、Touch Panel の Meter 画面に Edit Mode 表示され Edit Mode 中であることを示します。Edit ボタンを再度押すと Edit Mode は終了します。

2 Fader 上部の SEL ボタンを押す

SEL ボタンを押下したチャンネルの Fader Level が 0dB に設定されます。



3-7 Bank と Layer

NT110 のチャンネルは物理的な Fader チャンネルと論理的な Bank 及び Layer により構成されます。3 つの Bank と 2 つの Layer の組み合わせにより物理的な Fader の数の 6 倍のチャンネル数を取り扱うことができます。

Bank	Layer	Fader Channel					
1	A	1	2	3	4	...	16
	B	1	2	3	4	...	16
2	A	1	2	3	4	...	16
	B	1	2	3	4	...	16
3	A	1	2	3	4	...	16
	B	1	2	3	4	...	16

Layer の切り替えはチャンネル個別または全チャンネル一斉切り替えを行うことができます。Bank は全チャンネル一斉に切り替わります。

3-7-1 操作方法

3-7-1-1 Bank 切り替え

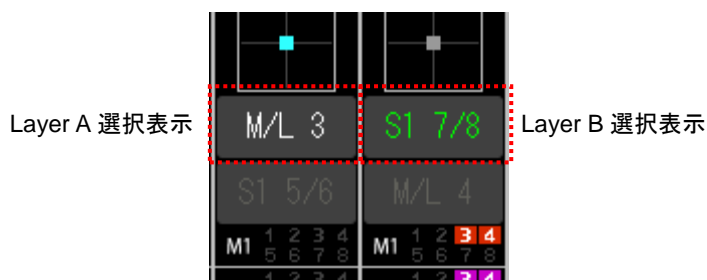
Bank/Layer パネルの Bank1~3 もしくは Bus ボタンを押します。押下した Bank へ全 Fader が一斉に切り替わります。

Bus ボタン押下時は M1/M2/Sum Bus 専用 Bank へ切り替わります。Bus Bank の Layer は Layer A が M1、M2、Layer B が Sum に固定されています。

3-7-1-2 Layer 切り替え

Bank/Layer パネルの Layer A もしくは B ボタンを押します。押下した Layer へ全 Fader が一斉に切り替わります。

Layer A もしくは B ボタン押しながら Fader の Sel ボタンを押すことでチャンネル個別に Layer が切り替わります。



3-8 チャンネルのグルーピング

3-8-1 Fader Group タイプの設定

複数の Fader を、1 つの Fader 操作に連動させます。

16 の Fader Group が利用可能で、それぞれ、通常の Fader Group 動作か、Cut Group 動作か選択することができます。

Cut Group 動作の場合、同じ Group 内の、どのチャンネルの Cut ボタンを操作しても、Group 内の全てのチャンネルの Cut ボタンが連動します。

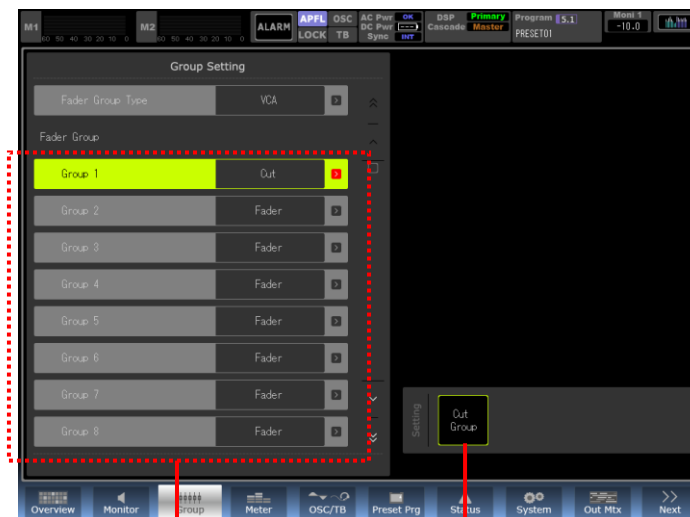
3-8-1-1 Cut Group への切り替え

1 Touch Panel の Menu 選択ボタンの[GROUP]ボタンを押す

Group メニュー画面が表示されます。

2 Fader Group 番号選択ボタンを押し、[Cut Group]ボタンを選択する

[Cut Group]ボタンが選択状態のとき、その Fader Group 番号に設定されたチャンネルは、Cut Group 動作になります。



Fader Group 番号選択ボタン

[Cut Group]ボタン

3-8-1-2 Fader Group の動作タイプの選択

Master Fader の操作に対して、Slave Fader が動く Moving タイプと、動かない VCA タイプのいずれかを選択します。

Moving タイプは、Slave Fader の位置が、実際の Fader Level と一致している為、直感的に各チャンネルの Fader Level を把握することができます。ただし、Master Fader を絞りきりにした場合、Slave Fader も絞りきりになるため、この状態で各 Slave Fader のレベル設定を変更することはできません。

VCA タイプでは、Slave Fader の位置は Master Fader に対するオフセットレベルを表しています。

Master Fader を絞りきりにしても、Slave Fader の位置は動かない為、Master Fader が絞りきりの状態でも、Slave Fader のバランスを変更できます。

1 Touch Panel の Menu 選択ボタンの[GROUP]ボタンを押す

Group メニュー画面が表示されます。

2 [Fader Group Type]ボタンを押し、動作タイプを選択する

設定されているタイプのボタンが点灯状態になります。



3-8-2 Fader Group Master チャンネルの設定

Fader Group Master チャンネルを設定します。

1 Touch Panel の Overview 画面で、Fader Group Master を作成するチャンネルを選択する

編集メニューが選択可能な状態になります。



編集メニュー [InMTX] ボタン

2 編集メニューから[InMTX]ボタンを選択する

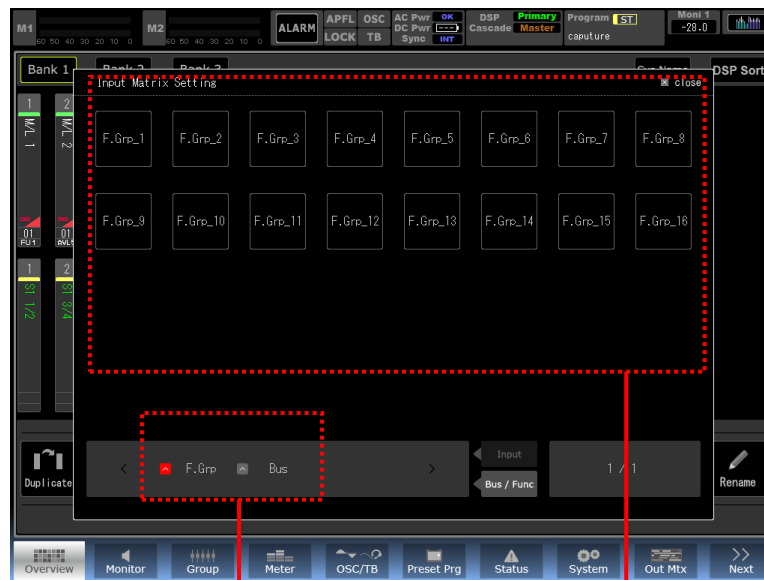
Input Matrix 設定ウィンドウが開きます。



Source 種別切り替えボタン

3 Source 種別切り替えボタンを押し、[Bus/Func]を表示させる

Fader Group Master や Bus Master が表示されます。



カテゴリ選択ボタン

Source 選択ボタン

4 カテゴリ選択ボタンで、[F.Grp]を選択し、Source 選択ボタンで[F.Grp_1]を選択する

[1]で選択したチャンネルに、Fader Group1 Master チャンネルが作成されます。

3-8-3 Fader Group Slave チャンネルの設定

Fader Group の Slave チャンネルを設定します。あらかじめ Fader Group マスターチャンネルを作成しておきます。

3-8-3-1 操作方法

1 Overview 画面で Slave チャンネルにするチャンネルを選択する

タッチした状態でドラッグすると、連続した複数のチャンネルを選択することができます。

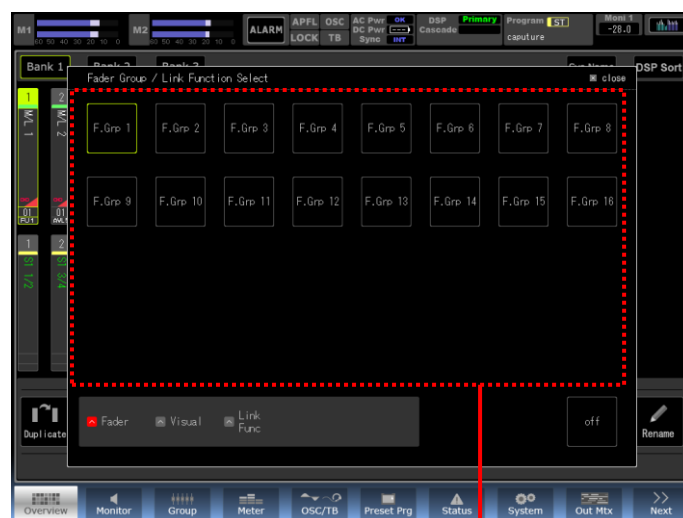


[Grp/Func]ボタン

2 編集メニューから[Grp/Func]ボタンを選択する

Fader Group 設定ウィンドウが表示されます。

Fader Group 設定ウィンドウで、[F.Grp01]ボタンを選択すると、選択したチャンネルが Fader Group 1 の Slave Fader に設定されます。



Fader Group 選択ボタン

3 Fader Group 選択ボタンで、Fader Group 番号を選択する

Fader Group 選択ボタンを押すと、ウィドウが閉じ、[1]で選択したチャンネルが、Slave チャンネルに設定されます。



Fader Group 設定を解除する場合は、Overview 画面で、解除する Slave チャンネルを選択し、Fader Group 設定ウィンドウで[Off]を選択します。

3-8-4 Visual Group

Meter 画面の Channel No.を指定色で点灯させ、視覚的なグルーピングを行います。

3-8-4-1 操作方法

1 Overview 画面で Slave チャンネルにするチャンネルを選択する

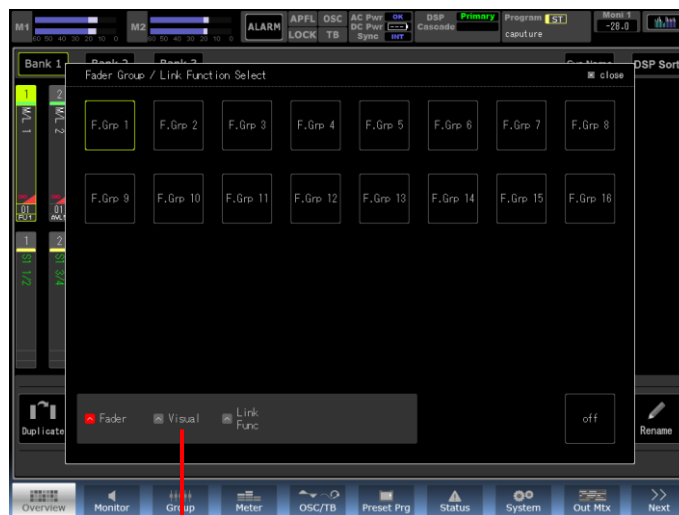
複数チャンネルの選択が可能です。



[Grp/Func]ボタン

2 編集メニューから[Grp/Func]ボタンを選択する

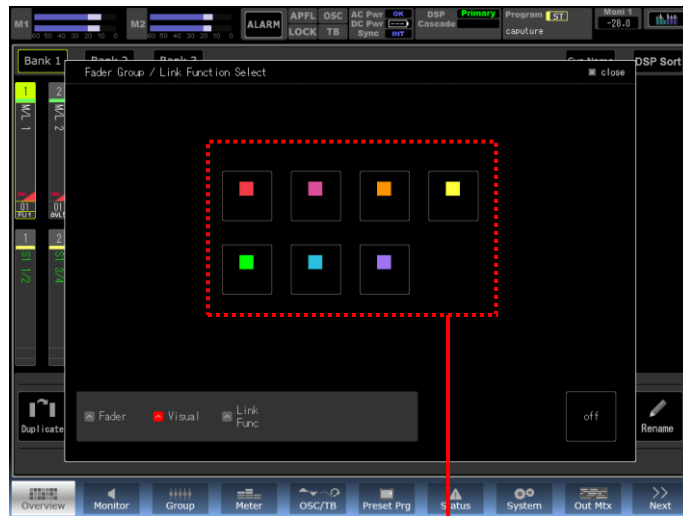
Fader Group 設定ウィンドウが表示されます。



[Visual]ボタン

3 [Visual]ボタンを押下する

Visual Group 選択ボタンが表示されます。



Visual Group 選択ボタン

4 Visual Group 選択ボタンで、Channel No の点灯色を選択する

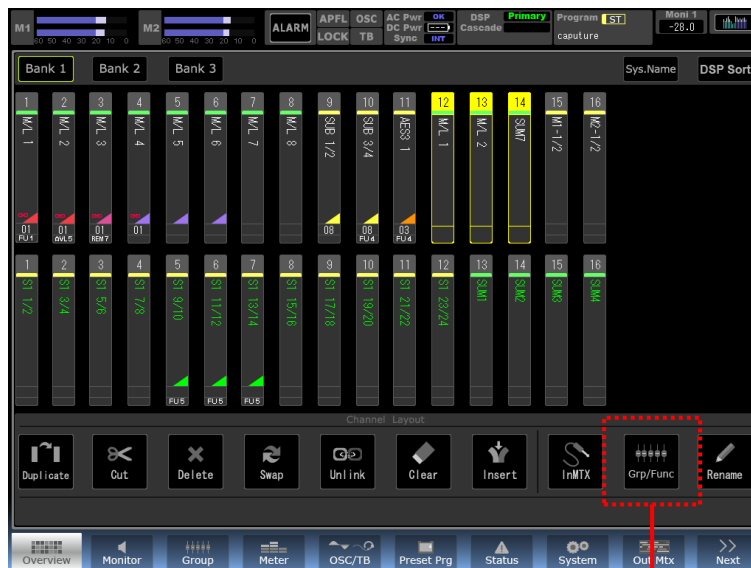
Visual Group 選択ボタンを押すと、ウィンドウが閉じ、[1]で選択したチャンネルの Meter 画面の Channel No.が選択した点灯色で点灯します。

3-8-5 Link Func

Input チャンネルへ Link Func を割り当てます。

3-8-5-1 操作方法

- 1 Overview 画面で Link Func を割り当てるチャンネルを選択する
複数チャンネルの選択が可能です。



[Grp/Func]ボタン

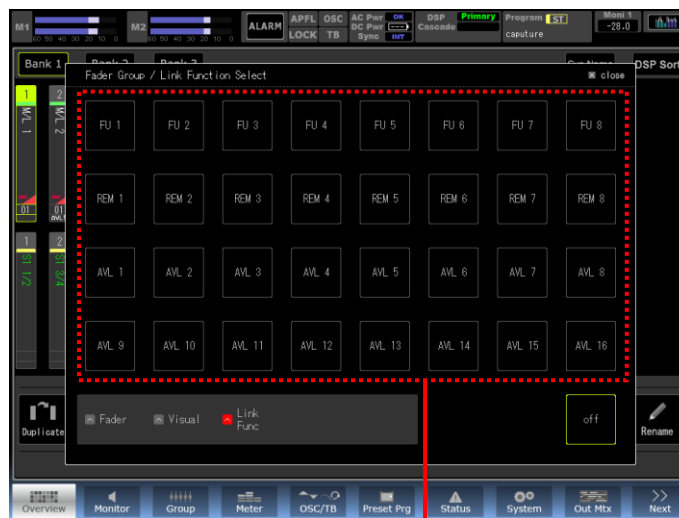
- 2 編集メニューから[Grp / Func]ボタンを選択する
Fader Group 設定ウィンドウが表示されます。



[Link Func]ボタン

3 [Link Func]ボタンを押下する

Link Func 選択ボタンが表示されます。



Link Func 選択ボタン

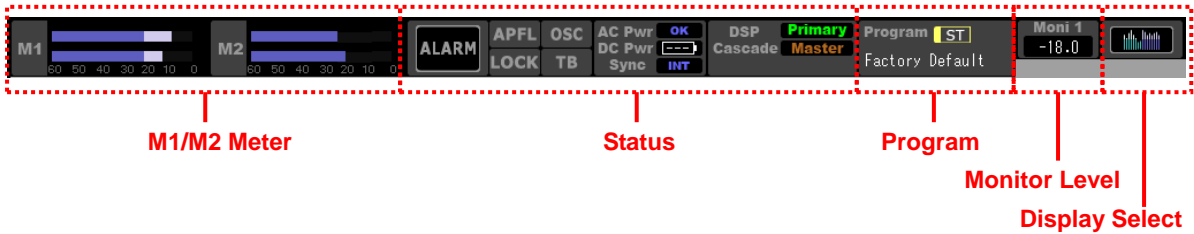
4 Link Func 選択ボタンで、機能を選択する

Link Func 選択ボタンを押すと、ウィンドウが閉じ、[1]で選択したチャンネルの Meter 画面の Channel 上段へ選択した機能の名前が表示され、Select Encoder には REM ボタンが表示されます。

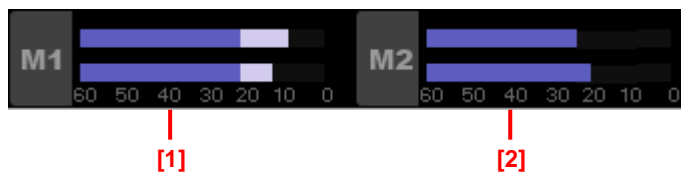
4. Mixer Status 画面

4-1 Overview

Mixer Status は Touch Panel の画面切り替えによらず常に表示されているエリアです。M1/M2 Meter や Alarm の発生、各種 Status 情報を常に表示します。



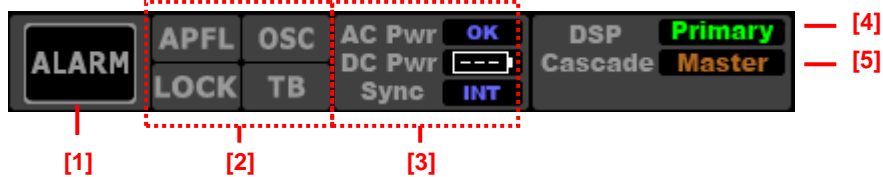
4-2 M1/M2 Meter



- [1] **M1 メータ**
M 1 のメータを表示します。
M1 1/2 が Stereo の場合は M1 1/2 を表示します。
M1 1-6 が Surround の場合は M1 1 - 6 を表示します。
- [2] **M2 メータ**
M 2 のメータを表示します。表示方法は M1 同様です。

4-3 Status

Mixer の各種ステータス及び設定を表示します。



- [1] **ALARM**
ミキサーシステム内でアラームが発生し、ミキサーに通知されると点滅します。全てのアラームが解除されたときに消灯します。
本アイコンを押すと Menu Status 画面を表示します。
- [2] **機能ステータスインジケータ**
[LOCK]インジケータは、パネルロック機能が On のときに点滅します。
[APFL]インジケータは、APFL が On のときに点滅します。PFL ON は紫色、AFL ON は水色で点滅します。
[OSC]インジケータは、OSC が On のとき点灯します。
[TB] インジケータは、TB(Talk Back)が On のとき点灯します。

- [3] **Power / Sync インジケータ**
 [AC Pwr]インジケータは、AC 電源入力が必要な場合に[OK]を表示します。無入力の場合は[- - -]表示となります。
 [DC Pwr]インジケータは、DC 電源入力が必要な場合に入力電圧バーを表示します。無入力の場合は[- - -]表示となります。
- [4] **DSP**
 Active(稼働状態)の DSP を表示します。(Primary or Secondary)
- [5] **Cascade**
 カスケード機能の Master / Slave 設定状態を表示します。

4-4 Program

Program タイトル、Console Mode を表示します。



- [1] **Console モード表示**
 Console Mode 設定 (Stereo / Surround)を表示します。
- [2] **Program ファイル タイトル表示**
 作業中の Program ファイルのタイトルを表示します。
 サンプリング周波数設定が 96kHz のとき、末尾に「96k」が表示されます。

4-5 Monitor Level



- [1] **Monitor 番号表示**
 Monitor パネルで選択されている Monitor 番号を表示します。
- [2] **Monitor Level 表示**
 設定されている Monitor Level を dB 値で表示します。

4-6 Display Select

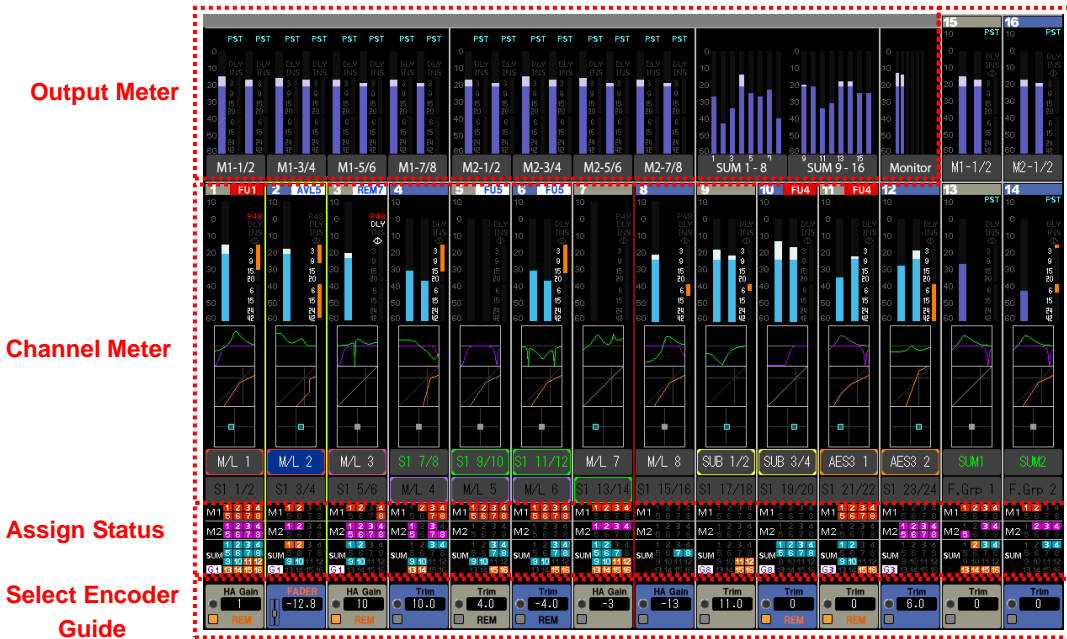


- [1] **Display Select ボタン**
 本ボタンを押すと Touch Panel 画面が切り替わります。
 Meter 画面表示中、Menu 画面へ切り替えます。
 Menu 画面表示中、Meter 画面へ切り替えます。
 Channel Setting 画面表示中、Meter 画面へ切り替えます。

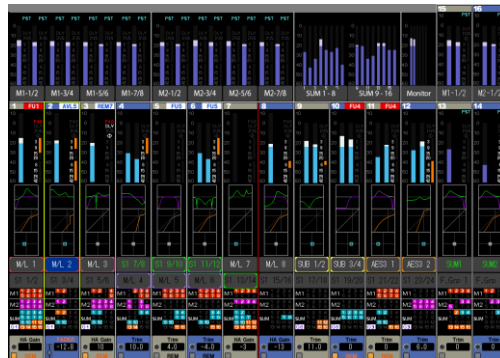
5. Meter 画面

5-1 Overview

Meter 画面は各種パラメータ及びチャンネルの設定を表示します。
Meter 画面は、下図の様に各エリアによって構成されています。

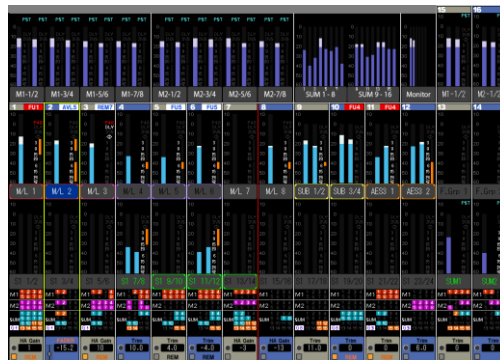


Meter 画面の Channel Meter エリアは下図の様に 2 つの表示モードを選択することができます。
表示モードは Meter メニューで選択します。



Single Meter 表示

選択中の Layer(A もしくは B)のパラメータを上段に、グラフを下段に表示します。

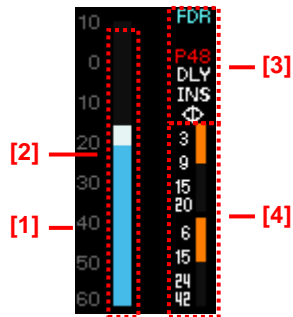


Dual Meter 表示

Layer A を上段、Layer B を下段にパラメータ表示します。

5-2 メータの構成

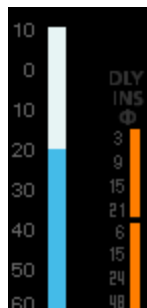
Channel Meter、Output Meter などメータの表示種別ごとにメータの長さが異なりますが、メータを構成する要素はどのメータも共通です。



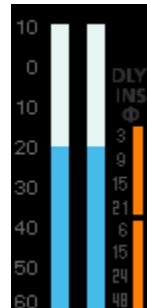
- [1] **メータスケール**
メータの目盛り表示です。
表示するメータの種類によって目盛りが変更されます。
- [2] **レベルメータ**
チャンネルや Bus の音声レベルを表示します。
- [3] **設定インジケータ**
各種設定のインジケータです。
- [4] **ゲインリダクションメータ**
Comp、G/E の On/Off ステータスとゲインリダクション量を表示します。

5-2-1 レベルメータ

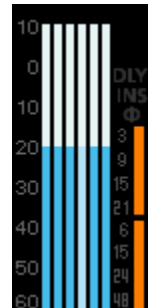
チャンネルや Bus のフォーマットに応じた本数のレベルメータが表示されます。
 Input チャンネルのレベルメータは青、Bus のレベルメータは紫で表示されます。
 Input チャンネルのうち HA チャンネルのレベルメータは、他のレベルメータよりも長いメータになります。



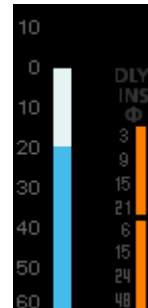
Mono HA
チャンネルメータ



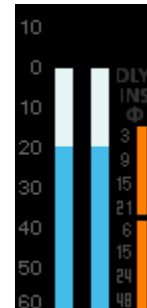
Stereo HA
チャンネルメータ



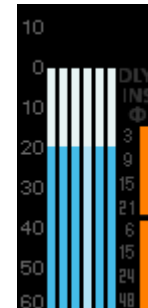
5.1 HA
チャンネルメータ



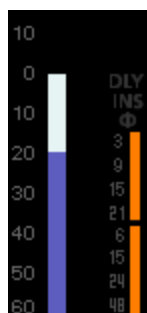
Mono Line
チャンネルメータ



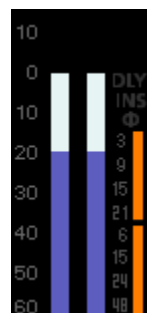
Stereo Line
チャンネルメータ



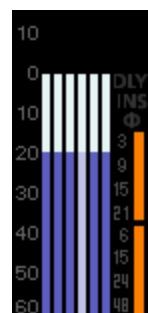
5.1 Line
チャンネルメータ



Mono Bus
メータ

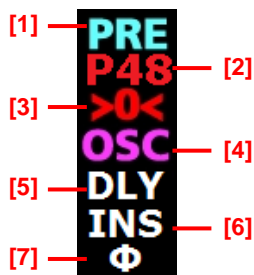


Stereo Bus
メータ



5.1 Bus
メータ

5-2-2 設定インジケータ



[1] Meter ポジションインジケータ

Meter ポジション設定を表示します。
何も表示されていない場合は Input に設定していることを表します。
それ以外の設定の場合は、下記のインジケータが表示されます。

Pre Effect : **PRE**

Pre Cut : **FDR**

Post Effect : **PST**

[2] P48 インジケータ

P48 の On/Off 状態を表示します。
On のとき点灯、Off のとき消灯します。

[3] not 0dB インジケータ

M1, M2, Sum Bus で、Fader レベルが 0dB 以外の設定になったときに点灯します。
Input チャンネルメータには表示されません。

[4] 割込みインジケータ

Bus に音声割込みが発生したときに点灯します。
割込み音声の種類に応じて、下記のインジケータが表示されます。

TB : **TB**

OSC : **OSC**

2 つ以上の割込みが発生した場合は、[TB]、[OSC]の順の優先度で、最も優先度の高いものが表示されます。この表示は、Bus が出力している音声と一致します。

[5] Delay On/Off インジケータ

Delay の On/Off 状態を表示します。
On のとき点灯、Off のとき消灯します。

[6] Insert Return On/Off インジケータ

Insert Return の On/Off 状態を表示します。
On のとき点灯、Off のとき消灯します。

[7] Φ/ΦR On/Off インジケータ

Φ、ΦR の On/Off 状態を表示します。
On のとき点灯、Off のとき消灯します。
Φ、ΦR 機能がないチャンネルや Bus では表示されません。

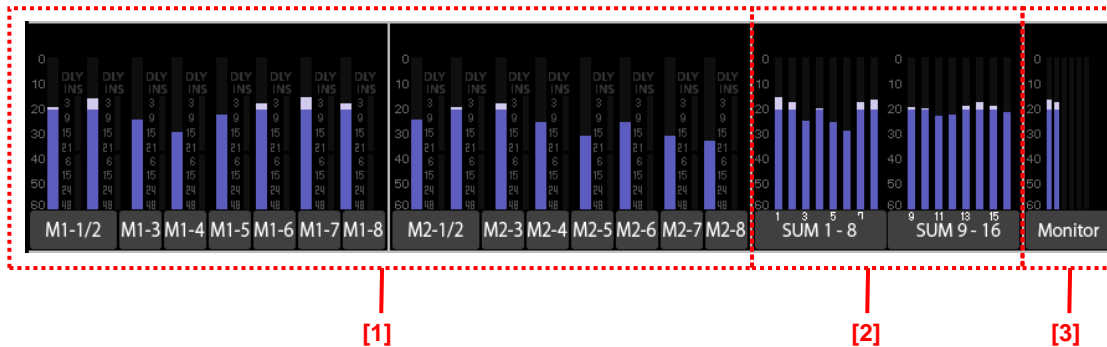
5-2-3 ゲインリダクションメータ

Comp、G/E でのゲインリダクション量を表示するメータです。
Input チャンネル、Bus のゲインリダクションメータはアンバーで表示されます。



5-3 Output Meter

M1/M2/Sum/Monitor のメータを表示します。



[1] Master メータ

Master 1(M1)、Master 2(M2)のメータを表示します。

下段に Bus No.を表示します。

Master 1、Master 2 それぞれの Bus フォーマット設定に応じて、表示する Bus No.が変化します。

[2] Sum メータ

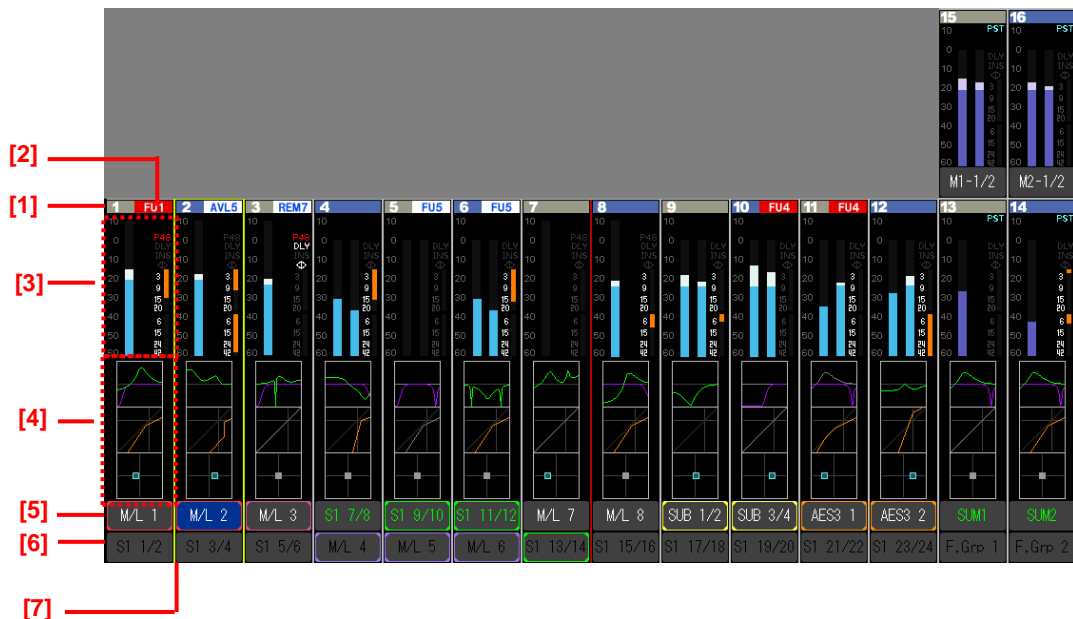
Sum1 - 16 のメータを表示します。

[3] Monitor メータ

Monitor のメータを表示します。

5-4 Channel Meter

Fader ch1～16 にアサインされたチャンネルに関する情報とメータを表示します。



[1] チャンネル番号ラベル

チャンネル番号と Visual Group 設定を表示します。
Visual Group が設定されると、その設定色のラベルになります。

[2] Link Func

Link Func により FU,AVL,REM を設定した場合に番号とともに表示されます。FU,AVL On/Off 状態は以下の通り表示します。



FU Off 表示

FU On 表示

AVL Off 表示

AVL On 表示

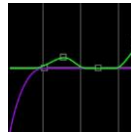
[3] チャンネルメータ

チャンネルのメータや設定アイコンを表示します。選択中 Bank/Layer の情報を表示します。

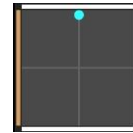
※本エリアは Dual Meter 設定の場合に Layer A のチャンネルメータが固定表示されます。

[4] パラメータ設定グラフ

EQ グラフ、Dynamics グラフ、Main Pan グラフを表示します。
グラフタッチすることで Select Encoder Guide が表示され、Meter 画面より各パラメータ変更が可能です。



EQ グラフ

Dynamics
グラフMain Pan
グラフ

※本エリアは Dual Meter 設定の場合に Layer B のチャンネルメータが表示されます。

[5] Fader Name 表示

Fader Name を表示します。
Fader Name が設定されていない場合は System Name が表示されます。
表示しているチャンネルが Layer A にある場合は文字色が白、Layer B にある場合は文字色が緑で表示されます。
また、Fader Name の枠が Visual Group で設定した色で表示されます。

[6] Behind Layer Fader Name 表示

Behind Layer にあるチャンネルの Fader Name を表示します。
Fader Name が設定されていない場合 System Name が表示されます。

※Ch15、Ch16(画面右上部)に本表示はありません。

[7] チャンネルハイライト表示

フェーダーレベル操作中、対応するチャンネルはハイライト表示されます。

5-5 Assign Status



Fader ch1～16 にアサインされたチャンネル Bus アサイン設定を表示します。




M1 / M2 / Sum へのアサイン設定を表示します。

アサイン On の Bus 番号が点灯します。SUM では Pre、Post 設定によって点灯色が変わります。

M1 / M2 / Sum タッチで Select Encoder Guide が表示され、各アサイン設定変更が可能です。

SUM(Pre) 
SUM(Post) 

また、Sum のアサイン設定の隣に、Fader Group 番号を表示します。

Fader Group No 

5-6 Select Encoder Guide

Touch Panel 下に配置された Encoder とボタンの機能、及び設定パラメータ値を表示します。

ボタン機能のある Encoder はタッチ操作可能です。

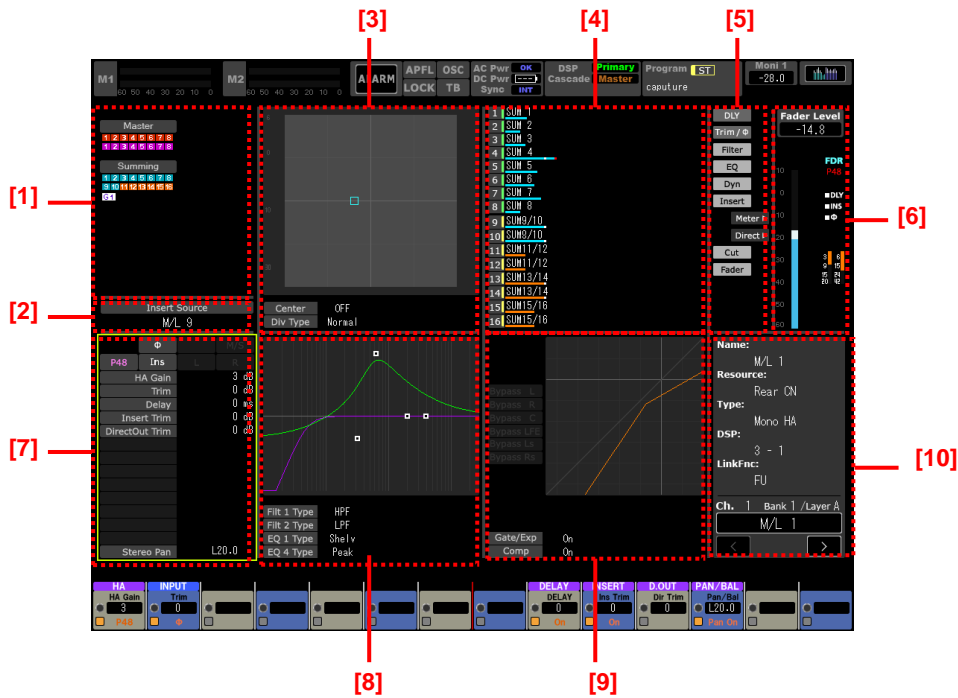


機能配置の詳細は「Appendix Select Encoder 機能配置一覧」を参照ください。

6. Channel Setting 画面

6-1 Overview

Channel Select ボタンで選択されたチャンネルの情報やパラメータ設定が表示されます。操作が可能な項目は、その表示エリアをタッチすると Select Encoder に操作機能が呼び出されたり設定ウィンドウが表示されたりして操作を行うことができます。またそのエリアを長押しすると、そのエリアが選択された状態が Channel Setting 画面の Top 画面に設定されます。同じパラメータを異なるチャンネルで連続して操作したい場合に便利です。Top 画面に指定されたエリアは、そのエリアの左上に Top 画面指定アイコン(📌)が表示されます。



[1] Bus アサインエリア

Bus アサイン設定の状態が表示されます。
このエリアをタッチすると Bus アサイン設定ウィンドウが表示されます。

[2] Insert Source エリア

チャンネルに設定されている Insert Return Source が表示されます。
このエリアをタッチすると Insert Return マトリクス設定ウィンドウが表示されます。

[3] Main Pan エリア

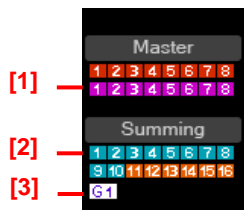
Main Pan 設定の状態が表示されます。
Main Pan が Surround Pan のとき、このエリアをタッチすると Surround 機能が Select Encoder に呼び出されます。

[4] SUM エリア

SUM 設定の状態が表示されます。
このエリアをタッチすると、SUM 機能が Select Encoder に呼び出されます。

- [5] Audio Path エリア**
Audio Path 設定の状態が表示されます。
このエリアをタッチすると、Audio Path 設定ウィンドウが表示されます。
- [6] チャンネルメータエリア**
チャンネルメータが表示されます。
表示項目は、Meter 画面に表示されるものと同じです。
- [7] Input エリア**
Input パラメータの設定状態が表示されます。
このエリアをタッチすると、Input 機能が Select Encoder に呼び出されます。
- [8] EQ / Filter エリア**
EQ と Filter の設定状態が表示されます。
このエリアをタッチすると、EQ と Filter 機能が Select Encoder に呼び出されます。
- [9] Dynamics エリア**
Dynamics の設定状態が表示されます。
このエリアをタッチすると、Dynamics 機能が Select Encoder に呼び出されます。
- [10] チャンネル情報エリア**
チャンネル情報が表示されます。
Fader Name 表示をタッチすると、Fader Name 入力ウィンドウが表示されます。

6-2 Bus アサインエリア



[1] Master アサイン表示

M1、M2 へのアサイン設定の状態を表示します。

2 行の 1 から 8 までのインジケータは、上から順に M1、M2 に対応します。

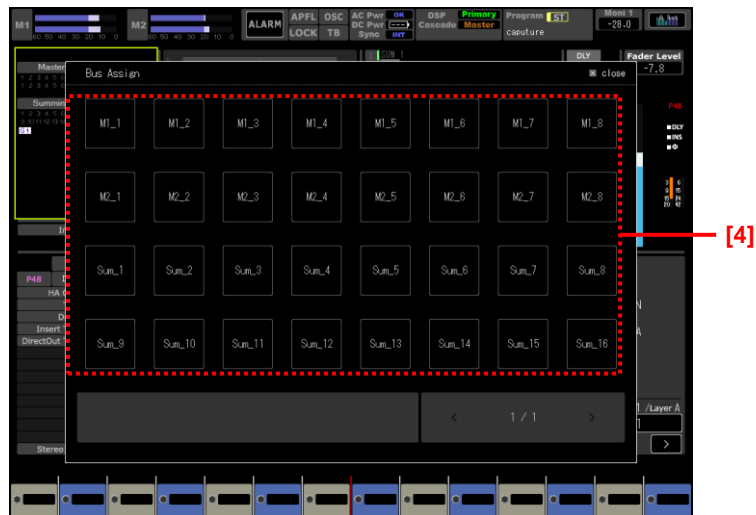
[2] Sum アサイン表示

Sum へのアサイン設定の状態を表示します。

[3] Fader Group 番号表示

割り当てられている Fader Group 番号を表示します。

Bus アサインエリアをタッチすると、Bus アサイン設定ウィンドウが表示されます。



[4] アサイン On/Off ボタン

ボタンに記載されている Bus へのアサインを On/Off します。On のとき点灯します。

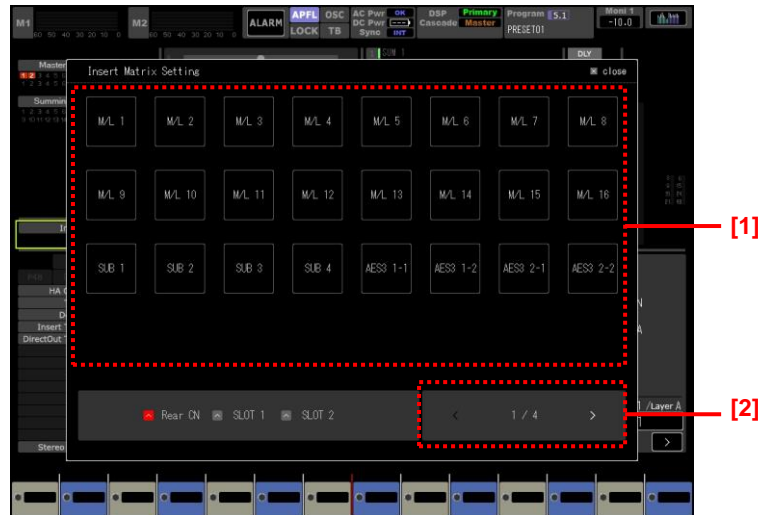
1 つのボタンを押した状態のまま、もう 1 つのボタンを押すと、それら 2 つのボタンと、その間の全てのボタンの On/Off 状態が、最初に押したボタンの状態と同じになります。

6-3 Insert Source エリア

チャンネルに設定されている Insert Return Source が表示されます。



Insert Source をタッチすると、Insert マトリクス設定ウィンドウが表示されます。



[1] Insert Return Source 選択ボタン

Insert Return Source を選択します。

ボタンを選択するとウィンドウが閉じ、選択したボタンに対応した Insert Return Source がチャンネルに設定されます。

チャンネルフォーマットが Stereo や Surround のチャンネルの場合、選択したボタンを先頭に、サブチャンネルの数だけ連続した Insert Return Source が自動的にチャンネルに設定されます。



チャンネルの Insert ポイントへ入力する音声素材 (Insert Return Source) が設定されます。チャンネルの Insert ポイントから出力される音声の送出先 (Insert Send Destination) の設定は Menu 画面の Output Mtx メニューで行います。

[2] ページ送りボタンとページ表示

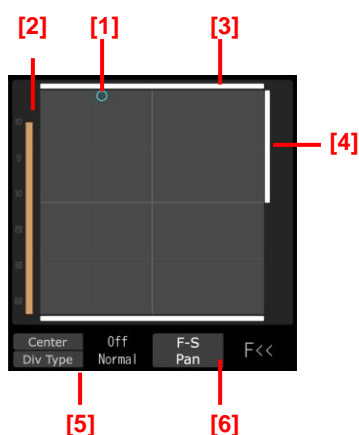
ページ情報が表示されます。「表示中のページ番号/総ページ数」の書式で表示されます。

またこのとき、ページ送りボタンが表示されます。左側のボタンを押すと前のページ、右側のボタンを押すと次のページが表示されます。



6-4 Main Pan エリア

Main Pan が Surround Pan のとき、Main Pan エリアをタッチすると Select Encoder に Surround 機能が呼び出されます。



[1] Pan ポインタ

Pan 設定を表示します。

Pan ポインタは、Console Mode が Surround のときは丸 (●)、Stereo のときは四角 (■) になります。

[2] LFE Send Level バーグラフ

LFE Send Level の設定を表示します。

[3] Front Divergence / Front Width バーグラフ

Mono チャンネル、Surround チャンネルのときは Front Divergence、Stereo チャンネルのときは Front Width の設定を表示します。

Front Divergence 表示のとき、設定値が最小のときバーは非表示となり、最大値のときバー幅が最大になります。

Front Width 表示のとき、設定値が最小のときバーの色がグレーで最大幅となり、中央のときバーが非表示となります。中央値より大きな設定値になると、バーの色が黄色で幅が大きくなり、最大設定で幅が最大となります。

[4] F-S Divergence バーグラフ

F-S Divergence の設定を表示します。

Front 音声 が Surround 側に加算されている場合、エリア上端から下に向かってバーが伸び、最大でエリア中央までの長さになります。

Surround 音声 が Front 側に加算されている場合は、エリア下端から上に向かってバーが伸び、最大でエリア中央までの長さになります。

[5] Center On/Off 表示、Divergence Type 表示

Center On/Off 設定、Divergence Type 設定を表示します。

該当するパラメータがないチャンネルの場合は非表示になります。

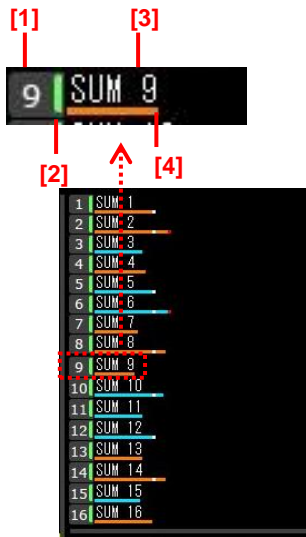
[6] 操作パラメータ表示

Select Encoder で操作が検出されたパラメータの名称と設定値が表示されます。

複数のエンコーダで操作が検出された場合は最後に検出したものが表示されます。

6-5 SUM エリア

SUM エリアをタッチすると Select Encoder に SUM 機能が呼び出されます。



[1] SUM ナンバーラベル

SUM ナンバーを表示します。Send Off のときはナンバー表示がグレーになります。

16 : Send On / **16** : Send Off

[2] フォーマットインジケータ

SUM の Bus フォーマットを表示します。

16 : Mono / **16** : Stereo / **16** : Surround

[3] Bus Name 表示

Bus Name を半角 10 文字 / 全角 5 文字まで表示します。Stereo、5.1 の SUM の場合は、その先頭 Bus のみに Bus Name が表示され、それ以外は非表示になります。

[4] Send Level バーグラフ

Send Level の設定、及び Pre / Post 設定を表示します。また、Send Off のとき、バーグラフがグレーになります。

Send Level が 0dB のとき、バーの先端が白く点灯します。Send Level が最大値のとき、バーの先端が赤く点灯します。

1 | SUM 1 : Send Off

1 | SUM 1 : Send On (Post)

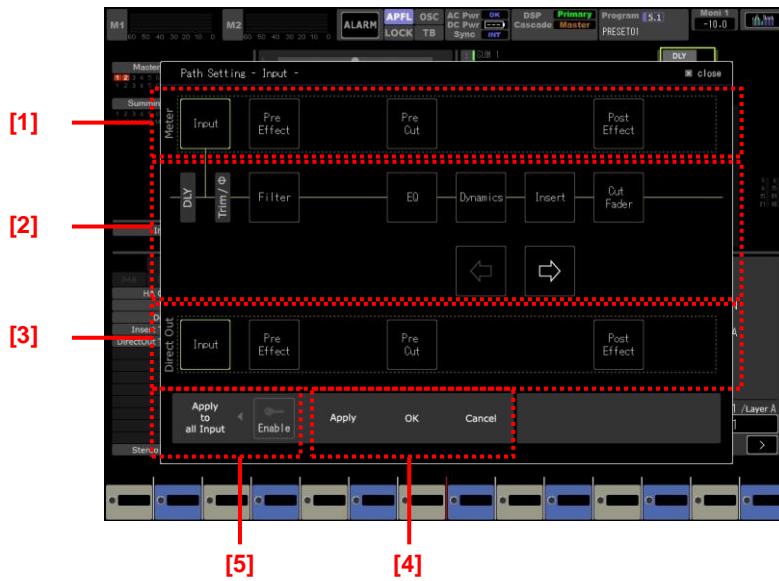
1 | SUM 1 : Send On (Pre)

6-6 Audio Path エリア



適用中の Audio Path の設定がプレビュー表示されます。

Audio Path エリアをタッチすると、Audio Path 設定ウィンドウが表示されます。



[1] Meter ポジション選択ボタン

メータ用のレベルデータ取得ポイントを選択します。

[Input]、[Pre Effect]、[Pre Cut]、[Post Effect]から択一選択になります。

[PreCut]を選択した場合、Effect の[Cut Fader]の直前からレベルデータを取得するため、Effect オーダー設定により取得ポイントが変化します。

[2] Effect オーダー設定ボタン

Effect の並びを変更します。選択出来る並びは数パターンあります。カーソルボタンを押す度に Effect の並びが替わります。

[3] Direct Out ポジション選択ボタン

Direct Out 音声の取得ポイントを選択します。

[Input]、[Pre Effect]、[Pre Cut]、[Post Effect]から択一選択になります。

[4] Apply ボタン / OK ボタン / Cancel ボタン

設定変更の適用、破棄を選択します。

Apply を選択すると、ウィンドウを開いたまま変更内容を適用します。

OK ボタンを選択すると、変更内容を適用してウィンドウを閉じます。

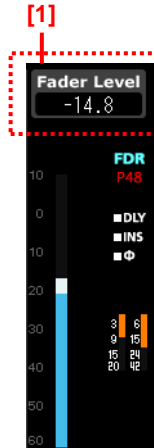
Cancel を選択すると、変更内容を破棄してウィンドウを閉じます。

[5] Apply to all ボタン / Enable ボタン

Enable ボタンを押しながら、Apply to all ボタンを押すと、操作対象と同じ種類の全てのチャンネルに、変更内容が適用されます。

6-7 チャンネルメータエリア

Meter 画面と同じチャンネルメータが表示されます。Channel Setting 画面ではチャンネルメータに加え、フェーダーレベルが表示されます。



[1] フェーダーレベル表示

Channel Setting 画面ではチャンネルメータに加え、フェーダーレベルを表示します。

6-8 Input エリア

Input エリアをタッチすると Select Encoder に Input 機能が呼び出されます。



[1] Φ / P48 / Ins / MS / L mono / R mono On/Off インジケータ

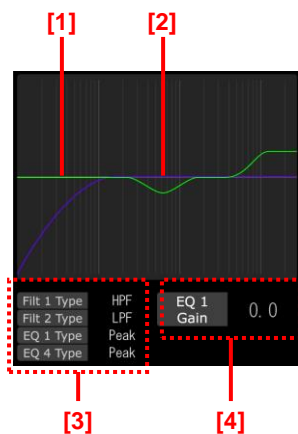
各々 On/Off 設定を表示します。
Off のときはグレーアウトします。表示チャンネルに機能が無いものは無効表示になります。

[2] エンコーダ機能表示

Select Encoder に割当てられた機能のうち、エンコーダで操作するものの名称と設定値が表示されます。

6-9 EQ /FIL エリア

EQ/FIL エリアをタッチすると Select Encoder に EQ/FIL 機能が呼び出されます。



[1] EQ グラフ

EQ1 から 4 の設定を合成したグラフを表示します。
EQ Off のときグラフはグレーになり、On のとき緑で点灯します。

[2] Filter グラフ

Filter 1 と 2 の設定を合成したグラフを表示します。
グラフの形状は Filter 1、Filter2 の On になっているもの設定から作成されます。どちらも Off の場合はグラフがグレーになります。

[3] Filter1 / Filter2 / EQ1 / EQ4 Type 表示

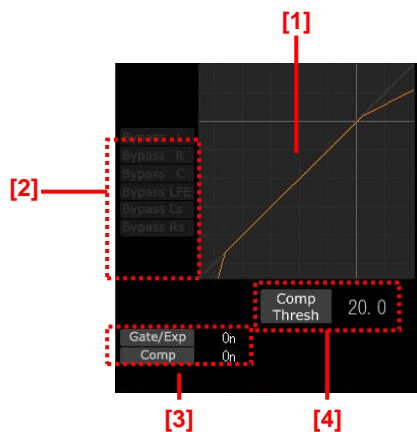
Filter1、Filter2、EQ1、EQ4 それぞれの Type を表示します。

[4] 操作パラメータ表示

Select Encoder で操作が検出されたパラメータの名称と設定値が表示されます。
複数のエンコーダで操作が検出された場合は最後に検出したものが表示されます。

6-10 Dynamics エリア

Dynamics エリアをタッチすると Select Encoder に Dynamics 機能が呼び出されます。



[1] Dynamics グラフ

Comp と Gate/Expander の設定を合成したグラフを表示します。
 グラフの形状は、Comp と Gate/Expander の On になっているもの
 の設定から作成されます。Dynamics Off のときグラフはグレーになり、
 On になるとアンバーで点灯します。

[2] Dynamics Bypass インジケータ

Dynamics の Bypass 設定を表示します。
 Bypass 設定されているサブチャンネルがある場合、対応するインジケ
 ータが点灯します。

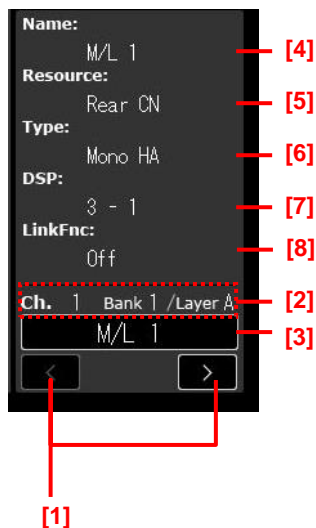
[3] Gate/Expander / Comp On/Off 表示

Gate/Expander と Comp の On/Off 設定を表示します。

[4] Dynamics 操作パラメータ表示

Select Encoder で操作が検出されたパラメータの名称と設定値が表
 示されます。
 複数のエンコーダで操作が検出された場合は最後に検出したものが表
 示されます。

6-11 Channel 情報エリア



- [1] **チャンネル送りボタン**
Channel Setting 画面に表示するチャンネルを、表示中のチャンネルの 1 つ前、もしくは次のチャンネルにします。
左側のボタンを押すと 1 つ前、右側のボタンを押すと次のチャンネルが表示されます。
- [2] **チャンネル番号 / Bank 番号 / Layer 表示**
表示中のチャンネルのチャンネル番号、バンク番号、Layer を表示します。
- [3] **Fader Name 表示、設定ボタン**
Fader Name を表示します。ボタンを押すと Fader Name 入力キーボードウィンドウが表示されます。
- [4] **System Name 表示**
割当てられている Source の System Name を表示します。
- [5] **Resource 種別表示**
割当てられている Source の種別を表示します。
Bus の場合は「BUS」、Fader Group Master の場合は「FUNCTION」、「OSC」の場合は「INTERNAL」が表示されます。
- [6] **チャンネルタイプ表示**
チャンネルフォーマットと HA/Line の区別を表示します。
HA チャンネルの場合はその後に「HA」が表示されます。
- [7] **DSP Resource 表示**
使用している DSP Resource の情報を表示します。
- [8] **Link Function 表示**
割当てられている Source の Link Function を表示します。

7. Menu 画面

7-1 Overview

Menu 画面はミキサー全体に渡る設定 Menu を操作する画面です。

Menu 画面は、Overview、Monitor、Group、Meter、OSC/TB、Preset Prg、Status、System、OutMtx、Config、Setup などの各種メニューで構成されています。Menu 選択ボタンで各々のメニューを呼び出します。

Menu 画面は、下図の様に各エリアによって構成されています。

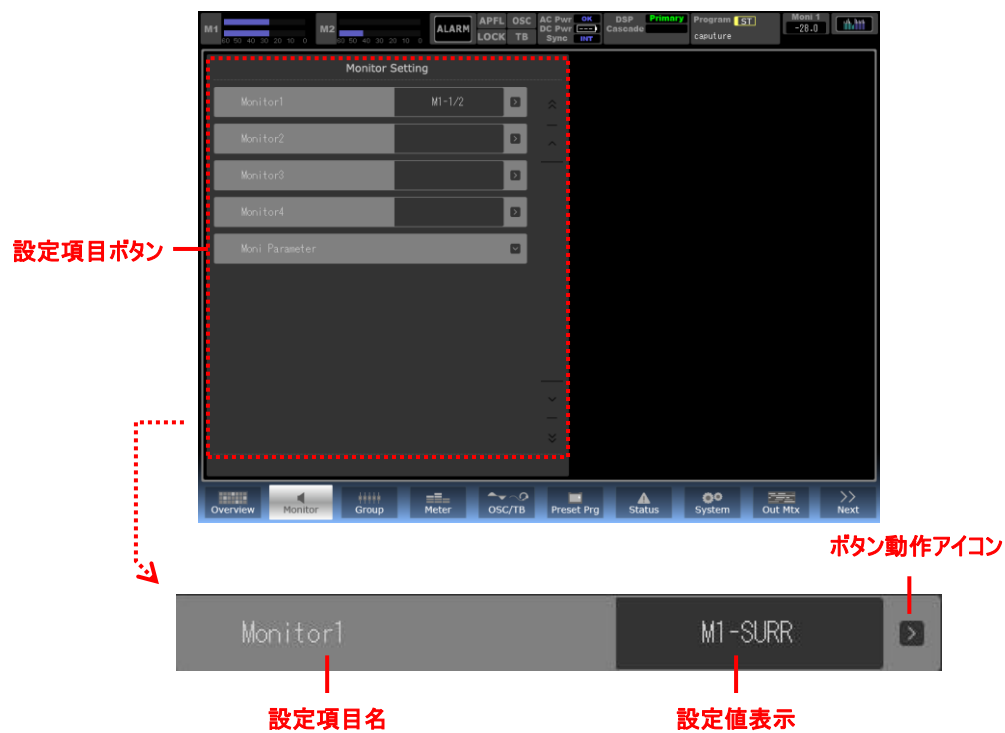


Menu エリア




Menu 選択ボタン

Menu 画面
(Overview 画面)

メニュー種類によっては画面左に設定項目ボタンが表示されます。



設定項目ボタンを押したときの挙動はボタン動作アイコンで示されます。

-  : 画面右に選択肢を表示します。
-  : 設定ウィンドウを表示します。
-  : Select Encoder に設定機能呼び出します。

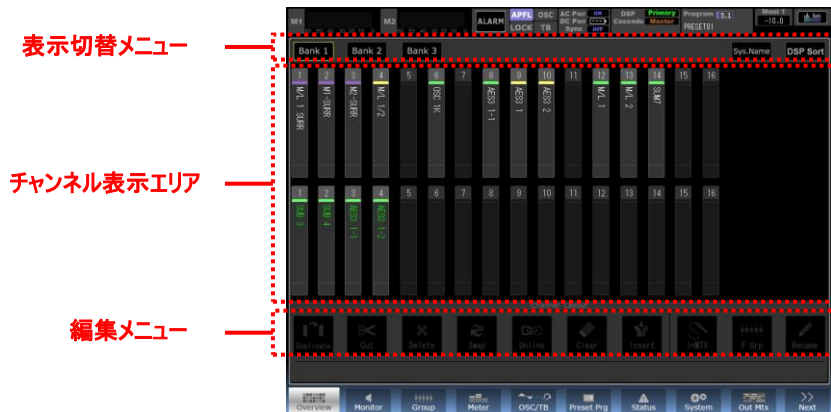
ボタン動作アイコンなし : 押した時点で機能を実行します。

7-2 Overview メニュー

Overview メニューでは、Channel Layout や Fader Group、Fader Name などの設定状態を全ch分表示し、それらの設定変更を行うことができます。

7-2-1 通常画面

1 画面に LayerA/B 全 ch の情報を同時に表示します。



[1] 表示 Bank 切り替えボタン

チャンネル表示エリアに表示する Bank を切り替えます。

[2] System Name 表示切替

各チャンネルに System Name を表示します。

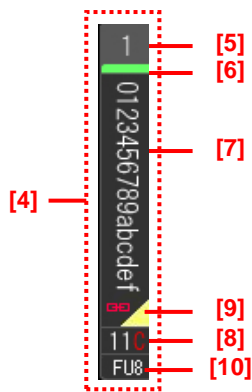
[3] DSP Sort ボタン

チャンネルへの DSP 割り当てを最適化します。

チャンネルを作成するとき、システムはその時点で最適な DSP 使用状態となるように自動的に DSP リソースを検索し、チャンネルに割り当てます。しかし、チャンネルの作成、削除を繰り返すと、DSP リソースの断片化が生じ、ごく稀に DSP リソースが残っているにもかかわらず、5.1Input チャンネルなどのマルチフォーマットチャンネルが作成できなくなる場合があります。その場合、DSP sort 機能で断片化を解消するとマルチフォーマットチャンネルの作成が可能になります。



音声処理が一時的に中断される為、出力音声に影響がでることがあります。実行の際は十分ご注意ください。



[4] チャンネル選択ボタン

編集メニューの操作対象となるチャンネルを選択します。
ボタンを押すとハイライト表示され、操作可能な編集メニューボタンが有効になります。


[5] チャンネル番号表示


チャンネル番号を表示します。


[6] フォーマットインジケータ

チャンネルフォーマットを表示します。

 : Mono

 : Stereo

 : Surround

 : フォーマット情報なし


[7] Fader Name / System Name 表示

System Name 表示切替ボタンが Off のとき、Fader Name を表示します。System Name 表示切替ボタンが On のとき、System Name を表示します。

Layer A のチャンネルは文字色が白、Layer B のチャンネルは文字色が緑色で表示されます。

[8] Fader Group 設定表示

Fader Group が設定されているとき、Group 番号が表示されます。また、その Fader Group が Cut Group に設定されていた場合は、その番号の後に「C」が表示されます。

 : Fader Group 番号表示

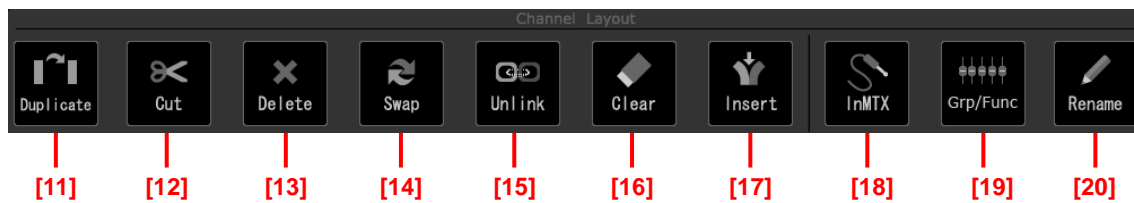
 : Cut Group 設定時

[9] Visual Group 設定表示

Visual Group で設定した色を表示します。

[10] Link Func 設定表示

Link Func 設定を表示します。(INPUT ch のみ)



[11] Duplicate ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルを複製し、Link チャンネルを作成します。

ボタンを押すと、[Paste]ボタンと[Insert]が選択可能な状態になります。[Paste]を選択すると、選択中チャンネルに Link チャンネルを上書きします。[Insert]を選択すると、選択中チャンネルに Link チャンネルが挿入されます。選択中チャンネルより右のチャンネルは、自動的に右に移動します。

Link チャンネル同士は、同一 DSP リソースを使用しているチャンネルで、1つのチャンネルのパラメータを操作すると、全ての Link チャンネルはその操作に連動します。

[12] Cut ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルを Cut します。

ボタンを押すと、[Paste]ボタンと[Insert]が選択可能な状態になります。

[Paste]を選択すると、選択中チャンネルに Cut したチャンネルを上書きします。[Insert]を選択すると、選択中チャンネルに Cut したチャンネルが挿入されます。選択中チャンネルより右のチャンネルは、自動的に右に移動します。

[13] Delete ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルを削除し、それより右の全てのチャンネルを、削除されたチャンネル分左に移動します。

[14] Swap ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルの位置と、他のチャンネルの位置と入れ替えます。

ボタンを押すと Swap 先選択状態となり、Swap 先を指定すると、最初に選択したチャンネルと、次に選択したチャンネルの位置が入れ替わります。

[15] Unlink ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルが Link チャンネルのとき、Link 状態を解除し、新たに DSP リソースを割り当てます。

新たに割り当てられた DSP リソースは、Unlink 操作を行った時点のパラメータ設定を引き継ぎます。

[16] Clear ボタン / Paste ボタン

Duplicate ボタン、もしくは Cut ボタンが選択されているとき Paste ボタンが表示されます。それ以外の場合は、Clear ボタンが表示されます。Clear ボタンのとき、チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルをクリアします。クリアされたチャンネルストリップはブランクストリップになります。

Paste ボタンのとき、チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルに、Link チャンネル、もしくは Cut したチャンネルを上書きします。

[17] Insert ボタン

Duplicate ボタン、もしくは Cut ボタンが選択されているとき、Link チャンネル、もしくは Cut したチャンネルを挿入します。
それ以外の場合、Blank チャンネルを挿入します。

[18] Input マトリクスボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルに Input Source や Bus チャンネル、Fader Group マスターチャンネルを割り当てます。
ボタンを押すと Input マトリクス設定ウィンドウが表示されます。

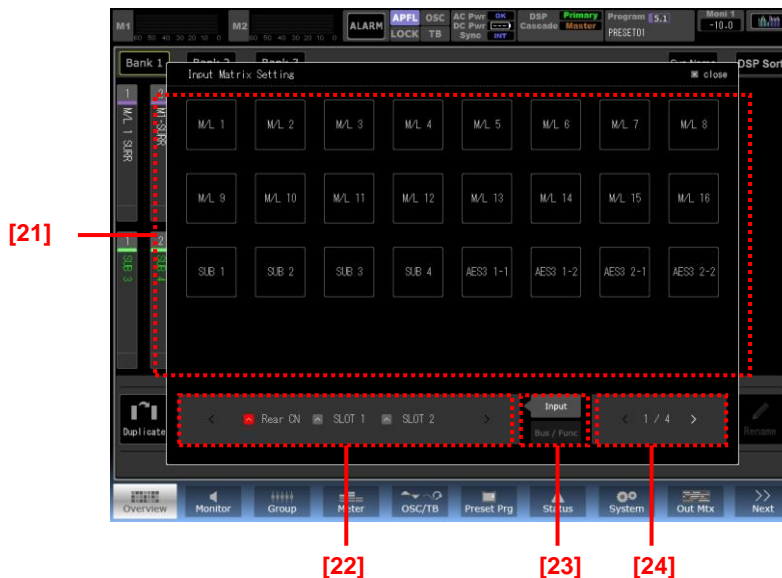
[19] Fader Group / Link Function Select ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルの Fader Group、Visual Group、Link Function Select 設定を行います。
ボタンを押すと Fader Group / Link Function Select 設定ウィンドウが表示されます。

[20] Rename ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルの Fader Name を設定します。ボタンを押すと Fader Name 入力ウィンドウが表示されます。

7-2-2 Input マトリクス設定ウィンドウ



[21] Source 選択ボタン

チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルに割り当てる Source を選択します。
1 つのボタンを押した状態のまま、もう 1 つのボタンを押すと、それら 2 つのボタンと、その間のボタンに対応する Source を、チャンネル選択ボタ

ンで選択したチャンネルから順に複数の連続したチャンネルに設定します。

[22] カテゴリ選択ボタン

表示する Source のカテゴリを切り替えます。

[23] Source 種別切り替えボタン

ウィンドウに表示する Source を切り替えます。

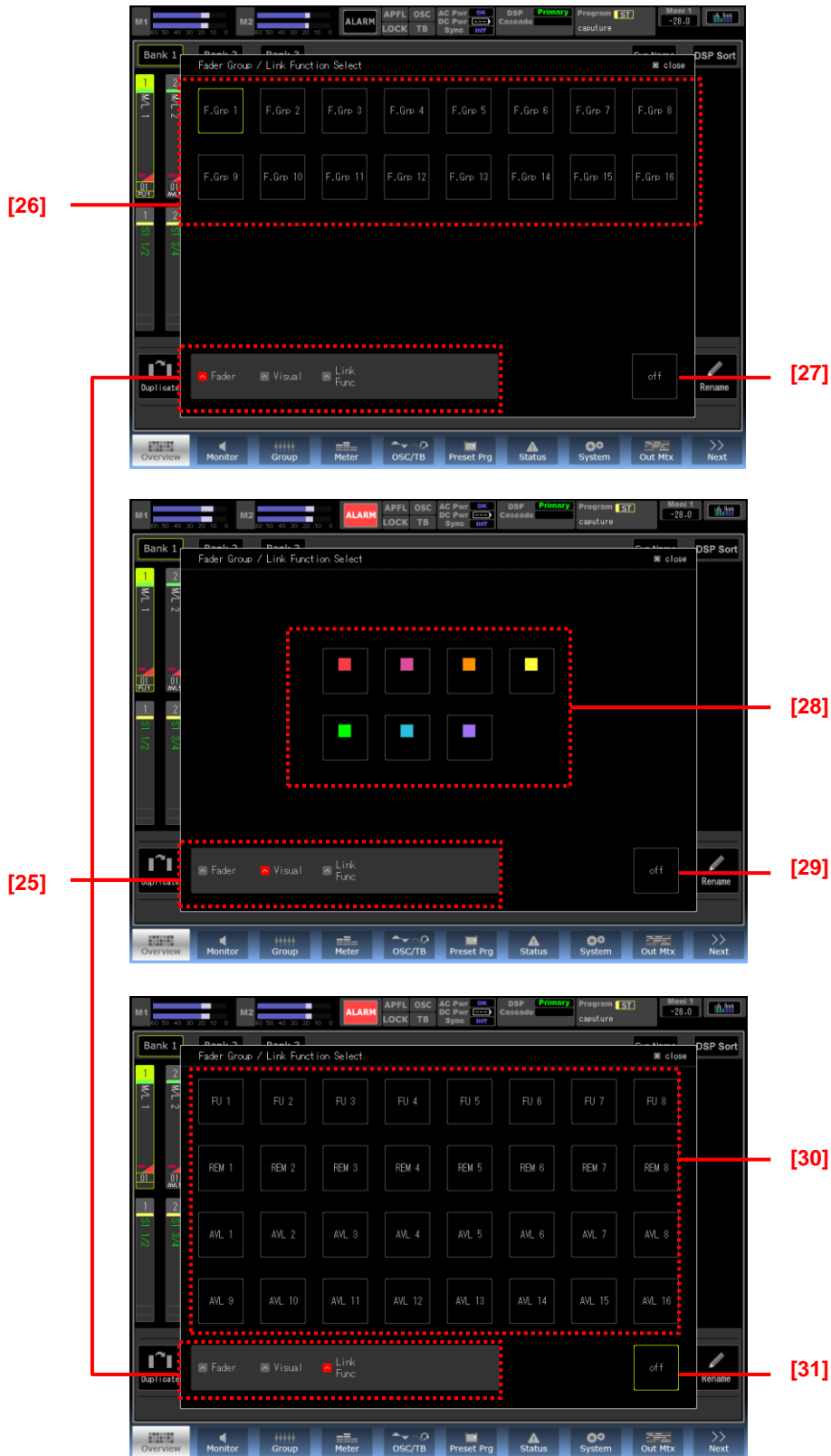
ボタンを押すたびに、Input Source と Bus/Function(Fader Group Master)で切り替ります。

[24] ページ送りボタンとページ表示

ページ情報が表示されます。「表示中のページ番号/総ページ数」の書式で表示されます。

またこのとき、ページ送りボタンが表示されます。左側のボタンを押すと前のページ、右側のボタンを押すと次のページが表示されます。

7-2-3 Fader Group / Link Function Select 設定ウィンドウ



- [25] **Fader / Visual / Link Func 切り替えボタン**
Fader Group 設定と Visual Group 設定と Link Func 設定を切り替えます。
- [26] **Fader Group 選択ボタン**
チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルに設定する Fader Group 番号を選択します。
複数のチャンネル選択ボタンを選択している場合は、その全てに選択した Fader Group 番号が設定されます。
- [27] **Fader Group 設定解除ボタン**
チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルの Fader Group 設定を解除します。
複数のチャンネル選択ボタンを選択している場合は、その全ての設定が解除されます。
- [28] **Visual Group 選択ボタン**
チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルに設定する Visual Group カラーを選択します。
複数のチャンネル選択ボタンを選択している場合は、その全てに選択した Visual Group カラーが設定されます。
- [29] **Visual Group 設定解除ボタン**
チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルの Visual Group 設定を解除します。
複数のチャンネル選択ボタンを選択している場合は、その全ての設定が解除されます。
- [30] **Link Func 選択ボタン**
チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルに設定する Link Func を選択します。
複数のチャンネル選択ボタンを選択している場合は、その全てに選択した Link Func が設定されます。
- [31] **Link Func 設定解除ボタン**
チャンネル選択ボタンで選択されたチャンネルの Link Func 設定を解除します。
複数のチャンネル選択ボタンを選択している場合は、そのすべての設定が解除されます。

7-3 Monitor メニュー

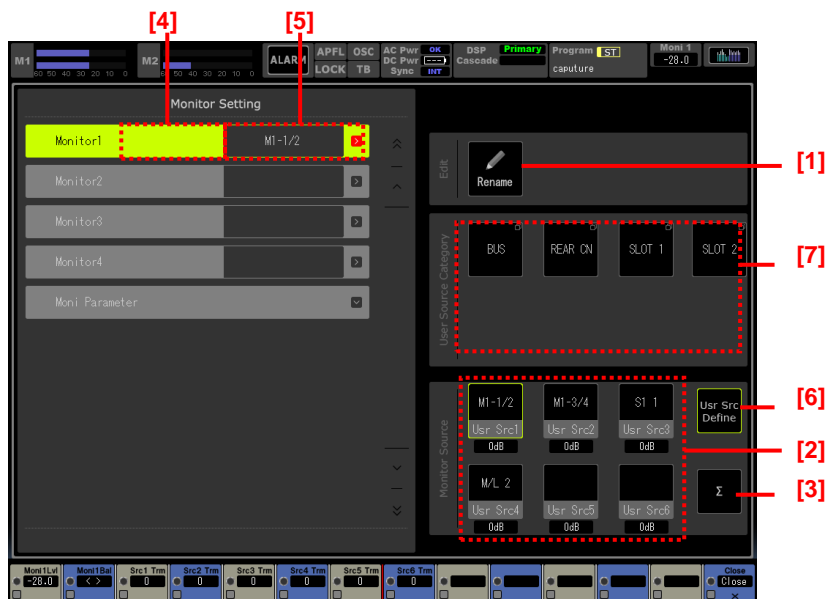
7-3-1 メニューTop

Monitor に関する各種設定を行います。



7-3-2 Monitor 1/2/3/4

Monitor 1、2、3、4 の設定を行います。



- [1] **Monitor Name 設定ボタン**
Monitor の Monitor Name を設定します。
ボタンを押すと Monitor Name 入力ウィンドウが表示されます。
- [2] **Monitor Source 選択ボタン**
Monitor の Source を選択します。
Monitor Mix(Σ)ボタンを選択していない場合は択一選択ボタンになります。
- [3] **Monitor Mix(Σ)ボタン**
Monitor Mix 機能を有効にします。
このボタンが選択状態のとき、MonoもしくはStereoフォーマットで最大6個、5.1surroundフォーマットで最大2個のMonitor Source切り替えボタンを同時に選択することができます。
選択されたMonitor Sourceの音声は全てMixされて出力されます。
- [4] **Monitor Name 表示**
Monitor 1、2、3、4 の Monitor Name を表示します。

- [5] **Monitor Source 表示**
Monitor 1、2、3、4 に選択されている Source を表示します。
- [6] **User Source Define ボタン**
User ボタンに Monitor Source を割当てるときに選択します。
ボタンを押して、Monitor Source 選択ボタンを押すと User Source カテゴリ選択ボタンが表示されます。
- [7] **User Source カテゴリ選択ボタン**
User ボタンに割当てるとき Monitor Source のカテゴリを選択します。
ボタンを押すと、Monitor Source 選択ウィンドウが表示されます。

7-3-3 Monitor Parameter

このメニュー選択中、Select Encoder により Dimmer Level など各種 Monitor Parameter を調整します。

Monitor Parameter の詳細は Appendix Select Encoder を参照下さい。

7-4 Group メニュー

7-4-1 メニューTop

Fader Group に関する各種設定を行います。



7-4-2 Fader Group Type

Fader Group の動作 Type を選択します。

Moving Type を選択すると、Slave Fader は Master Fader との相対的位置関係を保持した状態で、Master Fader の動きに連動して動きます。Slave Fader の Fader Level が実際の Fader 位置となるため、直感的に Fader Level を把握することができますが、Master Fader を絞りきった状態では Slave Fader も絞りきりとなり Slave Fader 同士のバランスをコントロールできなくなります。

VCA Type を選択すると、Slave Fader は Master Fader の動作に連動して動かず一定の位置で静止し、Slave Fader の位置は Master Fader との Offset 値となります。Slave Fader の実際の Fader Level を把握することが困難になりますが、Master Fader を絞りきった状態でも Slave Fader の位置は変わらないため、Slave Fader 同士のバランスをコントロールすることができます。

7-4-3 Group1 - 16

各 Fader Group に関する設定を行います。



[1]

[1] Cut Group ボタン

Fader Group の動作を Cut Group に切り替えます。
Cut Group に設定された Fader Group では、Cut の On/Off 操作のみが連動します。このとき、どの Slave チャンネルの Cut ボタンを操作しても、全ての Slave チャンネルが連動します。

7-5 Meter メニュー

7-5-1 メニューTop

Meter に関する各種設定を行います。



7-5-2 Peak Hold Time

メータの Peak Hold Time を選択します。
この設定は、ミキサーに表示される全てのレベルメータに適用されます。

7-5-3 Hold Reset

メータの Peak Hold 表示を更新します。
ボタンを押すたびに機能が実行されます。

7-5-4 Release Time

メータの Release Time を選択します。
この設定は、このミキサーに表示される全てのレベルメータに適用されます。

7-5-5 Dual Ch Meter

Channel Meter の Single 表示(単一 Layer 表示)、Dual 表示(A/B Layer 同時表示)の切り替えを行います。
設定が On のとき、Dual 表示になります。
ボタンを押すたびに On/Off が切り替わります。

7-5-6 Caution Bar Color

メータの警告エリア表示色(WHITE / AMBER)を選択します。
この設定は、ミキサーに表示される全てのレベルメータに適用されます。

7-6 OSC/TB メニュー

7-6-1 メニューTop

OSC 及び TB(Talk Back)の各種設定を行います。



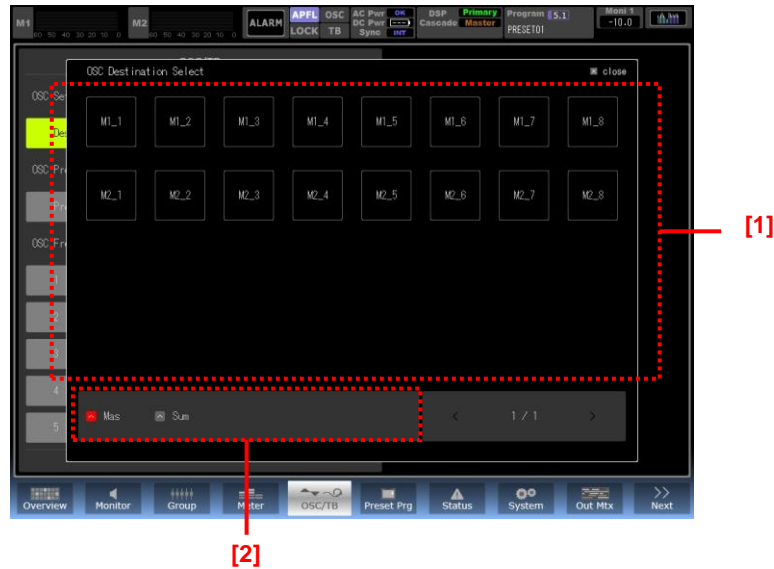
7-6-2 OSC/TB Parameter

このメニュー選択中、Select EncoderによりOSC Levelなど各種OSC/TB Parameterを調整します。OSC/TB Parameterの詳細はAppendix Select Encoderを参照下さい。

7-6-3 OSC Dest Select

OSC 送出設定を行います。

このメニューを選択すると OSC Destination 選択ウィンドウが表示されます。



[1] 送出先 Bus 選択ボタン

OSC の送出先を選択します。

ボタンを押すと、そのボタンに対応する Bus に OSC 音声送出されます。もう一度ボタンを押すと送出が解除されます。

1 つのボタンを押した状態のまま、もう 1 つのボタンを押すと、それら 2 つのボタンと、その間の全てのボタンの On/Off 状態が、最初に押したボタンの状態と同じになります。

[2] 表示 Bus 切り替えボタン

表示する送出先 Bus 選択ボタンを切り替えます。

7-6-4 OSC Preset

OSC パネルの On ボタンを使用したときの OSC 出力先設定を行います。

このメニューを選択すると OSC Preset 設定ウィンドウが表示されます。

7-6-5 Frequency 1 – 6

OSC 音声の選択を行います。

Frequency 1 の音声は、Mono Bus、もしくは Stereo Bus / Surround Bus の L チャンネルに使用されます。

Frequency 2 の音声は、Stereo Bus / Surround Bus の R チャンネルに使用されます。

Frequency 3 – 6 の音声は、それぞれ Surround Bus の C、LFE、Ls、Rs チャンネルに使用されます。

7-6-6 TB Preset1

TB パネルの Set1 ボタンを使用したときの TB 出力先設定を行います。

このメニューを選択すると TB Preset 設定ウィンドウが表示されます。

7-6-7 TB Preset2

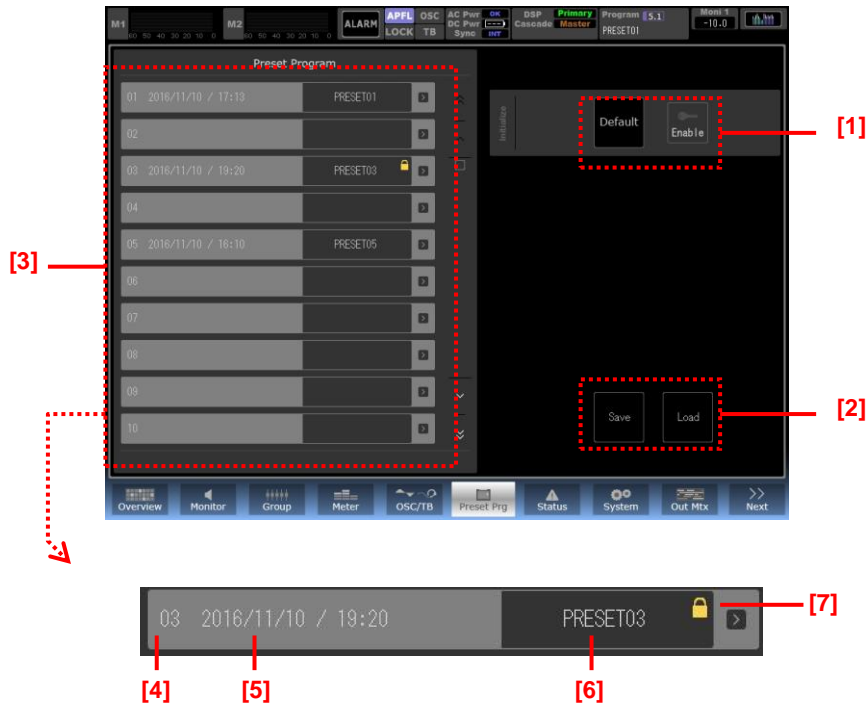
TB パネルの Set2 ボタンを使用したときの TB 出力先設定を行います。

このメニューを選択すると TB Preset 設定ウィンドウが表示されます。

7-7 Preset Prg メニュー

7-7-1 メニューTop

NT110 本体内部メモリに保存される Preset Program の登録、呼び出し、管理を行います。



[1] Factory Default 呼び出しボタン

Enable を押しながら Factory Default ボタンを押すと、工場初期値のミキサー設定が呼び出されます。本操作により Preset Program の登録状態及び Setup メニューの設定値は変化しません。

[2] Save / Load ボタン

Preset Program の Save、もしくは Load 画面に切り替えます。ボタンを押すと、画面左の Edit 選択ボタンが Save 選択ボタン、もしくは Load 選択ボタンに変わります。

[3] Edit 選択ボタン

Edit する Preset Program を選択します。

[4] Preset Program 番号

1 から 99 までの Preset Program 番号を表示します。データの有無に関係なく常に表示されます。

[5] タイムスタンプ表示

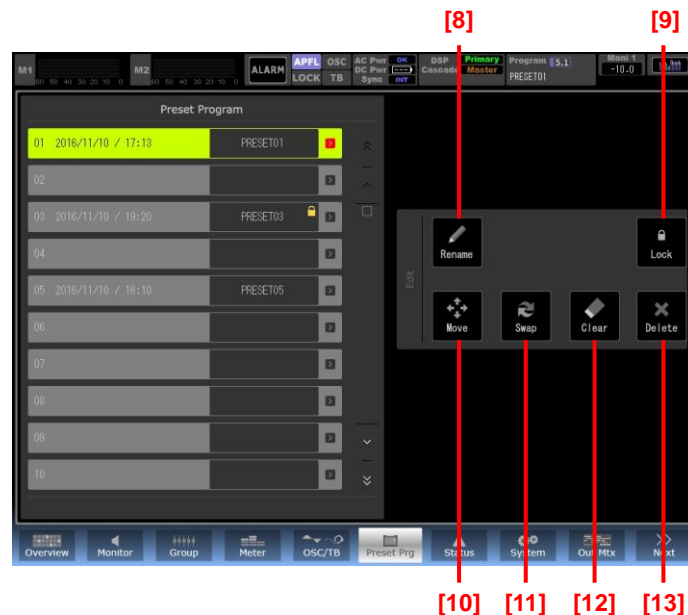
Preset Program の作成、更新時のタイムスタンプを表示します。

[6] Preset Program タイトル表示

Preset Program のタイトルを表示します。タイトルの入力 は Edit メニューで行います。

[7] Lock 設定表示

Lock の設定状態を表示します。



[8] Rename ボタン

Preset program のタイトルを入力します。
ボタンを押すと、タイトル入力ウィンドウが表示されます。

[9] Lock ボタン

Preset Program の Lock 設定、解除を行います。
Lock 状態の Preset Program は上書き保存、削除ができなくなります。Lock 設定、解除にはパスワードの入力が必要です。パスワードの工場出荷初期値は「NT110」です。

[10] Move ボタン

Preset Program を別の番号に移動します。
ボタンを押すと、Edit 選択ボタンで移動先を選択する状態になります。
Edit 選択ボタンが選択されると、そこに移動します。

[11] Swap ボタン

Preset Program を別の番号と入れ替えます。
ボタンを押すと、Edit 選択ボタンで入替え先を選択する状態になります。
Edit 選択ボタンが選択されると、番号が入れ替わります。

[12] Clear ボタン

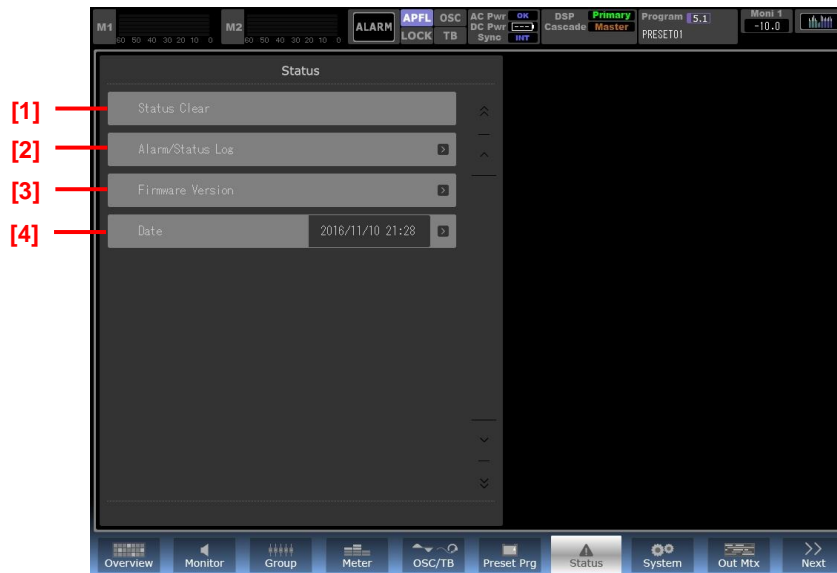
Preset Program をクリアします。
クリアされた Preset Program はデータ未登録の Preset Program になります。ボタンを押すと確認メッセージが表示されます。
[OK]を選択すると、選択中の Preset Program がクリアされます。

[13] Delete ボタン

Preset Program を削除します。
削除されると、それ以降の Preset Program 番号が前詰めされます。
ボタンを押すと確認メッセージが表示されます。
[OK]を選択すると、選択中の Preset Program がクリアされます。

7-8 Status メニュー

7-8-1 メニュー-Top



[1] Status Clear ボタン

Mixer Status 画面の Alarm ランプの点滅を止めます。
 ボタンを押すと、Alarm ランプはグレーになり、点灯に変わります。
 Alarm の発生が既知のものであり、その状態で敢えて運用を続ける場合に、既知の Alarm と、それ以外のものとを区別する必要がある場合に使用します。

[2] Alarm/Status Log

ミキサーに検出されているアラーム情報の詳細や記録されたログ情報を表示します。

[3] Firmware Version

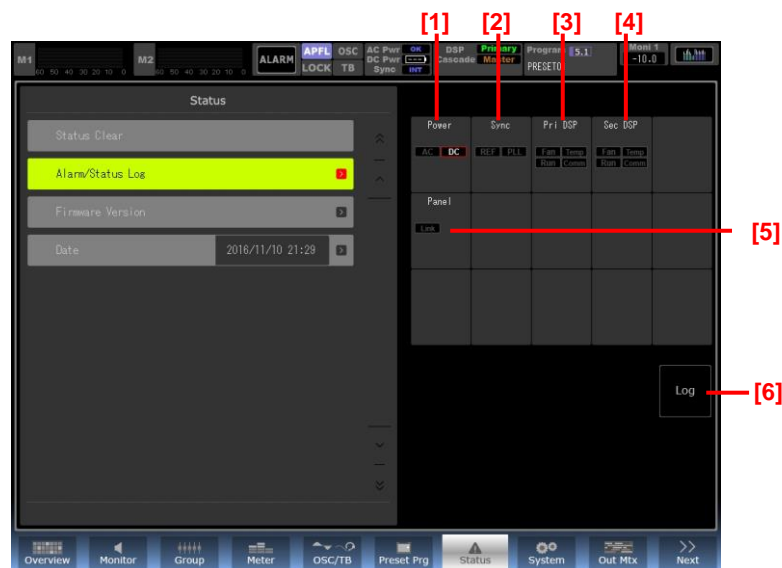
ミキサーのファームウェアバージョンの詳細を表示します。
 ファームウェアのメジャーバージョン番号は電源投入時の画面右下にも表示されます。

[4] Date

ミキサーのカレンダー時計の日付及び時刻合わせを行います。
 カレンダー時計は出荷時に設定されていますが、誤差がありますので定期的の日付及び時刻合わせを行う様にしてください。

7-8-2 Alarm/Status Log

NT110 で検出される Alarm を表示します。また、記録されているログ情報を参照します。



[1] Power ステータス表示

AC 電源入力、DC 電源入力の Alarm を表示します。

各電源入力の Alarm は System Menu 設定によりマスクする事が可能です。

AC : AC 電源入力異常時に点灯

DC : DC 電源入力異常時に点灯

[2] Sync ステータス表示

System Menu で Sync Source として選択した同期信号の Alarm を表示します。

REF : 同期信号入力が見つからない場合に点灯

PLL : 内部回路が同期信号にロックしていない場合に点灯

[3] Primary DSP 表示

Primary DSP Slot へ実装されている DSP Card の Alarm を表示します。

Fan : 内蔵ファンが停止している場合に点灯

Temp : 内蔵温度センサが高温異常を検出している場合に点灯

Run : 音声信号処理部が停止している場合に点灯

Comm : Primary DSP Card と Secondary DSP Card 間の疎通(コミュニケーション)異常の場合に点灯

[4] Secondary DSP 表示

Secondary DSP Slot へ実装されている DSP Card の Alarm を表示します。表示内容は Primary DSP 表示と同じです。

[5] Panel 表示

操作 Panel の Alarm を表示します。

Link : 操作 Panel と DSP Card 間の通信異常時に点灯

[6] Status Log ボタン

今までに記録された Alarm 発生、回復などのログ記録情報を表示します。古い記録は新しい情報で上書きされます。

7-9 System

7-9-1 Console Mode

Console Mode を切り替えます。

画面右に Console Mode 切り替えボタンが表示されます。

その時点の Console Mode と異なる Mode のボタンを選択すると確認メッセージが表示されます。

[OK]を選択すると、Console Mode が変更されます。



Console Mode が Stereo の場合

7-9-2 Bus Format M1/M2/Sum

M1、M2、Sum の Bus フォーマットを設定します。

このメニューを選択すると、Bus フォーマット設定ウィンドウが表示されます。



[1] Bus フォーマット選択ボタン

Bus フォーマットを選択します。

上位のフォーマットを選択すると、そのフォーマットに含まれる全ての Bus のボタンの選択が解除されます。

下位のフォーマットを選択すると、選択前のフォーマットに含まれる全ての Bus のフォーマットが、同じフォーマットに設定されます。

※「Downmix」は M1 及び M2 専用ボタンです

[2] Bus 番号ラベル

Bus 番号を表示します。

[3] Apply ボタン / OK ボタン / Cancel ボタン

設定変更の適用、破棄を選択します。

Apply を選択すると、ウィンドウを開いたまま変更内容を適用します。

OK ボタンを選択すると、変更内容を適用してウィンドウを閉じます。

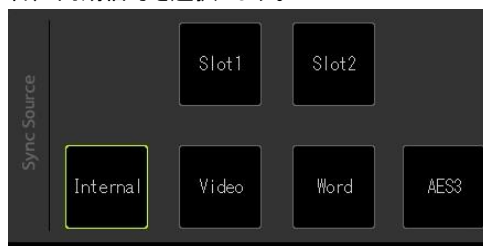
Cancel を選択すると、変更内容を破棄してウィンドウを閉じます。

[4] ページ送りボタンとページ表示

Bus 番号をページ送りします。Sum は 2 ページ構成です。

7-9-3 Sync Source

音声同期信号を選択します。



Internal : NT110 本体内蔵の同期信号を選択

Video : Rear Panel - Video in へ入力した同期信号を選択

Word : Rear Panel - Word clock in へ入力した同期信号を選択

AES3 : Rear Panel - AES3 in1 へ入力した同期信号を選択

Slot1/2 : Rear Panel - IO Card Slot に実装した Card の同期信号を選択
同期信号を出力する Card と同期信号を出力しない Card があります

7-9-4 SUB IN 1/2/3/4 Reference Level

Rear Panel – SUB IN の音声基準レベルを選択します。各入力個別に選択できます。

**7-9-5 LINE OUT Reference Level**

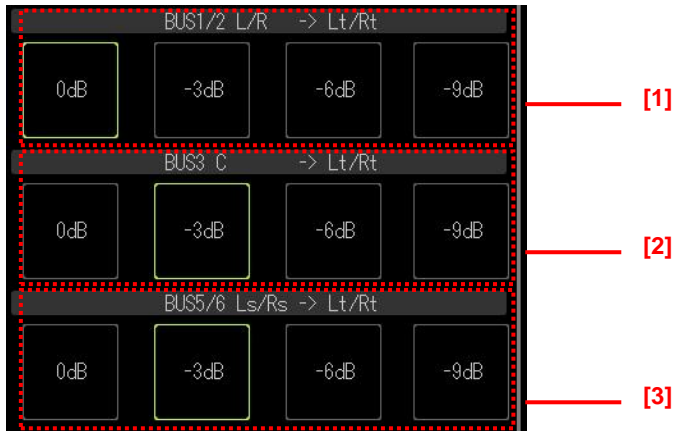
Rear Panel - LINE OUT の音声基準レベルを選択します。LINE OUT 1～16 一括設定となります。

**7-9-6 AES3 IN 1/2 Sample Rate Converter**

Rear Panel – AES3 IN のサンプルレートコンバータ On/Off を選択します。各入力個別に選択できます。

7-9-7 Downmix Level

5.1surround から Stereo へのダウンミックスレベルを選択します。



[1] BUS 1/2 L/R → Lt/Rt

5.1 Lch から Stereo Lch へのミックスレベル、5.1 Rch から Stereo Rch へのミックスレベルを選択します。

[2] BUS 3 C → Lt/Rt

5.1 C ch から Stereo Lch と Rch へのミックスレベルを選択します。

[3] BUS 5/6 Ls/Rs → Lt/Rt

5.1 Ls ch から Stereo Lch へのミックスレベル、5.1 Rs ch から Stereo Rch へのミックスレベルを選択します。

7-9-8 Delay

Delay の設定単位を選択します。



7-9-9 Luminance

Touch Panel や LED の点灯輝度の調整を行います。

このメニューを選択すると、Luminance 設定ウィンドウが表示されます。

各々、左右の矢印ボタンで調整を行い、カーソルが左端のとき最小、右端で最大輝度になります。



7-9-10 DC Input Voltage

Rear Panel – DC IN へ入力する DC 電源電圧を選択します。
本選択は Mixer Status 画面の DC Pwr インジケータ表示の基準電圧となります。



7-9-11 AC Power Alarm

AC 電源異常時に発生する Alarm の許可、禁止を選択します。

7-9-12 DC Power Alarm

DC 電源異常時に発生する Alarm の許可、禁止を選択します。

7-10 Output Mtx

Output Mtx メニューでは、NT110 Rear Panel や IO Card Slot、ヘッドフォンへの出力信号を選択します。

Category selection buttons: RearPnl, Slot 1, Slot 2

Edit menu: Clear, Swap, Cut, Copy, Paste

Output Source	Destination	Output Source	Destination	Output Source	Destination	Output Source	Destination
1 MONI-L	LINE 1	17		33	PHONES L		
2 MONI-R	LINE 2	18		34	PHONES R		
3 MONI-C	LINE 3	19		35			
4 MONI-LFE	LINE 4	20		36	AES3 1-1	49	
5 MONI-Ls	LINE 5	21		37	AES3 1-2	50	
6 MONI-Rs	LINE 6	22		38	AES3 2-1	51	
7	LINE 7	23		39	AES3 2-2	52	
8	LINE 8	24		40			
9	LINE 9	25		41	METER 1-1	53	
10	LINE 10	26		42	METER 1-2	54	
11	LINE 11	27		43	METER 2-1	55	
12	LINE 12	28		44	METER 2-2	56	
13	LINE 13	29		45	METER 3-1	57	
14	LINE 14	30		46	METER 3-2	58	
15	LINE 15	31		47	METER 4-1	59	
16	LINE 16	32		48	METER 4-2	60	

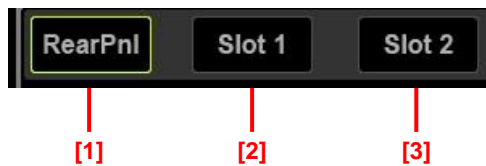
Source
Destination

出力選択エリアは NT110 の全出力回線:Destination とその回線へ出力している音声素材:Source が表示されます。このエリアはカテゴリ選択ボタンにより切り替わります。

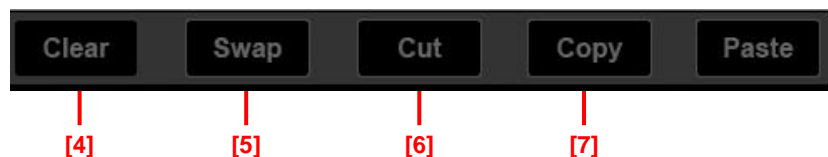
Source 表示部を選択すると Output マトリクス設定ウィンドウが表示されます。ウィンドウに表示された音声素材のリストから出力したい素材を選択します。

Destination 表示部を選択すると編集メニューが有効になります。

Destination 表示部をタッチした状態でドラッグすると、連続した複数の Destination を選択することができます。

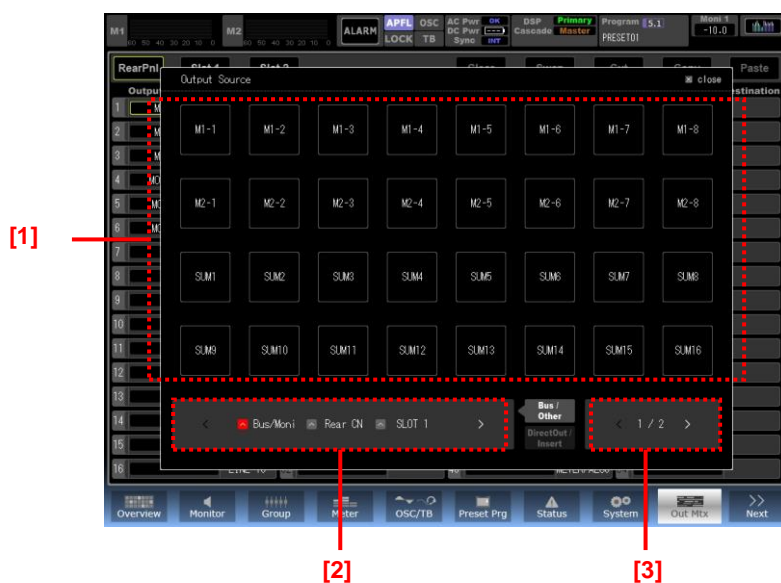


- [1] **Rear Pnl**
出力選択エリアを Rear Panel にレイアウトされている音声出力コネクタ及びフロント下部にあるヘッドフォン出力の回線表示へ切り替えます。
- [2] **Slot 1**
出力選択エリアを Rear Panel の IO Card Slot 1 音声出力回線表示へ切り替えます。
- [3] **Slot 2**
出力選択エリアを Rear Panel の IO Card Slot 2 音声出力回線表示へ切り替えます。



- [4] **Clear ボタン**
選択された Destination の Source をクリアします。Source がクリアされた Destination は音声ミュートします。
- [5] **Swap ボタン**
選択された Destination の Source を他の Destination の Source を入れ替えます。
Swap 元選択、Swap ボタン押下、Swap 先選択の順に操作します。
- [6] **Cut ボタン**
選択された Destination の Source を他の Destination へ移動します。
Cut 元選択、Cut ボタン押下、Paste 先選択の順に操作します。
- [7] **Copy ボタン**
選択された Destination の Source を他の Destination の Source へコピーします。
Copy 元選択、Copy ボタン押下、Paste 先選択の順に操作します。

7-10-1 Output マトリクス設定ウィンドウ



[1] Source 選択ボタン

割当てする Source を選択します。

1 つのボタンを押した状態のまま、もう 1 つのボタンを押すと、それら 2 つのボタンと、その間のボタンに対応する Source を複数の連続した Destination に設定します。

[2] カテゴリ選択ボタン

表示する Source のカテゴリを切り替えます。

[3] ページ送りボタンとページ表示

ページ情報が表示されます。「表示中のページ番号/総ページ数」の書式で表示されます。

左側のボタンを押すと前のページ、右側のボタンを押すと次のページが表示されます。

7-11 GPIO Slot1/GPIO Slot2

7-11-1 メニューTop

GPIO Card の各種設定を行います。
機能については「GPIO – 制御機能」を参照下さい。



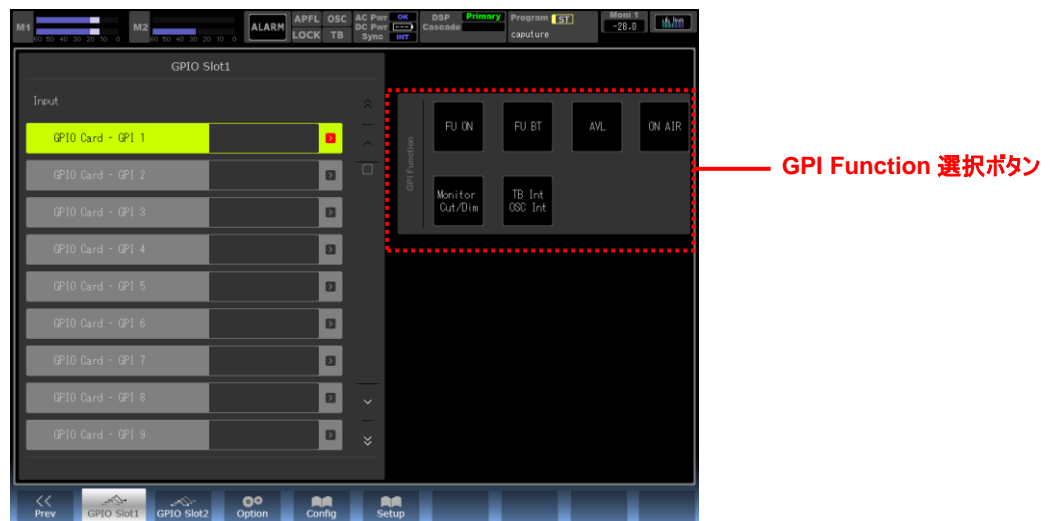
7-11-2 GPIO Card 設定方法(例:FU ON)

GPIO Input 1 へ FU ON を割り当てる方法を説明します。

7-11-2-1 操作方法

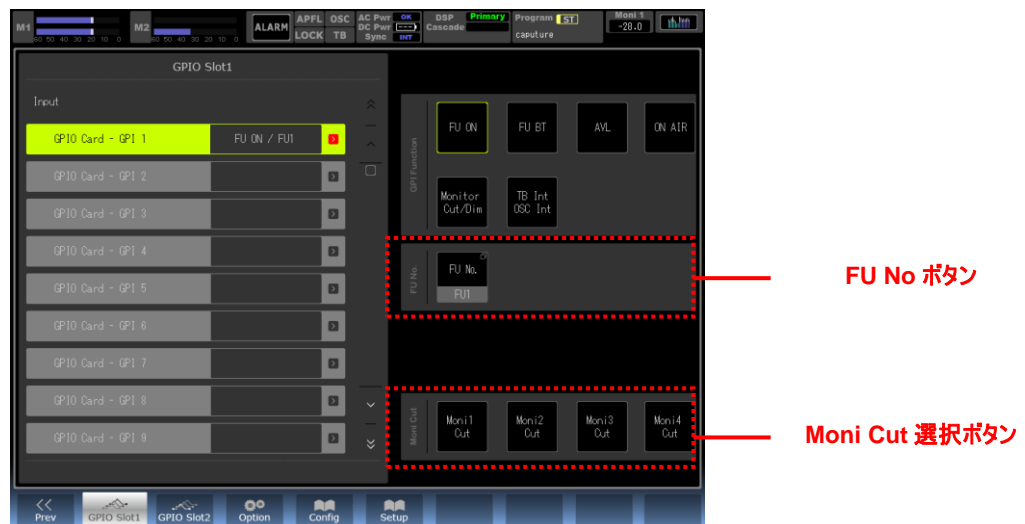
1 GPIO Slot1 画面で Input - GPIO Card-GPI1 を選択する。

GPIO Function 選択ボタンが表示されます。



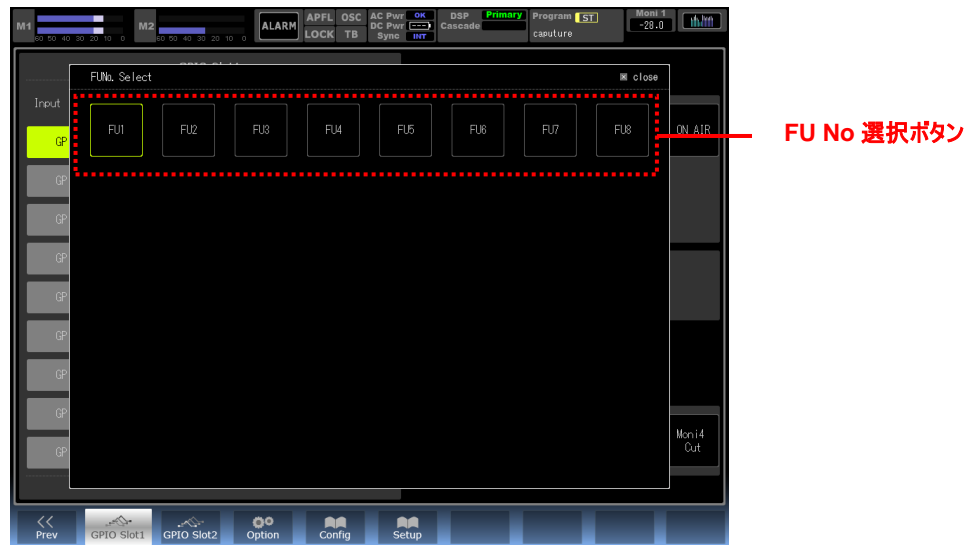
2 GPIO Function 選択ボタンから FU ON を選択する。

FU No ボタンと Moni Cut 選択ボタンが表示されます。



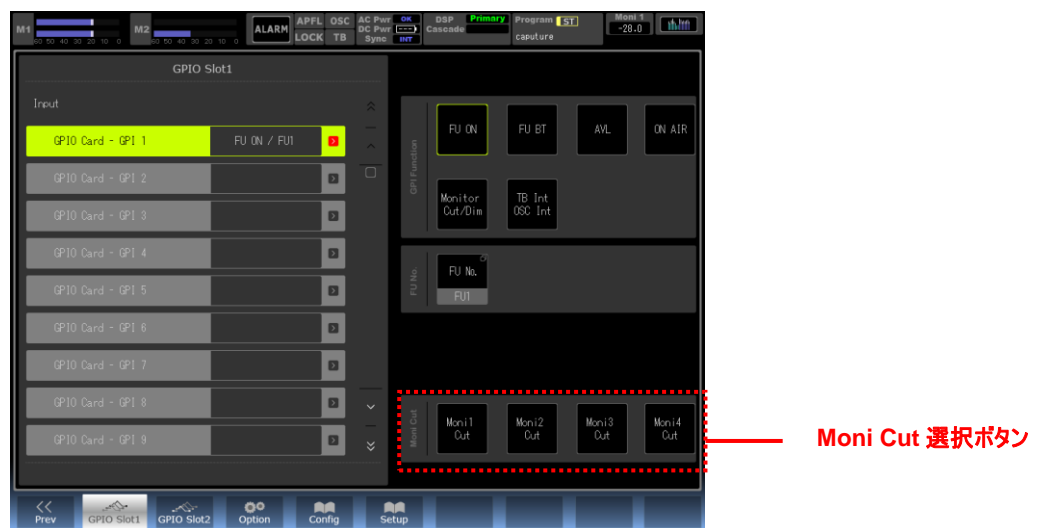
3 FU No 選択ボタンを選択する。

FU No 選択ウィンドウが表示されます。



4 FU 1 を選択する。

FU No 選択ウィンドウが閉じます。



5 FU ON 時にカットする Monitor を選択する。

カットする複数選択することが可能です。



7-12 Option

7-12-1 メニューTop

Cascade 接続及びオプションカードの設定を行います。
オプションカードは Slot1/2 個別に設定可能です。



7-12-2 Cascade

入力チャンネルを増設する場合に、MADI CARD を実装した 2 台の NT110 を Coaxial 接続又は Optical 接続し、Cascade 接続を行います。

7-12-2-1 Cascade

Cascade 機能の OFF / Slave / Master を選択します。Slave を選択するとバス (M1/M2/Sum/APFL/BT) の音声は Master へ送信されます。Master を選択すると Slave からの音声受信状態になります。



- OFF : Cascade 接続 OFF
- Slave : Cascade 接続の Slave 側に設定
- Master : Cascade 接続の Master 側に設定

7-12-2-2 Cascade Port

Cascade 機能を使用する MADI CARD が実装された Slot を選択します。



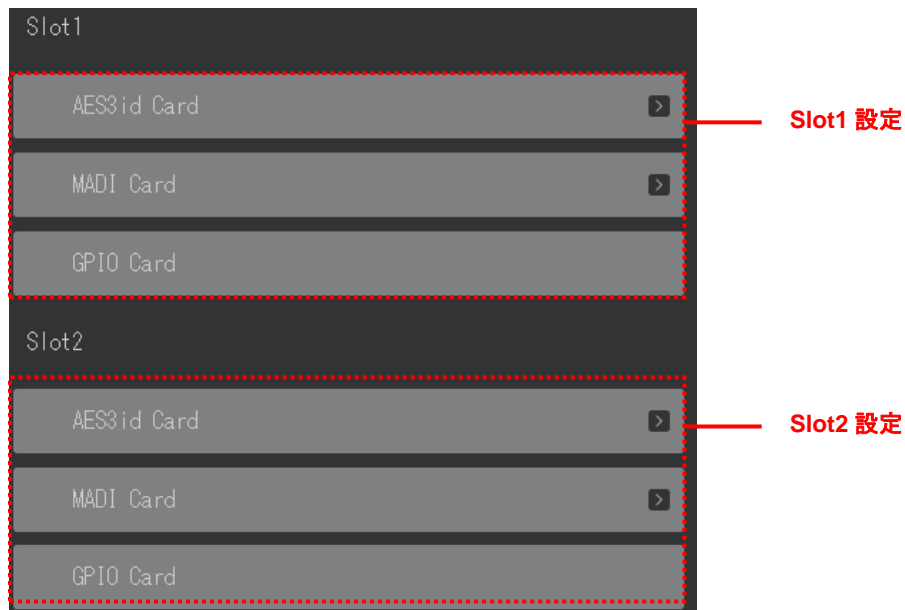
7-12-3 Slot1/Slot2

IO Card Slot へ実装されている Card を自動認識して表示します。



7-12-4 Slot1/Slot2 各オプションカード設定

オプションカードの設定を Slot1/Slot2 で個別に設定します。



7-12-4-1 AES3id Card

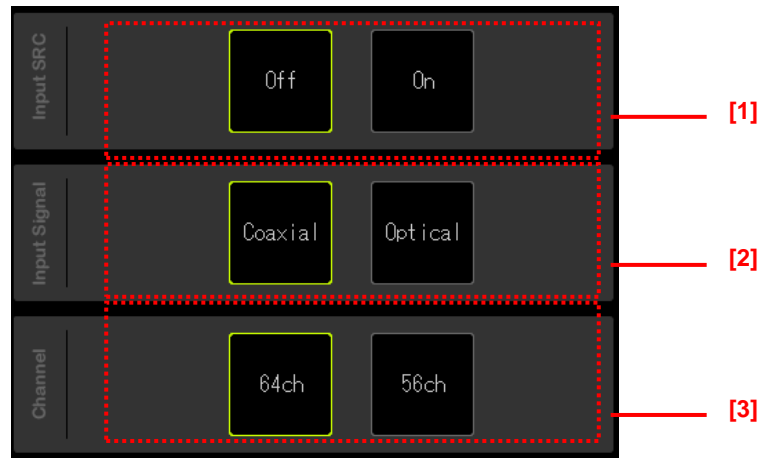
AES3id Card 入力のサンプルレートコンバータ On/Off を選択します。

タップすることでサンプルレートコンバータを On/Off します。各入力個別に On/Off 選択できます。



7-12-4-2 MADI Card

MADI Card の設定を行います。

**[1] Input SRC**

MADI Card 入力のサンプルレートコンバータの On/Off を選択します。

[2] Input Signal

MADI 入力コネクタを選択します。

出力は Coaxial, Optical 両方から常に出力されます。

[3] Channel Format

MADI チャンネル数を選択します。

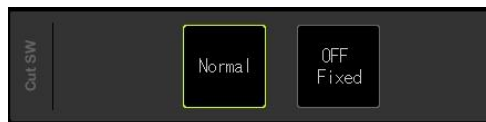
7-12-4-3 GPIO Card

GPIO Slot1 / GPIO Slot2 メニューへ切り替わります。

7-13 Config

7-13-1 CUT Switch Operation

各チャンネルの CUT ボタン動作を選択します。



Normal : ボタン押下の度に On/Off トグル動作

OFF Fixed : ボタン操作は無効、CUT ボタンを Off 固定にしたい場合に使用します。

7-13-2 Moni1/2/3/4 Int/Mix Source

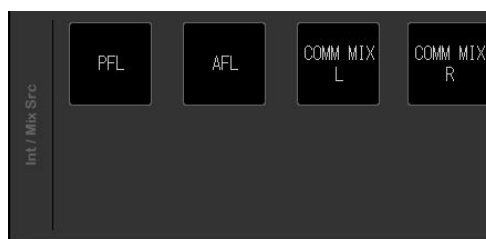
Monitor1/2/3/4 へ割り込む素材、及びミックスする素材を選択します。

各 Monitor 個別に選択できます。

Monitor1



Monitor2/3/4



7-13-3 Moni1/2/3/4 Auto Cut Source

Monitor1/2/3/4 を自動で Cut する条件を選択します。

各 Monitor 個別に選択できます。



7-13-4 Moni1/2/3/4 Auto Dim Source

Monitor1/2/3/4 を自動で Dimmer する条件を選択します。

各 Monitor 個別に選択できます。



7-13-5 ON AIR – OSC Inhibit

ON AIR が On の場合に禁止する OSC 送出先を選択します。

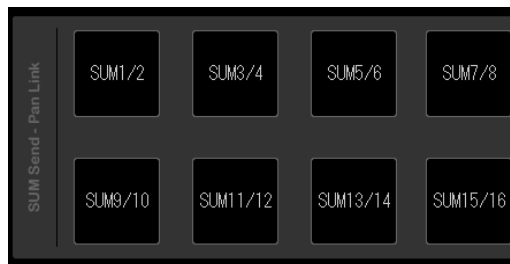
**7-13-6 ON AIR – TB Inhibit**

ON AIR が On の場合に禁止する TB(Talk Back)送出先を選択します。

**7-13-7 Sum Send – Pan Link**

Input 及び Sum チャンネルの Sum Pan / Bal パラメータと Stereo Pan / Bal パラメータとのリンク設定を行います。

On 設定された Sum Bus No.への Sum Pan/Bal パラメータは同チャンネルの Stereo Pan/Bal パラメータとリンクします。



7-14 SETUP

本画面は NT110 の基本設定を行います。誤って設定が変更されない様に本画面への入場にはパスワードの入力が必要です。パスワードの工場出荷初期値は「NT110」です。

本画面の設定は Preset Program の対象外です。Preset Program を Load しても本画面の設定は変更されません。

7-14-1 Digital Reference Level

デジタル音声入出力の基準レベルを選択します。

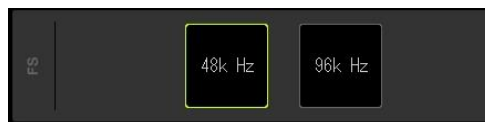
本設定にメータの警告表示エリア(色が変化するポイント)、内蔵デジタル OSC 発信機の基準レベル、A/D 変換及び D/A 変換の基準レベルが追従します。



7-14-2 FS – Sampling Rate

内部音声信号処理、デジタル音声入出力のサンプリング周波数を選択します。

FS 96kHz を選択した場合の信号処理チャンネル数及び入出力回線数には制約があります。



7-14-3 DSP Auto Changeover

DSP Card の自動系切り替え設定を行います。

DSP Card が冗長構成で DSP Auto Changeover が ENABLE に設定されている場合、停止もしくは暴走の可能性のある ALARM が発生すると DSP Card は自動で切り替わります。



7-14-4 Password

SETUP 画面へ入場や LOCK 設定などに必要となるパスワード設定を行います。

パスワードの工場出荷初期値は「NT110」です。

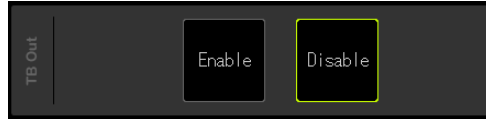
パスワード変更時は必ず変更後のパスワード文字列を記録して保管する様にしてください。

パスワード設定を工場出荷初期値に戻すためには特殊な操作が必要となります。

7-14-5 TB Always On

Rear Panel - TB OUT 端子の動作を選択します。

DISABLE の場合、TB PRESET で TB OUT が On の SET ボタン On 中、TB OUT 端子から TB MIC 音声が出力されます。ENBALE にした場合、TB MIC 音声は常に TB OUT 端子から出力されます。



7-14-6 Mono Mix Dimmer Level

Stereo 信号の Lch と Rch をミックスした場合に自動で行うレベルダウン量を選択します。



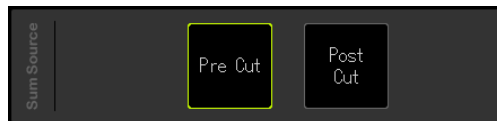
7-14-7 PFL Source

PFL 信号の取り出しポイントを選択します。



7-14-8 Sum Pre Source

Sum 信号の取り出しポイントを選択します。



7-14-9 HA Headroom

マイク入力ヘッドアンプのヘッドルームを選択します。



7-14-10 BT Cut

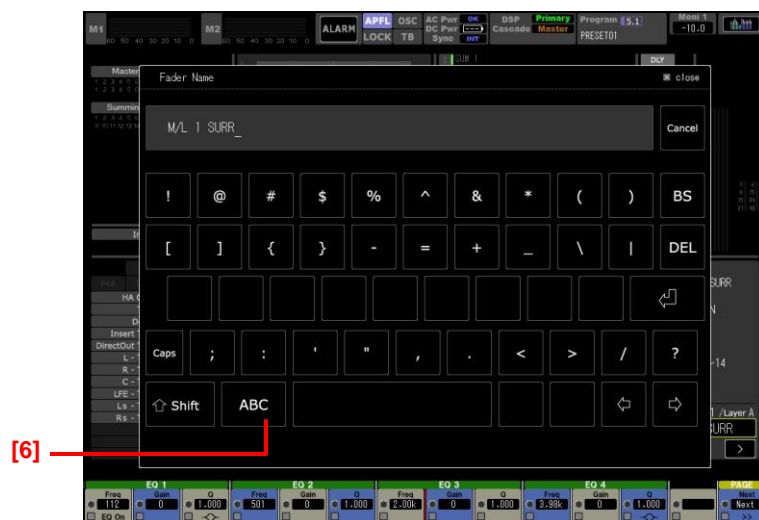
GPIO Input による FU BT(Back Talk)制御時の、チャンネル出力 CUT 機能有効/無効を選択します。



7-15 その他の画面

7-15-1 キーボードウィンドウ

Fader Name や Preset Program タイトルの入力、パスワードの入力などのメニューでキーボードウィンドウが表示されます。



[1] 入力文字列表示

入力された文字列を表示します。

ウィンドウが開いた時点で何らかの文字列が入力されている場合は、その文字列を表示します。

[2] Cancel ボタン

入力内容を破棄します。

ウィンドウが開いた時点で何らかの文字列が入力されていた場合は、それまでの入力内容を破棄して、ウィンドウを開いた時点の文字列に戻します。

-
- [3] Caps Lock ボタン**
Caps Lock の On/Off を切り替えます。
[Shift]ボタンを押しながらこのボタンを押すと、On/Off が切り替わりま
す。
 - [4] Shift ボタン**
このボタンを押しながら、入力文字が 2 段になっているボタンを押すと、
上の段の文字が入力されます。
 - [5] Enter ボタン**
入力内容を確定しウィンドウを閉じます。
 - [6] 入力文字切り替えボタン**
入力文字を切り替えます。
[[[:]]ボタンを押すと記号入力、[ABC]ボタンを押すと通常文字入力に
なります。

8. GPIO

8-1 制御機能

8-1-1 機能一覧

8-1-1-1 GPI

機能	説明	設定項目
Link Function FU/BT	On 時、指定 FU 機能を On、もしくは BT On	FU ナンバーの指定 On 時、制御する Monitor の指定
Link Function Remote	On 時、指定 Remote 機能を On	Remote ナンバーの指定
Link Function AVL	On 時、AVL 機能を On	AVL ナンバーの指定 動作パラメータ設定
Monitor Cut	On 時、指定 Monitor を Cut	Monitor 系統の指定
Monitor Dim	On 時、指定 Monitor を Dim	Monitor 系統の指定
TB 割込み	On 時、指定 Bus、Monitor に TB 音声割込み	Bus、Monitor の指定
OSC 割込み	On 時、Master Bus へ OSC 割込み	割込み先 Master Bus の指定



複数の GPI ポートで機能が重複しないように設定を行ってください。1 つの機能が複数のポートで重複すると、正常に動作しない場合があります。

8-1-1-2 GPO

機能	説明	設定項目
Link Function Remote	Link Function Remote 機能 指定ステータス時 On 出力	Start / Stop ステータスの指定
Mic On	指定 FU ナンバーの、Mic On ステータス出力	FU ナンバーの指定



複数の GPO ポートに、同一の機能を重複して設定することができます。

8-1-2 機能詳細

8-1-2-1 Link Function FU/BT (GPI)

Link Function FU の 1 から 8 のいずれかが設定された GPI が Off を受信すると、同 FU 機能が設定されたチャンネルでは、Fader Level が、Fader 位置に関係なく $-\infty$ になります (FU Off 状態)。

同 GPI が On を受信すると、Fader Level が Fader 位置と一致します (FU On 状態)。このとき、チャンネルメータの Link Function ステータスインジケータ が点灯します。

また、同 GPI が On/Off のどちらを受信していても、チャンネルの [REM] ボタンが On になると、Fader Level は Fader 位置と一致し、ステータスインジケータが点灯します (FU Through 状態)。

さらに、同 GPI が On を受信したとき、もしくはチャンネルの [REM] ボタンが On のとき、Monitor1 から 4 の中から指定した Monitor 音声出力が Cut されます。

GPI の状態、[REM] ボタン、Fader Level 設定値、ステータスインジケータの各状態は、下記の通りとなります。

GPI	[REM]	Fader Level	FU LAMP	Monitor
On	On	Fader 位置	点灯	Cut
	Off	Fader 位置	点灯	Cut
Off	On	Fader 位置	点灯	Cut
	Off	$-\infty$	消灯	通常

Link Function FU の 1 から 8 のいずれかの BT 機能が設定された GPI が On を受信すると、同 FU 機能が設定されたチャンネルでは、BT 機能が On になります。

また、指定した Monitor の音声出力が、Cut、もしくは Dim されます。



BT 機能とは、チャンネルに入力された音声を、Master などの Bus に出力せずに、BT Bus に出力し、その音声を指定した Monitor から出力する機能です。これにより、ナレーション収録用のマイクを、一時的にコミュニケーション用マイクとして使用することができます。ただし、Direct Out へは、そのチャンネルの Audio Path 設定によっては、BT 機能が On であっても音声が出力される場合があります。

8-1-2-2 Link Function Remote (GPO)

Link Function Remote の 1 から 8 のいずれかが設定されたチャンネルの [REM] ボタンが On の状態で、Fader 操作によって Fader 位置が絞りきりではなくなったとき、同 Remote の Start 機能が設定された GPO から Pulse が出力されます。また、[REM] ボタンが Off の状態で、Fader 位置が絞りきりではないときに、[REM] ボタンを押して On の状態にした場合も、該当 GPO から Pulse が出力されます。

Link Function Remote の 1 から 8 のいずれかが設定されたチャンネルの [REM] ボタンが On の状態で、Fader 操作によって Fader 位置が絞りきりになったとき、同 Remote の Stop 機能が設定された GPO から Pulse が出力されます。

Fader 位置、[REM] ボタン、Pulse 出力は下記の通りとなります。

Fader 位置	[REM] ボタン	Pulse 出力
絞りきりでなくなったとき	On	Start 設定した GPO から出力
	Off	なし
絞りきりになったとき	On	Stop 設定した GPO から出力
	Off	なし

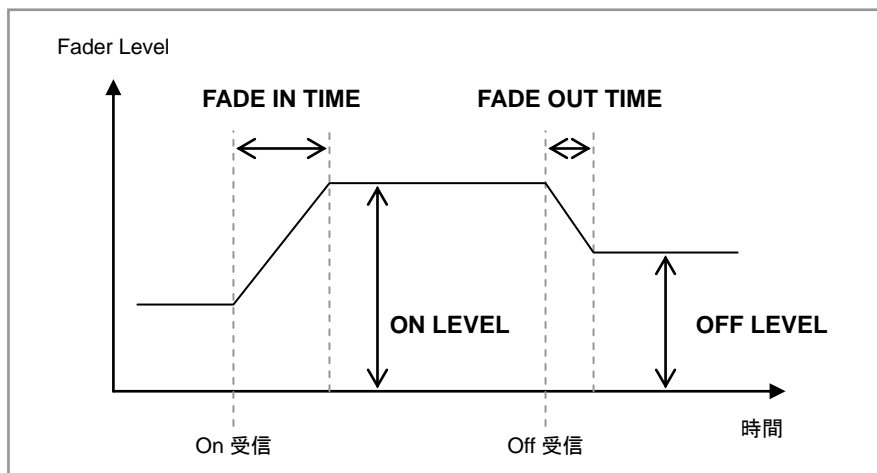
Fader 位置	[REM] ボタン	Pulse 出力
----------	-----------	----------

絞りきりでないとき	Off→On	Start 設定した GPO から出力
	On→Off	なし
絞りきりのとき	Off→On	なし
	On→Off	なし

8-1-2-3 Link Function AVL (GPI)

Link Function AVL の 1 から 16 のいずれかが設定されたチャンネルの[REM]ボタンが On の状態で、同 AVL 機能が設定された GPI が On、もしくは Off を受信すると、その Fader の Fader Level が、あらかじめ設定されたとおりに変更されます。ただし、このとき該当チャンネルの Fader でタッチが検出されていた場合は、Fader Level 変更動作がキャンセルされます。

Fader Level 変更動作は、GPI が On を受信した場合は、[FADE IN TIME]と[ON LEVEL]によって規定されます。GPI が Off を受信した場合は、[FADE OUT TIME]と[OFF LEVEL]によって規定されます。Fader Level の変化と、これらのパラメータの関係は下図の通りとなります。



また、AVL 機能が設定された GPI が On を受信すると、チャンネルメータの Link Function ステータスインジケータが点灯します。

8-1-2-4 Monitor Cut (GPI)

Monitor Cut 機能を設定した GPI が On を受信すると、指定した Monitor の音声出力が Cut されます。このとき Cut された Monitor は、コンソールの Cut ボタン操作で Cut を解除することができなくなります。

8-1-2-5 Monitor Dim (GPI)

Monitor Dim 機能を設定した GPI が On を受信すると、指定した Monitor の音声出力が Dim されます。このとき Dim された Monitor は、コンソールの Dim ボタン操作で Dim を解除することができなくなります。

8-1-2-6 TB 割込み (GPI)

TB 割込み機能が設定された GPI が On を受信すると、指定した Bus と Monitor へ TB 音声が入ります。

8-1-2-7 OSC 割込み (GPI)

OSC 割込み機能が設定された GPI が On を受信すると、指定した Master Bus に OSC 出力音声が入ります。

8-1-2-8 Mic On 通知 (GPO)

指定した FU ナンバーが設定されたチャンネルの Fader が絞りがきりでなくなったときに、その FU ナンバーが FU On 状態、もしくは FU Through 状態であった場合、Mic On 機能が設定された GPO から On ターンを出します。

9. Appendix

9-1 チャンネルパラメーター一覧

パラメーター名	設定値種別			説明
	On / Off	テーブル	動作設定	
EQ 1-4 Freq		*		EQ1-4 の中心周波数を設定します。
EQ 1-4 Gain		*		EQ1-4 の増幅/減衰量を設定します。
EQ 1-4 Q		*		EQ1-4 の尖鋭度を設定します。
Notch Q		*		ノッチフィルターの尖鋭度を設定します。
Notch Freq		*		ノッチフィルターの周波数を設定します。
LPF Freq		*		ローパスフィルタのカットオフ周波数を設定します。
HPF Freq		*		ハイパスフィルタのカットオフ周波数を設定します。
LFE Freq		*		LFE フィルタのカットオフ周波数を設定します。
EQ On/Off	*			EQ1-4 を On/Off します。
Filt1 On/Off	*			Filter1 を On/Off します。
Filt2 On/Off	*			Filter2 を On/Off します。
Comp Rto		*		Comp の Ratio を設定します。
Comp Thre		*		Comp の Threshold を設定します。
Comp Atck		*		Comp の Attack Time を設定します。
Comp Rel		*		Comp の Release Time を設定します。
Comp knee		*		Comp の Knee を設定します。
GE Rto		*		Gate/Expander の Ratio を設定します。
GE Thre		*		Gate/Expander の Threshold を設定します。
GE Atck		*		Gate/Expander の Attack Time を設定します。
GE Rel		*		Gate/Expander の Release Time を設定します。
GE Hld		*		Gate/Expander の Hold Time を設定します。
GE Rng		*		Gate/Expander の Range を設定します。
GE Hys		*		Gate/Expander の Hysteresis を設定します。
MakeUpG		*		Comp+GE の出力ゲインを設定します。
Comp On	*			Comp を有効にします。
GE On	*			Gate/Expander を有効にします。
Dynamics On	*			Comp、Gate/Expander の On/Off を切り替えます。

パラメータ名	設定値種別			説明
	On / Off	テーブル	動作設定	
Peak / RMS		*		ダイナミクス動作開始判定に使用する音声レベルのタイプを設定します。 最小設定は Peak レベル、最大設定は RMS レベルで動作します。
Dyn Byp			*	Comp+GE を Bypass するサブチャンネルを選択します。
Sum On / Off	*			Sum へのアサインを On/Off します。
Sum Pan		*		Mono チャンネルから Stereo Sum に出力するときの Pan を設定します。
Sum Bal		*		Stereo チャンネルから Stereo Sum に出力するときの Stereo Balance を設定します。
Sum Send Level		*		Sum への出力レベルを設定します。
Stereo Pan		*		Mono チャンネルから Stereo Bus へ出力するときの Pan を設定します。
Stereo Bal		*		Stereo チャンネルから Stereo Bus へ出力するときの、Stereo Balance を設定します。
Stereo Pan On / Off	*			Stereo Pan を On/Off します。
Stereo Bal On / Off	*			Stereo Bal を On/Off します。
Φ On/Off	*			Mono チャンネルの位相反転機能を On/Off します。
Φ R On/Off	*			Stereo チャンネルの R チャンネル位相反転機能を On/Off します。
P48 On/Off	*			P48(ファンタム電源)を On/Off します。
L mono	*			Stereo チャンネルに入力されている L 音声を、L、R 両方のサブチャンネルに入力します。
R mono	*			Stereo チャンネルに入力されている R 音声を、L、R 両方のサブチャンネルに入力します。
L+R mono	*			Stereo チャンネルに入力されている LR 音声を、ミックスして L、R 両方のサブチャンネルに入力します。
M/S On/Off	*			M/S デコードを On/Off します。
Delay		*		音声の遅延量を設定します。
Delay On/Off	*			Delay を On/Off します。
HA Gain		*		マイク入力のアナログゲインを設定します。
Trim		*		デジタル領域の入力レベルを調整します。 Stereo、Surround チャンネルの場合は、全てのサブチャンネルで連動します。
L Trim		*		サブチャンネル L の入力レベルを調整します。
R Trim		*		サブチャンネル R の入力レベルを調整します。
C Trim		*		サブチャンネル C の入力レベルを調整します。

パラメータ名	設定値種別			説明
	On / Off	テーブル	動作設定	
LFE Trim		*		サブチャンネル LFE の入力レベルを調整します。
Ls Trim		*		サブチャンネル Ls の入力レベルを調整します。
Rs Trim		*		サブチャンネル Rs の入力レベルを調整します。
L / R Trim		*		L Trim と R Trim を連動させて調整します。相対関係を維持した状態で連動します。
Ls / Rs Trim		*		Ls Trim と Rs Trim を連動させて調整します。相対関係を維持した状態で連動します。
Insert Trim		*		Insert 出力の出力レベルを調整します。
Direct Out Trim		*		Direct Out 出力の出力レベルを調整します。
LCR Pan		*		Surround Pan の LCR Pan (左右方向) を設定します。
F-S Pan		*		Surround Pan の F-S Pan (前後方向) を設定します。
Front Div (C Stable)		*		LCR Pan の出力音声のうち、C 出力の音声を、C 出力のレベルを変えずに L、R 出力にミックスします。
Front Div (Normal)		*		LCR Pan の出力音声のうち、C 出力の音声を、L、C、R 出力全体のレベルが一定となるように、C 出力レベルを調整しながら L、R 出力にミックスします。 (L、R へのミックスレベルの増加に合わせて C 出力が減少します)
Front Width		*		LCR Pan 出力の各出力間の Width を設定します。
F-S Div		*		LCR Pan 出力の L、R 出力音声を、その出力レベルは変えずに、F-S Pan 出力の Ls1、Rs1 出力にミックスします。またはその逆の設定を行います。
Rear Width		*		F-S Pan 出力の Ls1、Rs1 出力の Width 設定を行います。
LFE Send		*		LFE 出力のレベルを調整します。
C On/Off	*			センターの On/Off を設定します。
Surround Pan On/Off	*			Surround Pan を On/Off します。

9-2 Select Encoder(Channel Setting)機能配置一覽

■ EQ

Page.1	Button	Encoder	Remarks
Ch1	EQ On	EQ1 Freq	
Ch2		EQ1 Gain	
Ch3	Type Sel	EQ1 Q	Type Sel: Peak / Shelv / Notch 切替
Ch4		EQ2 Freq	
Ch5		EQ2 Gain	
Ch6		EQ2 Q	
Ch7		EQ3 Freq	
Ch8		EQ3 Gain	
Ch9		EQ3 Q	
Ch10		EQ4 Freq	
Ch11		EQ4 Gain	
Ch12	Type Sel	EQ4 Q	Type Sel: Peak / Shelv / Notch 切替
Ch13			
Ch14	Page		

Page.2	Button	Encoder	Remarks
Ch1	Filt1 On	Filt1 Freq	
Ch2	Type Sel	Filt1 Notch Q	Type Sel: HPF / Notch 切替 5.1ch : Type Sel: HPF / Notch / LFE 切替
Ch3	Filt2 On	Filt2 Freq	
Ch4	Type Sel	Filt2 Notch Q	Type Sel: LPF / Notch 切替 5.1ch : Filt1 が LFE のとき Filt2 無効
Ch5			
:			
Ch13			
Ch14	Page		

■ Dynamics

	Button	Encoder	Remarks
Ch1	Dynamics On	Dyn Byp	Mono/Stereo ch : Dyn Byp 無効
Ch2	Comp On	Comp Thre	
Ch3		Comp Rto	
Ch4		Comp Atk	
Ch5		Comp Rel	
Ch6		Comp Kne	
Ch7		MakeUpG	
Ch8	GE On	GE Thre	
Ch9	Func Switch	GE Rto / Hys	Func Switch: Rto / Hys 機能切替
Ch10		GE Rng	
Ch11		GE Atk	
Ch12		GE Rel	
Ch13		GE Hld	
Ch14		Peak / RMS	

■ **SUM Send**

• **Mono Sum Send**

Page.1	Button	Encoder	Remarks
Ch1	SUM 1 On	SUM 1 Send Level	
Ch2	SUM 2 On	SUM 2 Send Level	
:			
Ch8	SUM 8 On	SUM 8 Send Level	
Ch9			
:			
Ch13			
Ch14	Page		

Page.2	Button	Encoder	Remarks
Ch1	SUM 9 On	SUM 9 Send Level	
Ch2	SUM 10 On	SUM 10 Send Level	
:			
Ch8	SUM 16 On	SUM 16 Send Level	
Ch9			
:			
Ch13			
Ch14	Page		

• **Stereo Sum Send**

Page.1	Button	Encoder	Remarks
Ch1	SUM 1 On	SUM 1/2 Send Level	
Ch2	SUM 2 On	SUM 1/2 Pan/Bal	
:	:	:	
Ch7	SUM 7 On	SUM 7/8 Send Level	
Ch8	SUM 8 On	SUM 7/8 Pan/Bal	
Ch9			
:			
Ch13			
Ch14	Page		

Page.2	Button	Encoder	Remarks
Ch1	SUM 9 On	SUM 9/10 Send Level	
Ch2	SUM 10 On	SUM 9/10 Pan/Bal	
:	:	:	

Ch7	SUM 15 On	SUM 15/16 Send Level	
Ch8	SUM 16 On	SUM 15/16 Pan/Bal	
Ch9			
:			
Ch13			
Ch14	Page		

• **5.1 Surround Sum Send**

Page.1	Button	Encoder	Remarks
Ch1	SUM 1 On	SUM 1-6 Send Level	
Ch2	SUM 2 On	SUM 1-6 Send Level	
:	:	:	
Ch6	SUM 6 On	SUM 1-6 Send Level	
Ch7	Same As		
Ch8	Mono or Stereo SUM7,8		
Ch9			
:			
Ch13			
Ch14	Page		

Page.2	Button	Encoder	Remarks
Ch1	SUM 9 On	SUM 9-14 Send Level	
Ch2	SUM 10 On	SUM 9-14 Send Level	
:	:	:	
Ch6	SUM 14 On	SUM 9-14 Send Level	
Ch7	Same As		
Ch8	Mono or Stereo SUM15,16		
Ch9			
:			
Ch13			
Ch14	Page		

■ **Input**

• **Mono Channel**

	Button	Encoder	Remarks
Ch1	P48 On	HA Gain	Line or Digital の場合無効
Ch2	Φ On	Trim	
Ch3			
Ch4			
Ch5			
Ch6			
Ch7			

Ch8			
Ch9	Delay On	Delay	
Ch10	Insert On	Insert Trim	
Ch11		DirectOut Trim	
Ch12	Stereo Pan/Bal On	Stereo Pan/Bal	
Ch13			
Ch14			

• Stereo Channel

	Button	Encoder	Remarks
Ch1	P48 On	HA Gain	Line or Digital の場合無効
Ch2	Φ R On	Trim	
Ch3	L Mono	L Trim	Button:L mono / R mono 両選択で L+R Mono
Ch4	R Mono	R Trim	Button:L mono / R mono 両選択で L+R Mono
Ch5	M/S On		
Ch6			
Ch7			
Ch8			
Ch9	Delay On	Delay	
Ch10	Insert On	Insert Trim	
Ch11		DirectOut Trim	
Ch12	Stereo Pan/Bal On	Stereo Pan/Bal	
Ch13			
Ch14			

• 5.1 Surround Channel

	Button	Encoder	Remarks
Ch1	P48 On	HA Gain	Line or Digital の場合無効
Ch2		Trim	
Ch3		L Trim	
Ch4		R Trim	
Ch5		C Trim	
Ch6		LFE Trim	
Ch7		Ls Trim	
Ch8		Rs Trim	
Ch9	Delay On	Delay	
Ch10	Insert On	Insert Trim	
Ch11		DirectOut Trim	
Ch12			
Ch13			
Ch14			

■ Pan

• Console Mode = Stereo

	Button	Encoder	Remarks
Ch1	Stereo Pan/Bal On	Stereo Pan/Bal	5.1ch : Stereo Pan/Bal 無効
Ch2			
:			
Ch14			

• Console Mode = 5.1 Surround / Mono or Stereo channel

	Button	Encoder	Remarks
Ch1	SurPan On	LCR Pan	SurPan: Surround Pan
Ch2	C On/Off	F-S Pan	
Ch3	Type Sel	Front Div	Type Sel: Normal / C Stable 切替 Stereo ch : Type Sel 無効
Ch4		F-S Div	
Ch5		Rear Width	Mono ch : Rear Width 無効
Ch6		LFE Send	
Ch7			
:			
Ch14			

• Console Mode = 5.1 Surround / 5.1 Surround channel

	Button	Encoder	Remarks
Ch1	SurPan On		SurPan: Surround Pan
Ch2			
Ch3	Type Sel	Front Div	Type Sel: Normal / C Stable 切替
Ch4		F-S Div	
Ch5		Rear Width	Mono ch : Rear Width 無効
Ch6			
Ch7			
:			
Ch14			

9-3 Select Encoder(Menu)機能配置一覽

■ Monitor Menu

• Monitor Parameter

	Button	Encoder	Remarks
Ch1		Dim Level	
Ch2		APFL Trim	
Ch3		Comm Level	
Ch4			
:			
Ch13			
Ch14	Close		

• Monitor1/2/3/4

	Button	Encoder	Remarks
Ch1		Moni* Level	* : 1~4
Ch2		Moni* Bal	
Ch3		Src1 Trim	
Ch4		Src2 Trim	
Ch5		Src3 Trim	
Ch6		Src4 Trim	
Ch7		Src5 Trim	
Ch8		Src6 Trim	
Ch9			
:			
Ch13			
Ch14	Close		

■ OSC/TB Menu

• Monitor Parameter

	Button	Encoder	Remarks
Ch1		OSC Trim	
Ch2		TB Level	
Ch3			
:			
Ch13			
Ch14	Close		

9-4 Select Encoder(Bus Master)機能配置一覧

■ M1/M2

	Mono	Stereo	5.1 Surround	Remarks
	Encoder	Encoder	Encoder	
Ch1	M1-1 Fader	M1-1/2 Fader	M1-1-6 Fader	
Ch2	M1-2 Fader	M1-1/2 L Fader	M1-1-6 L Fader	
Ch3		M1-1/2 R Fader	M1-1-6 R Fader	
Ch4	M1-3 Fader	M1-3/4 Fader	M1-1-6 C Fader	
Ch5	M1-4 Fader	M1-3/4 L Fader	M1-1-6 LFE Fader	
Ch6		M1-3/4 R Fader	M1-1-6 Ls Fader	
Ch7	M1-5 Fader	M1-5/6 Fader	M1-1-6 Rs Fader	
Ch8	M1-6 Fader	M1-5/6 L Fader		
Ch9		M1-5/6 R Fader		
Ch10	M1-7 Fader	M1-7/8 Fader		
Ch11	M1-8 Fader	M1-7/8 L Fader		
Ch12		M1-7/8 R Fader		
Ch13				
Ch14				

Button は機能選択ボタンの選択状態により、Sel/APFL/CUT/Ins/TB/OSC のいずれかになります。

M2 も上表同様です。

■ Sum

Page1	Mono	Stereo	5.1 Surround	Remarks
	Encoder	Encoder	Encoder	
Ch1	SUM1 Fader	SUM1/2 Fader	SUM1-6 Fader	
Ch2	SUM2 Fader	SUM1/2 L Fader	SUM1-6 L Fader	
Ch3		SUM1/2 R Fader	SUM1-6 R Fader	
Ch4	SUM3 Fader	SUM3/4 Fader	SUM1-6 C Fader	
Ch5	SUM4 Fader	SUM3/4 L Fader	SUM1-6 LFE Fader	
Ch6		SUM3/4 R Fader	SUM1-6 Ls Fader	
Ch7	SUM5 Fader	SUM5/6 Fader	SUM1-6 Rs Fader	
Ch8	SUM6 Fader	SUM5/6 L Fader		
Ch9		SUM5/6 R Fader		
Ch10	SUM7 Fader	SUM7/8 Fader		
Ch11	SUM8 Fader	SUM7/8 L Fader		
Ch12		SUM7/8 R Fader		
Ch13				
Ch14				

Button は機能選択ボタンの選択状態により、Sel/APFL/CUT/Ins/TB/OSC のいずれかになります。

Page2	Mono	Stereo	5.1 Surround	Remarks
	Encoder	Encoder	Encoder	
Ch1	SUM9 Fader	SUM9/10 Fader	SUM9-14 Fader	
Ch2	SUM10 Fader	SUM9/10 L Fader	SUM9-14 L Fader	
Ch3		SUM9/10 R Fader	SUM9-14 R Fader	
Ch4	SUM11 Fader	SUM11/12 Fader	SUM9-14 C Fader	
Ch5	SUM12 Fader	SUM11/12 L Fader	SUM9-14 LFE Fader	

Ch6		SUM11/12 R Fader	SUM9-14 Ls Fader	
Ch7	SUM13 Fader	SUM13/14 Fader	SUM9-14 Rs Fader	
Ch8	SUM14 Fader	SUM13/14 L Fader		
Ch9		SUM13/14 R Fader		
Ch10	SUM15 Fader	SUM15/16 Fader		
Ch11	SUM16 Fader	SUM15/16 L Fader		
Ch12		SUM15/16 R Fader		
Ch13				
Ch14				

Button は機能選択ボタンの選択状態により、Sel/APFL/CUT/Ins/TB/OSC のいずれかになります。

製品のアフタケアについて

ご使用中に不具合が発生し修理を必要とする場合、また動作運用上についてご不審の点、その他弊社取扱品目についてご不明の点、あるいはご用命事項がございましたら下記までご連絡下さい。

(なお、修理・再調整の期間短縮のために、故障時前後のご使用状況・経歴等を詳細にお知らせ下さい。)

NT110 オペレーションマニュアル(日本語版)

2018年2月 第3版

台帳番号 2D-53-0002600B



TAMURA CORPORATION

本社／〒178-8511 東京都練馬区東大泉 1-19-43

TEL(03)3978-2111 FAX(03)3923-0230

お問合せ先

ブロードコム事業部 営業部／本社内

TEL(03)3978-2146 FAX(03)3978-2005

西日本営業所／〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-27-27 第2江坂三昌ビル

TEL(06)4861-7722 FAX(06)4861-7728